

第3期ニセコ町子ども・子育て支援事業計画 | 2025年度 - 2029年度 |

子ども・子育て支援に関するニーズ調査 報告書

2024年03月

ニセコ町



目次

I	アンケート調査の概要	1
1.	調査の目的	1
2.	実施概要	1
2-1.	実施期間	1
2-2.	対象者	1
2-3.	調査方法と回収状況	1
2-4.	調査結果の表示方法	2
II	就学前児童のいる世帯 集計結果	3
1.	住まいの地域について	3
2.	子どもと家族の状況について	3
3.	保護者の就労状況について	7
4.	平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	20
5.	地域の子育て支援事業の利用状況について	27
6.	土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について	36
7.	病気やケガの際の対応について	40
8.	不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	45
9.	小学校入学後の放課後の過ごし方について	53
10.	育児休業や職場の両立支援制度について	64
11.	子育てと子育て環境、子育て支援全般について	69

Ⅲ 小学生児童のいる世帯 集計結果.....	73
1. 住まいの地域について.....	73
2. 子どもと家族の状況について.....	73
3. 保護者の就労状況について.....	77
4. 病気やケガの際の対応について.....	79
5. 学童保育（ニセコ子ども館）・放課後子ども教室について.....	85
6. 子育てと子育て環境について.....	99
Ⅳ 自由意見.....	103
子育ての不安や悩み、ニセコ町の子育て支援に関する要望.....	103
資料編.....	113
1. 就学前児童のいる世帯へのアンケート調査票.....	115
2. 小学生児童のいる世帯へのアンケート調査票.....	121

Ⅰ アンケート調査の概要

1. 調査の目的

本町では「第3期子ども・子育て支援事業計画（計画期間：2025（令和7）年度～2029（令和11）年度）」の策定に向けて、その基礎資料とするニーズ調査を実施し、就学前児童及び小学生児童がいる世帯を対象に保育等の利用状況や利用意向などを把握することを目的としてアンケート調査を実施した。

2. 実施概要

2-1. 実施期間

- ・2024（令和6）年1月18日～3月1日
※当初回答期限：2024（令和6）年2月9日より延長

2-2. 対象者

- ・就学前児童（0～6歳児）のいるニセコ町の全世帯
- ・小学生児童のいるニセコ町の全世帯

図表Ⅰ-2-1 対象者数

※住民基本台帳より抽出

※世帯数は2024（令和6）年1月17日時点の世帯数

就学前・小学生児童のいる世帯数			合計
就学前児童のみ	小学生児童のみ	就学前・小学生両方	
121件	167件	65件	353件

2-3. 調査方法と回収状況

- ・調査票はWeb（Googleフォーム）にて作成し、QRコードをはがきに印刷して配布・Webにて回収（英語版の調査票は郵送で配布・回収）
- ・回収状況は、以下のとおり

図表Ⅰ-2-2 回収状況

	対象数	調査票未着数	合計	有効回収数		有効回収率※
				Web	郵送	
就学前児童のいる世帯	186	0	92	77	15	49.5%
小学生児童のいる世帯	232	0	91	85	6	39.2%

※有効回収率 = 有効回収数 / (対象数 - 調査票未着数)

2-4. 調査結果の表示方法

- ・調査結果の比率は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、その合計値が100.0%にならない場合がある。
- ・複数回答の設問の場合、回答比率の合計が100.0%を超える場合がある。
- ・グラフ中の「N」とは、その設問の回答者数（母数）を表している。
- ・クロス集計表では、無回答を除外しているため、合計と一致しない場合がある。

II 就学前児童のいる世帯 集計結果

1. 住まいの地域について

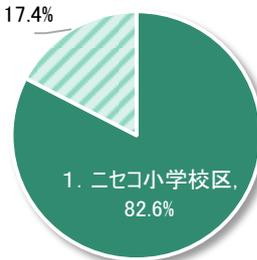
問1 住まいの地区

回答者の住まいの地区は、「1. ニセコ小学校区」が82.6%、「2. 近藤小学校区」が17.4%であった。

図表II-1-1 住まいの地区 | N=92

	件数	%
1. ニセコ小学校区	76	82.6%
2. 近藤小学校区	16	17.4%
合計	92	100.0%

2. 近藤小学校区, 17.4%



2. 子どもと家族の状況について

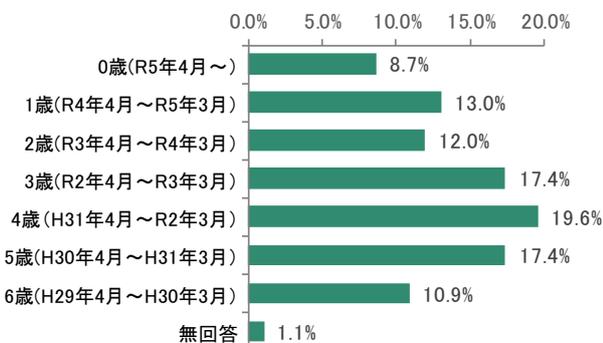
問2 就学前の子どもの年齢

就学前の子どもの年齢※は、「4歳」が19.6%と最も多く、次いで「3歳」と「5歳」がともに17.4%、「1歳」が13.0%であった。

※就学前の子どもの年齢が2人以上いる場合、一番若い子どもの年齢を回答

図表II-2-1 就学前の子どもの年齢 | N=92

	件数	%
0歳(R5年4月～)	8	8.7%
1歳(R4年4月～R5年3月)	12	13.0%
2歳(R3年4月～R4年3月)	11	12.0%
3歳(R2年4月～R3年3月)	16	17.4%
4歳(H31年4月～R2年3月)	18	19.6%
5歳(H30年4月～H31年3月)	16	17.4%
6歳(H29年4月～H30年3月)	10	10.9%
無回答	1	1.1%
合計	92	100.0%

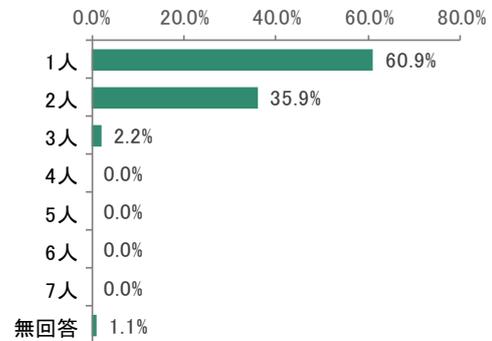


問3 就学前の子どもの人数

就学前の子どもの人数は、「1人」が60.9%と最も多く、次いで「2人」が35.9%、「3人」が2.2%であった。

図表 II-2-2 就学前の子どもの人数 | N=92

	件数	%
1人	56	60.9%
2人	33	35.9%
3人	2	2.2%
4人	0	0.0%
5人	0	0.0%
6人	0	0.0%
7人	0	0.0%
無回答	1	1.1%
合計	92	100.0%

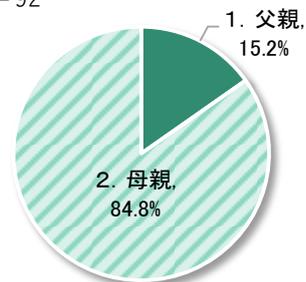


問4 回答者の続柄

回答者の続柄は、「2. 母親」が84.8%、「1. 父親」が15.2%であった。

図表 II-2-3 回答者の続柄 | N=92

	件数	%
1. 父親	14	15.2%
2. 母親	78	84.8%
合計	92	100.0%

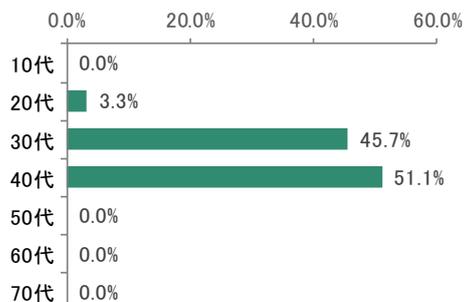


問5 回答者の年代

回答者の年代は、「40代」が51.1%と最も多く、次いで「30代」が45.7%、「20代」が3.3%であった。

図表 II-2-4 回答者の年代 | N=92

	件数	%
10代	0	0.0%
20代	3	3.3%
30代	42	45.7%
40代	47	51.1%
50代	0	0.0%
60代	0	0.0%
70代	0	0.0%
合計	92	100.0%



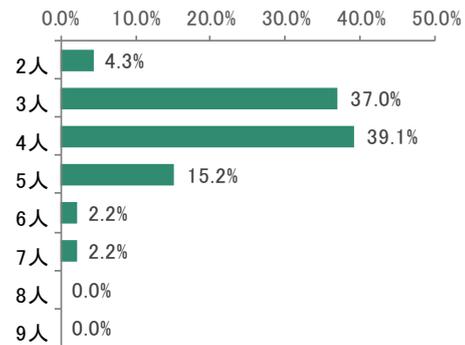
問6 同居家族の人数と子どものみの人数

同居している家族の人数は、「4人」が39.1%と最も多く、次いで「3人」が37.0%、「5人」が15.2%であった。また、子どものみの人数※は、「2人」が42.4%と最も多く、次いで「1人」が38.0%、「3人」が17.4%であった。

※妊娠中も含む

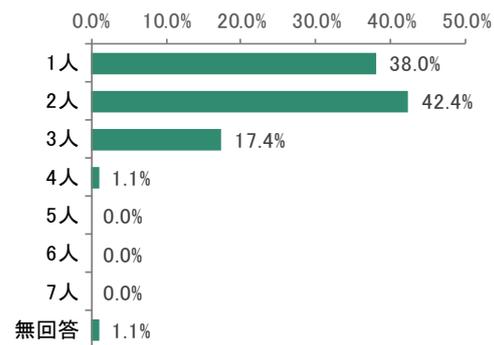
図表 II-2-5 同居家族の人数 | N=92

	件数	%
2人	4	4.3%
3人	34	37.0%
4人	36	39.1%
5人	14	15.2%
6人	2	2.2%
7人	2	2.2%
8人	0	0.0%
9人	0	0.0%
合計	92	100.0%



図表 II-2-6 子どものみの人数 | N=92

	件数	%
1人	35	38.0%
2人	39	42.4%
3人	16	17.4%
4人	1	1.1%
5人	0	0.0%
6人	0	0.0%
7人	0	0.0%
無回答	1	1.1%
合計	92	100.0%

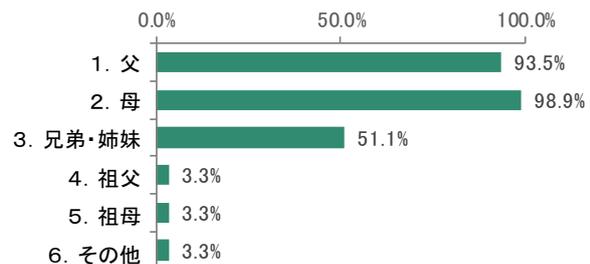


問7 同居家族の構成員

同居している家族の構成員は、「2. 母」が98.9%と最も多く、次いで「1. 父」が93.5%、「3. 兄弟・姉妹」が51.1%であった。

図表 II-2-7 同居家族の構成員（複数回答） | N=92
(複数回答)

	件数	%
1. 父	86	93.5%
2. 母	91	98.9%
3. 兄弟・姉妹	47	51.1%
4. 祖父	3	3.3%
5. 祖母	3	3.3%
6. その他	3	3.3%
全体	92	-

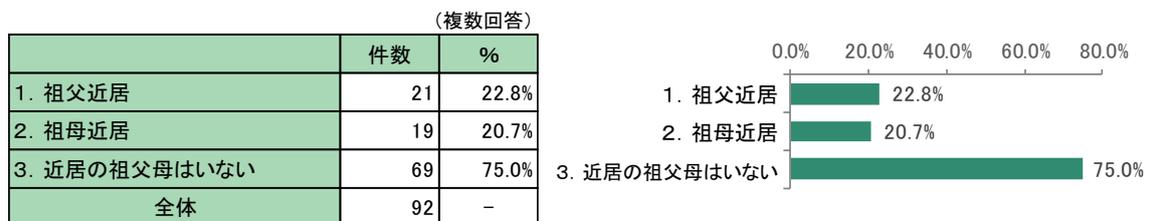


問8 子どもの祖父母との近居状況

子どもの祖父母との近居*状況は、「3. 近居の祖父母はいない」が75.0%と最も多く、次いで「1. 祖父近居」が22.8%、「2. 祖母近居」が20.7%であった。

※近居とは、交通手段を問わず、おおむね30分以内程度に行き来できる範囲のこと

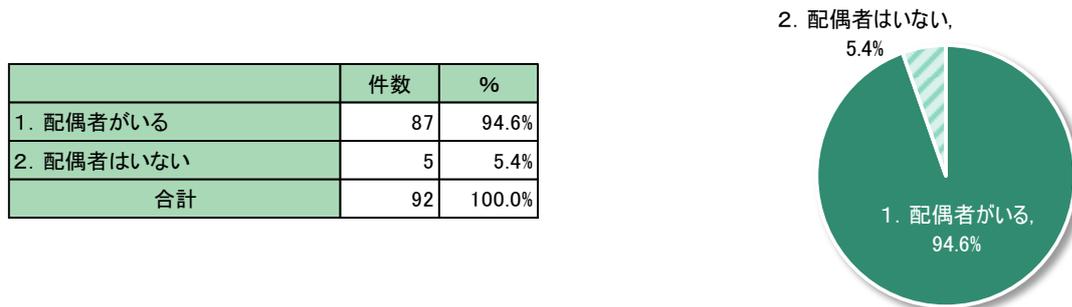
図表 II-2-8 祖父母との近居状況（複数回答） | N=92



問9 回答者の配偶関係

回答者の配偶関係は、「1. 配偶者がいる」が94.6%、「2. 配偶者はいない」が5.4%であった。

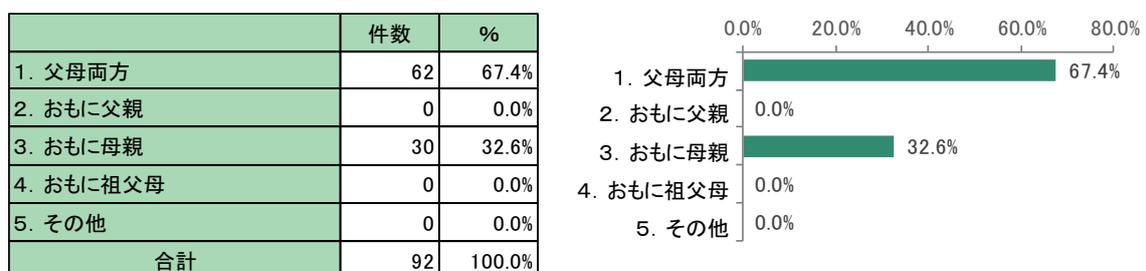
図表 II-2-9 回答者の配偶関係 | N=92



問10 子育てを主に行っている人

子育てを主に行っている人は、「1. 父母両方」が67.4%と最も多く、次いで「3. おもに母親」が32.6%であった。

図表 II-2-10 子育てを主に行っている人 | N=92



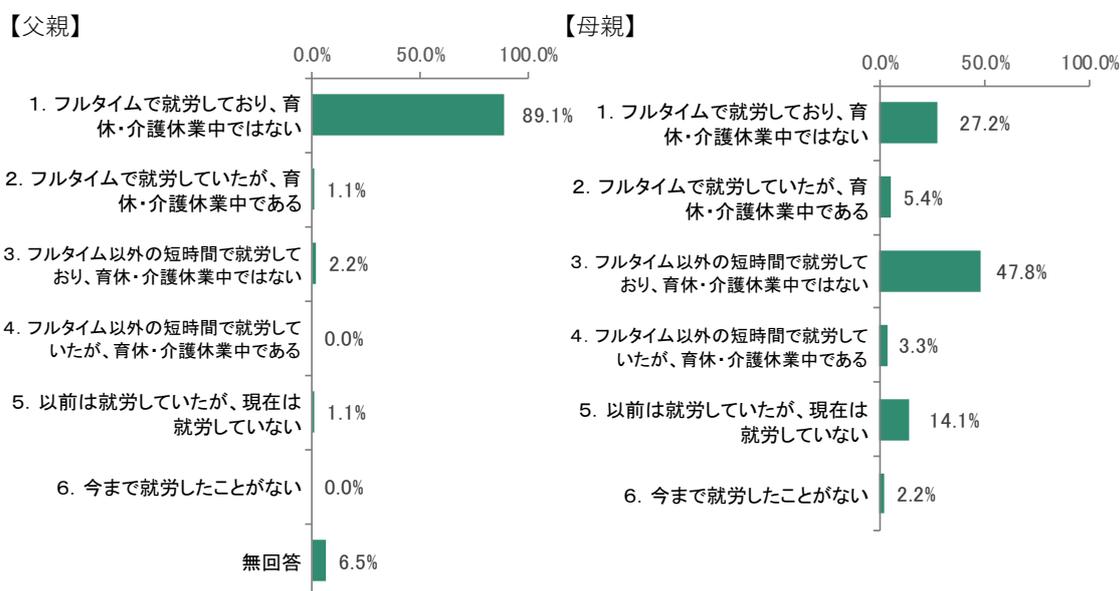
3. 保護者の就労状況について

問 11 保護者の就労状況

父親の就労状況は、「1. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が 89.1%と最も多く、次いで「3. フルタイム以外の短時間で就労しており、育休・介護休業中ではない」が 2.2%であった。

母親の就労状況は、「3. フルタイム以外の短時間で就労しており、育休・介護休業中ではない」が 47.8%と最も多く、次いで「1. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が 27.2%、「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」が 14.1%であった。

図表 II -3-1 保護者の就労状況 | N = 92



	父親		母親	
	件数	%	件数	%
1. フルタイム(週5日程度・1日8時間程度)で就労しており、育休・介護休業中ではない	82	89.1%	25	27.2%
2. フルタイム(週5日程度・1日8時間程度)で就労していたが、育休・介護休業中である	1	1.1%	5	5.4%
3. フルタイム以外の短時間(週5日未満・1日8時間未満)で就労しており、育休・介護休業中ではない	2	2.2%	44	47.8%
4. フルタイム以外の短時間(週5日未満・1日8時間未満)で就労していたが、育休・介護休業中である	0	0.0%	3	3.3%
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	1	1.1%	13	14.1%
6. 今まで就労したことがない	0	0.0%	2	2.2%
無回答	6	6.5%	0	0.0%
合計	92	100.0%	92	100.0%

問 11-1 保護者の就労日数、就労時間

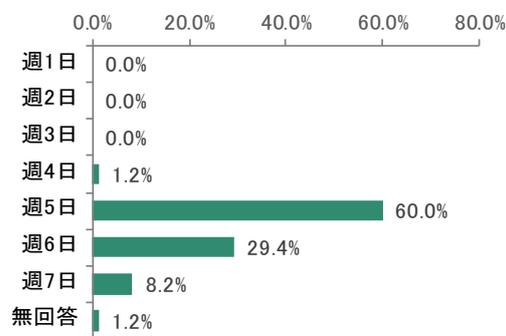
保護者の就労状況（問 11）で「就労している」（1～4 のいずれか）と回答した方に、就労日数、就労時間、家を出る時間、帰宅する時間、始業時刻、終業時刻について聞いたところ、以下のとおりである。

■就労日数

父親の1週あたりの就労日数は、「5日」が60.0%と最も多く、次いで「6日」が29.4%、「7日」が8.2%であった。また、母親の1週あたりの就労日数は、「5日」が53.2%と最も多く、次いで「4日」が18.2%、「3日」が14.3%であった。

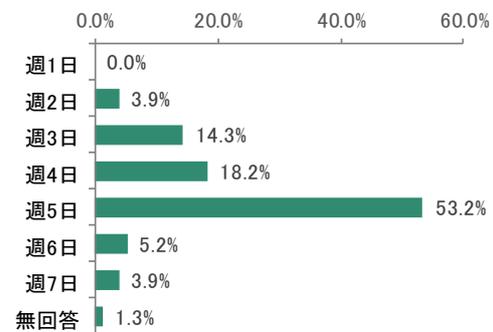
図表 II-3-2 保護者の就労日数 | 父親/N=85 母親/N=77

【父親】



	件数	%
週1日	0	0.0%
週2日	0	0.0%
週3日	0	0.0%
週4日	1	1.2%
週5日	51	60.0%
週6日	25	29.4%
週7日	7	8.2%
無回答	1	1.2%
合計	85	100.0%

【母親】

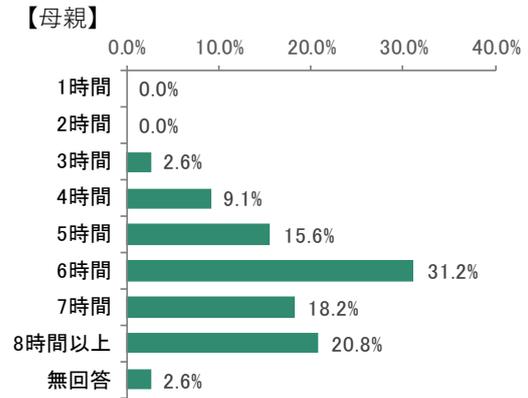
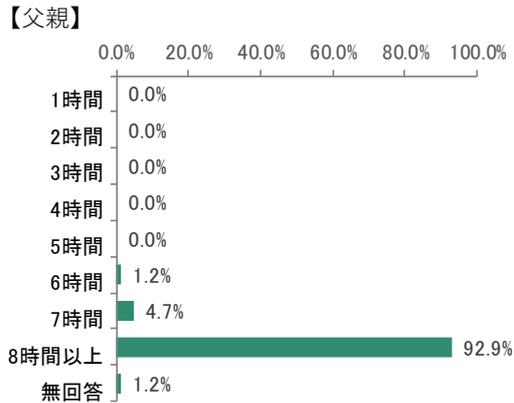


	件数	%
週1日	0	0.0%
週2日	3	3.9%
週3日	11	14.3%
週4日	14	18.2%
週5日	41	53.2%
週6日	4	5.2%
週7日	3	3.9%
無回答	1	1.3%
合計	77	100.0%

■就労時間

父親の1日あたりの就労時間は、「8時間以上」が92.9%と最も多く、次いで「7時間」が4.7%であった。また、母親の1日あたりの就労時間は、「6時間」が31.2%と最も多く、次いで「8時間以上」が20.8%、「7時間」が18.2%であった。

図表 II-3-3 保護者の就労時間 | 父親/N=85 母親/N=77



	件数	%
1時間	0	0.0%
2時間	0	0.0%
3時間	0	0.0%
4時間	0	0.0%
5時間	0	0.0%
6時間	1	1.2%
7時間	4	4.7%
8時間以上	79	92.9%
無回答	1	1.2%
合計	85	100.0%

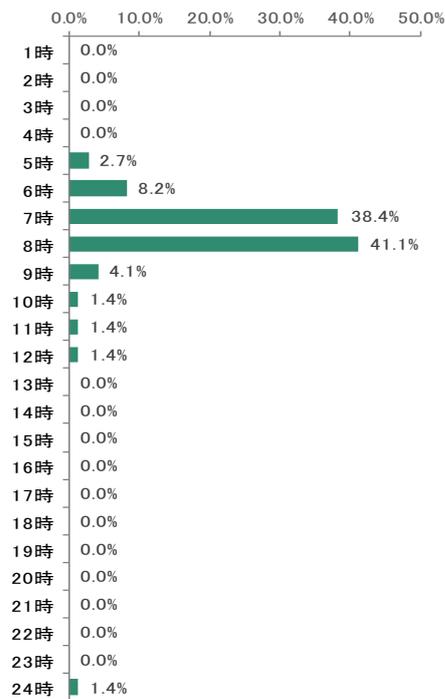
	件数	%
1時間	0	0.0%
2時間	0	0.0%
3時間	2	2.6%
4時間	7	9.1%
5時間	12	15.6%
6時間	24	31.2%
7時間	14	18.2%
8時間以上	16	20.8%
無回答	2	2.6%
合計	77	100.0%

■（通勤している場合）家を出る時間

通勤している場合、家を出る時間を聞いたところ、父親は「8時」が41.1%と最も多く、次いで「7時」が38.4%であった。母親は「8時」が55.0%と最も多く、次いで「9時」が23.3%、「7時」が16.7%であった。

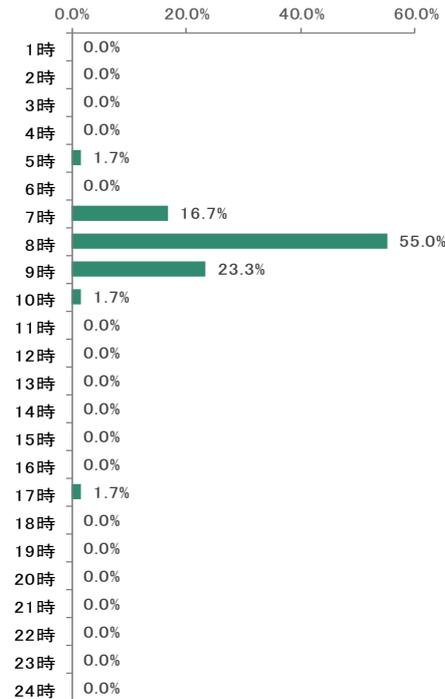
図表 II -3-4 保護者の家を出る時間 | 父親/N=73 母親/N=60

【父親】



	件数	%
1時	0	0.0%
2時	0	0.0%
3時	0	0.0%
4時	0	0.0%
5時	2	2.7%
6時	6	8.2%
7時	28	38.4%
8時	30	41.1%
9時	3	4.1%
10時	1	1.4%
11時	1	1.4%
12時	1	1.4%
13時	0	0.0%
14時	0	0.0%
15時	0	0.0%
16時	0	0.0%
17時	0	0.0%
18時	0	0.0%
19時	0	0.0%
20時	0	0.0%
21時	0	0.0%
22時	0	0.0%
23時	0	0.0%
24時	1	1.4%
合計	73	100.0%

【母親】

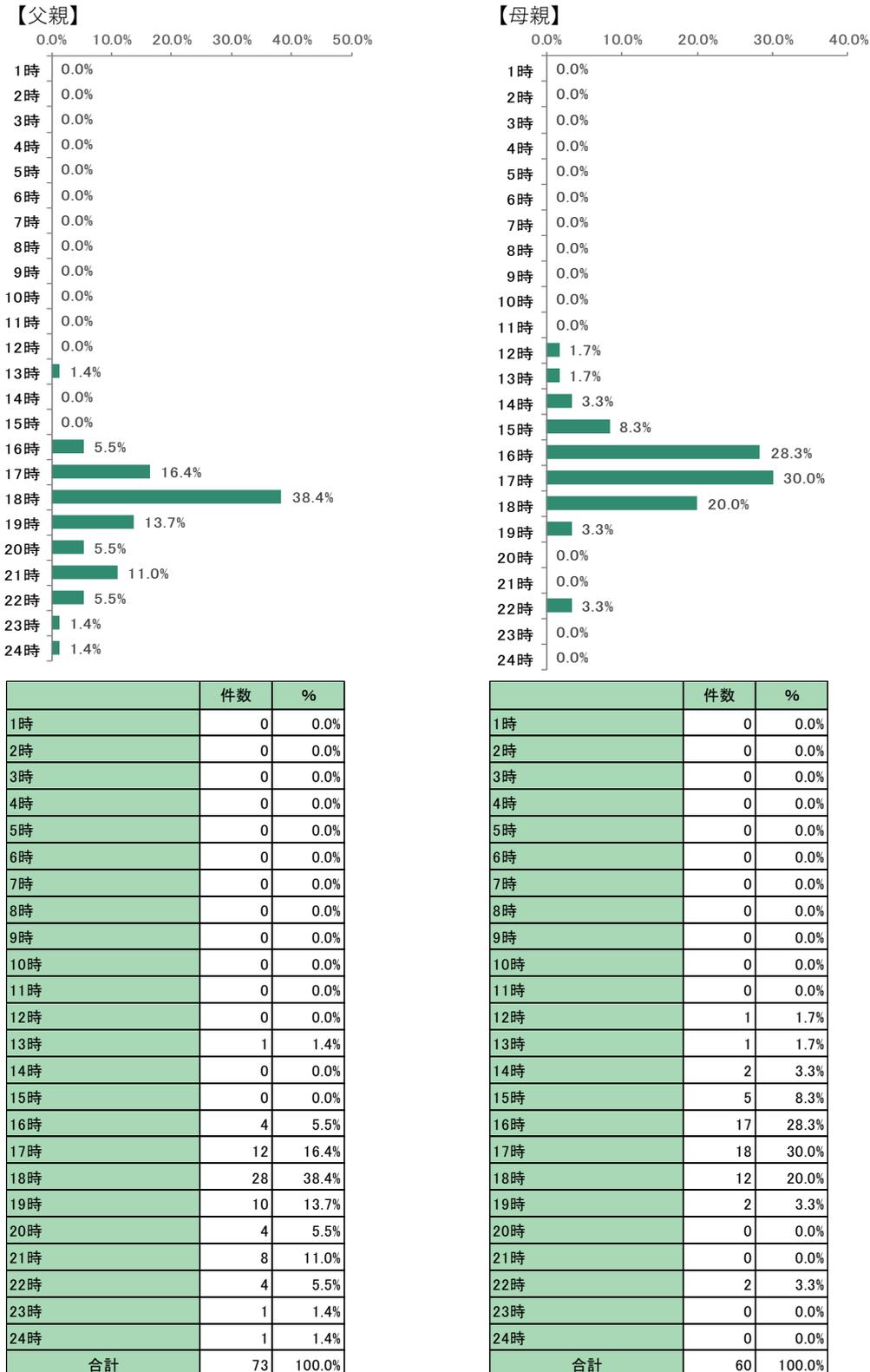


	件数	%
1時	0	0.0%
2時	0	0.0%
3時	0	0.0%
4時	0	0.0%
5時	1	1.7%
6時	0	0.0%
7時	10	16.7%
8時	33	55.0%
9時	14	23.3%
10時	1	1.7%
11時	0	0.0%
12時	0	0.0%
13時	0	0.0%
14時	0	0.0%
15時	0	0.0%
16時	0	0.0%
17時	1	1.7%
18時	0	0.0%
19時	0	0.0%
20時	0	0.0%
21時	0	0.0%
22時	0	0.0%
23時	0	0.0%
24時	0	0.0%
合計	60	100.0%

■（通勤している場合）帰宅する時間

通勤している場合、帰宅する時間を聞いたところ、父親は「18時」が38.4%と最も多く、次いで「17時」が16.4%であった。母親は「17時」が30.0%と最も多く、次いで「16時」が28.3%であった。

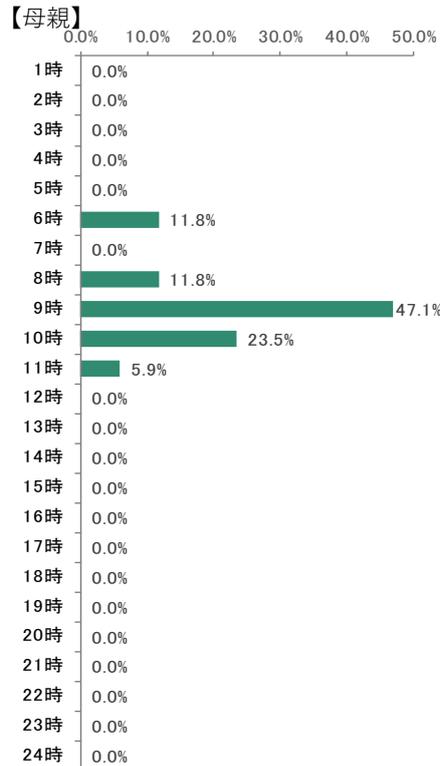
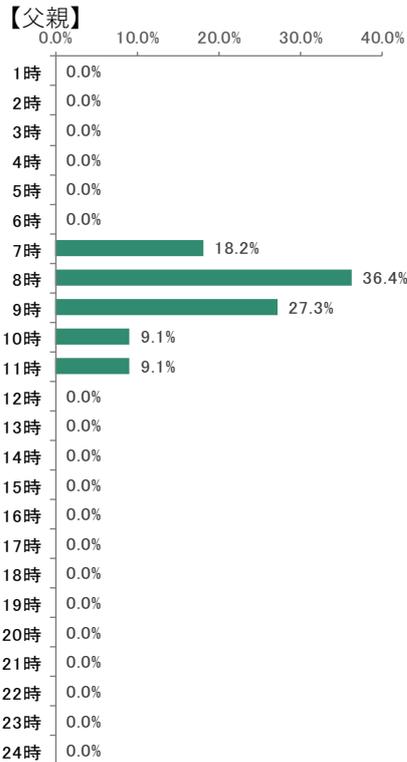
図表 II-3-5 保護者の帰宅時間 | 父親/N=73 母親/N=60



■（通勤していない場合）始業時刻

通勤していない場合、始業時刻を聞いたところ、父親は「8時」が36.4%と最も多く、次いで「9時」が27.3%であった。母親は「9時」が47.1%と最も多く、次いで「10時」が23.5%であった。

図表 II-3-6 保護者の始業時刻 | 父親/N=11 母親/N=17



	件数	%
1時	0	0.0%
2時	0	0.0%
3時	0	0.0%
4時	0	0.0%
5時	0	0.0%
6時	0	0.0%
7時	2	18.2%
8時	4	36.4%
9時	3	27.3%
10時	1	9.1%
11時	1	9.1%
12時	0	0.0%
13時	0	0.0%
14時	0	0.0%
15時	0	0.0%
16時	0	0.0%
17時	0	0.0%
18時	0	0.0%
19時	0	0.0%
20時	0	0.0%
21時	0	0.0%
22時	0	0.0%
23時	0	0.0%
24時	0	0.0%
合計	11	100.0%

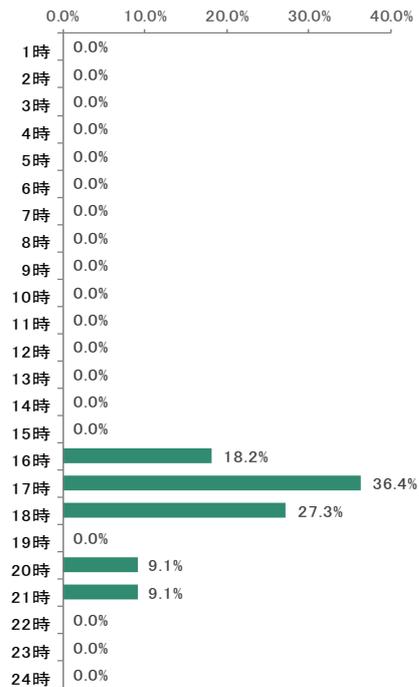
	件数	%
1時	0	0.0%
2時	0	0.0%
3時	0	0.0%
4時	0	0.0%
5時	0	0.0%
6時	2	11.8%
7時	0	0.0%
8時	2	11.8%
9時	8	47.1%
10時	4	23.5%
11時	1	5.9%
12時	0	0.0%
13時	0	0.0%
14時	0	0.0%
15時	0	0.0%
16時	0	0.0%
17時	0	0.0%
18時	0	0.0%
19時	0	0.0%
20時	0	0.0%
21時	0	0.0%
22時	0	0.0%
23時	0	0.0%
24時	0	0.0%
合計	17	100.0%

■（通勤していない場合）終業時刻

通勤していない場合、終業時刻を聞いたところ、父親は「17時」が36.4%と最も多く、次いで「18時」が27.3%であった。母親は「16時」が35.3%と最も多く、次いで「11時」と「17時」がともに11.8%であった。

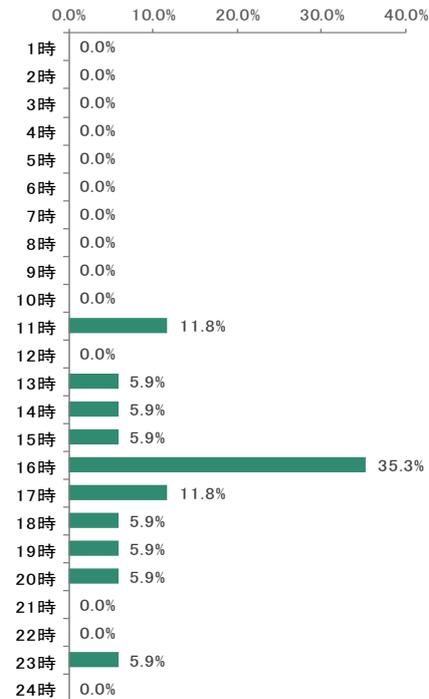
図表 II-3-7 保護者の終業時刻 | 父親/N=11 母親/N=17

【父親】



	件数	%
1時	0	0.0%
2時	0	0.0%
3時	0	0.0%
4時	0	0.0%
5時	0	0.0%
6時	0	0.0%
7時	0	0.0%
8時	0	0.0%
9時	0	0.0%
10時	0	0.0%
11時	0	0.0%
12時	0	0.0%
13時	0	0.0%
14時	0	0.0%
15時	0	0.0%
16時	2	18.2%
17時	4	36.4%
18時	3	27.3%
19時	0	0.0%
20時	1	9.1%
21時	1	9.1%
22時	0	0.0%
23時	0	0.0%
24時	0	0.0%
合計	11	100.0%

【母親】



	件数	%
1時	0	0.0%
2時	0	0.0%
3時	0	0.0%
4時	0	0.0%
5時	0	0.0%
6時	0	0.0%
7時	0	0.0%
8時	0	0.0%
9時	0	0.0%
10時	0	0.0%
11時	2	11.8%
12時	0	0.0%
13時	1	5.9%
14時	1	5.9%
15時	1	5.9%
16時	6	35.3%
17時	2	11.8%
18時	1	5.9%
19時	1	5.9%
20時	1	5.9%
21時	0	0.0%
22時	0	0.0%
23時	1	5.9%
24時	0	0.0%
合計	17	100.0%

問 11-2 保護者の就業形態

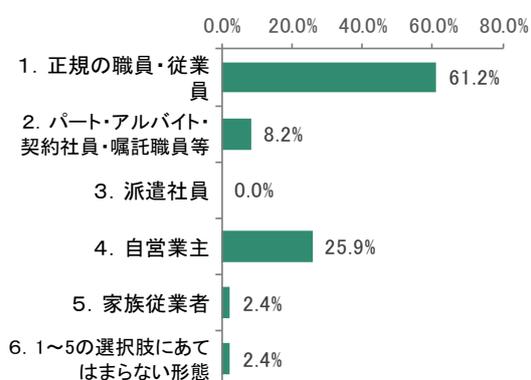
保護者の就労状況（問 11）で「就労している」（1～4 のいずれか）と回答した方に、就業形態を聞いたところ、父親は「1. 正規の職員・従業員」が 61.2%と最も多く、次いで「4. 自営業主」が 25.9%、「2. パート・アルバイト・契約社員・嘱託職員等」が 8.2%であった。

母親は「2. パート・アルバイト・契約社員・嘱託職員等」が 48.1%と最も多く、次いで「1. 正規の職員・従業員」が 27.3%、「5. 家族従業者」が 15.6%であった。

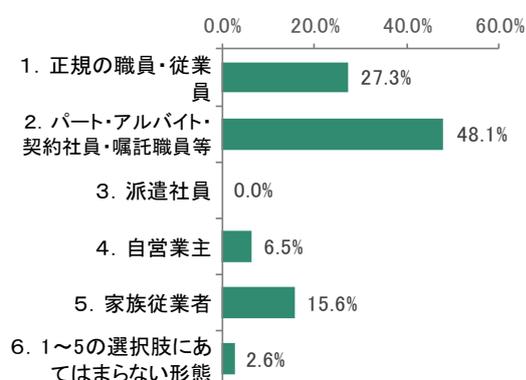
「1～5 の選択肢にあてはまらない形態」としては、「会社役員」「会社代表」があげられていた。

図表 II-3-8 保護者の就業形態 | 父親/N=85 母親/N=77

【父親】



【母親】



	件数	%
1. 正規の職員・従業員	52	61.2%
2. パート・アルバイト・契約社員・嘱託職員等	7	8.2%
3. 派遣社員	0	0.0%
4. 自営業主	22	25.9%
5. 家族従業者	2	2.4%
6. 1～5の選択肢にあてはまらない形態	2	2.4%
合計	85	100.0%

	件数	%
1. 正規の職員・従業員	21	27.3%
2. パート・アルバイト・契約社員・嘱託職員等	37	48.1%
3. 派遣社員	0	0.0%
4. 自営業主	5	6.5%
5. 家族従業者	12	15.6%
6. 1～5の選択肢にあてはまらない形態	2	2.6%
合計	77	100.0%

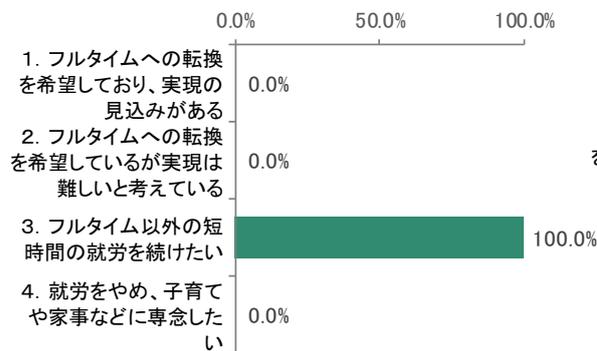
問 11-3 （短時間で就労している場合）保護者の今後の就労希望

保護者の就労状況（問 11）で「フルタイム以外の短時間で就労している」（3 または 4）と回答した方に、今後の就労希望について聞いたところ、父親は「3. フルタイム以外の短時間の就労を続けたい」が 100.0%であった。

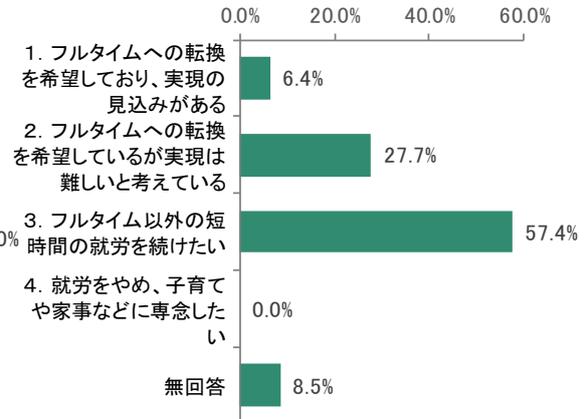
母親は「3. フルタイム以外の短時間の就労を続けたい」が 57.4%と最も多く、次いで「2. フルタイムへの転換を希望しているが実現は難しいと考えている」が 27.7%、「1. フルタイムへの転換を希望しており、実現の見込みがある」が 6.4%であった。

図表 II -3-9 短時間就労の保護者の今後の就労希望 | 父親/N=2 母親/N=47

【父親】



【母親】



	件数	%
1. フルタイムへの転換を希望しており、実現の見込みがある	0	0.0%
2. フルタイムへの転換を希望しているが実現は難しいと考えている	0	0.0%
3. フルタイム以外の短時間の就労を続けたい	2	100.0%
4. 就労をやめ、子育てや家事などに専念したい	0	0.0%
合計	2	100.0%

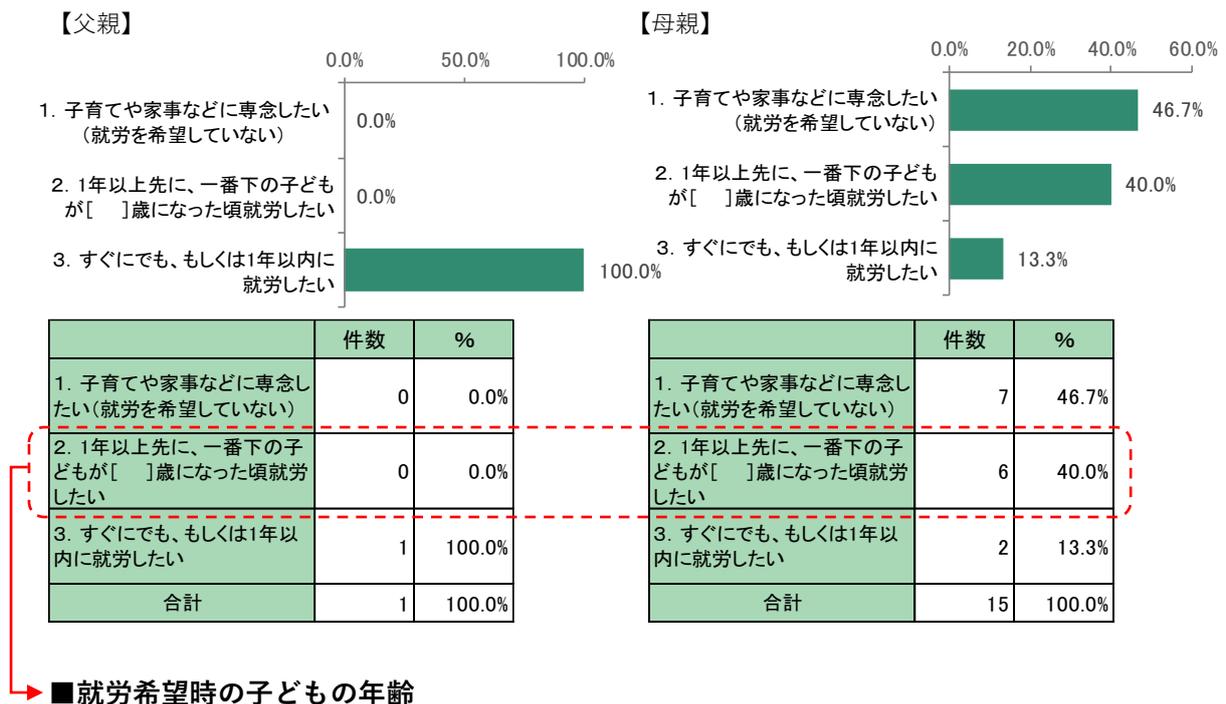
	件数	%
1. フルタイムへの転換を希望しており、実現の見込みがある	3	6.4%
2. フルタイムへの転換を希望しているが実現は難しいと考えている	13	27.7%
3. フルタイム以外の短時間の就労を続けたい	27	57.4%
4. 就労をやめ、子育てや家事などに専念したい	0	0.0%
無回答	4	8.5%
合計	47	100.0%

問 11-4 （就労していない場合）保護者の今後の就労希望

保護者の就労状況（問 11）で「就労していない・就労したことがない」（5 または 6）と回答した方に、今後の就労希望について聞いたところ、父親は「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 100.0%であった。

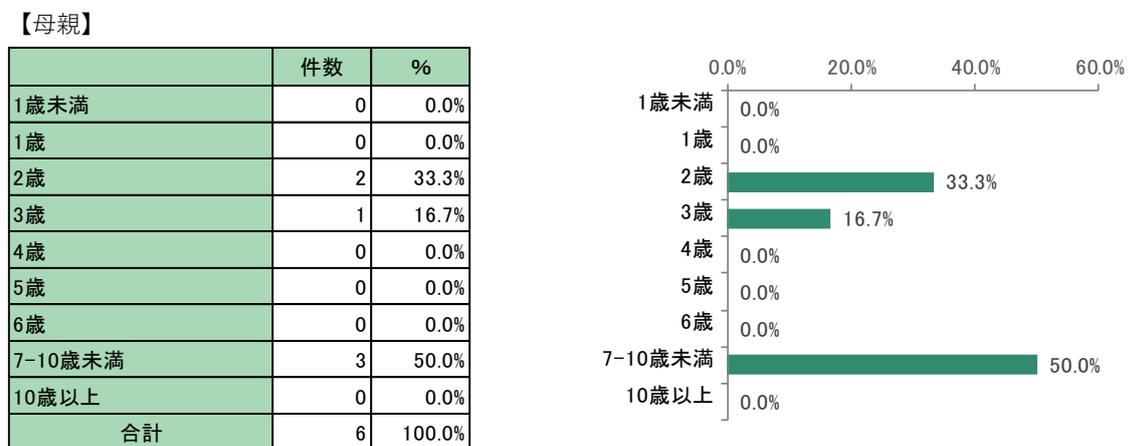
母親は「1. 子育てや家事などに専念したい」が 46.7%と最も多く、次いで「2. 1年以上先に、一番下の子どもが〔 〕歳になった頃就労したい」が 40.0%、「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 13.3%であった。

図表 II-3-10 現在就労していない保護者の今後の就労希望 | 父親/N=1 母親/N=15



現在就労していない保護者の今後の就労希望（問 11-4）で「1年以上先に、一番下の子どもが〔 〕歳になった頃に就労したい」と回答した母親に、就労を希望する時の子どもの年齢を聞いたところ、「7-10歳未満」が 50.0%と最も多く、次いで「2歳」が 33.3%であった。

図表 II-3-11 就労希望時の子どもの年齢 | 母親/N=6



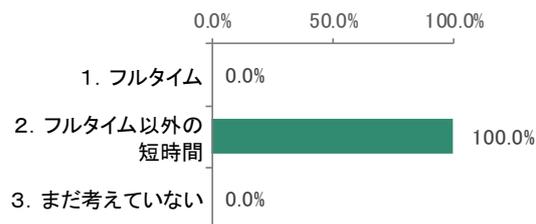
問 11-5 （就労していない場合）保護者の希望する就労形態

保護者の今後の就労希望（問 11-4）で「就労したい」（2 または 3）と回答した方に、希望する就労形態について聞いたところ、父親は「2. フルタイム以外の短時間（週 5 日未満・1 日 8 時間未満）」が 100.0%であった。

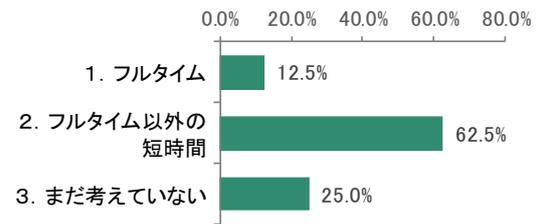
母親は「2. フルタイム以外の短時間（週 5 日未満・1 日 8 時間未満）」が 62.5%と最も多く、次いで「3. まだ考えていない」が 25.0%、「1. フルタイム（週 5 日程度・1 日 8 時間程度）」が 12.5%であった。

図表 II-3-12 保護者の希望する就労形態 | 父親/N=1 母親/N=8

【父親】



【母親】



	件数	%
1. フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）	0	0.0%
2. フルタイム以外の短時間（週5日未満・1日8時間未満）	1	100.0%
3. まだ考えていない	0	0.0%
合計	1	100.0%

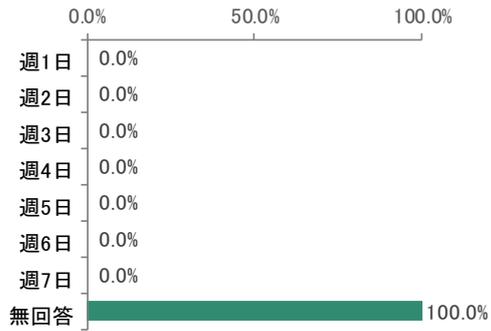
	件数	%
1. フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）	1	12.5%
2. フルタイム以外の短時間（週5日未満・1日8時間未満）	5	62.5%
3. まだ考えていない	2	25.0%
合計	8	100.0%

■希望する就労日数

保護者の希望する就労形態（問 11-5）で「フルタイム以外の短時間」と回答した方に、1週あたりの希望就労日数について聞いたところ、父親は無回答であった。また、母親は「3日」が60.0%と最も多く、次いで「2日」が40.0%であった。

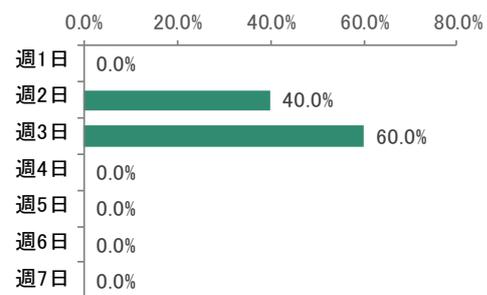
図表 II-3-13 1週あたりの希望就労日数 | 父親/N=1 母親/N=5

【父親】



	件数	%
週1日	0	0.0%
週2日	0	0.0%
週3日	0	0.0%
週4日	0	0.0%
週5日	0	0.0%
週6日	0	0.0%
週7日	0	0.0%
無回答	1	100.0%
合計	1	100.0%

【母親】



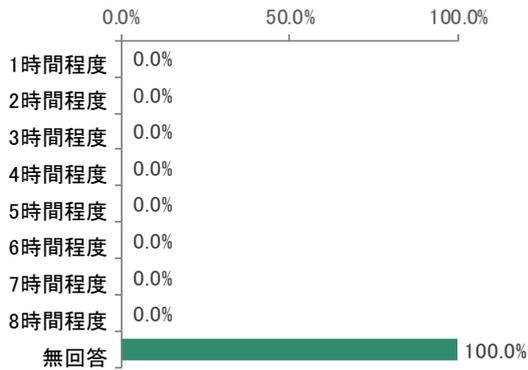
	件数	%
週1日	0	0.0%
週2日	2	40.0%
週3日	3	60.0%
週4日	0	0.0%
週5日	0	0.0%
週6日	0	0.0%
週7日	0	0.0%
合計	5	100.0%

■希望する就労時間

保護者の希望する就労形態（問 11-5）で「フルタイム以外の短時間」と回答した方に、1日あたりの希望就労時間について聞いたところ、父親は無回答であった。また、母親は「4時間程度」が60.0%と最も多く、次いで「3時間程度」と「6時間程度」がともに20.0%であった。

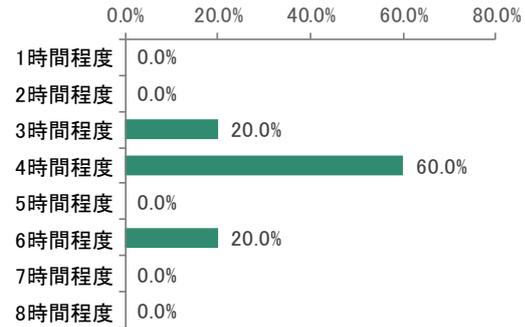
図表 II-3-14 1日あたりの希望就労時間 | 父親/N=1 母親/N=5

【父親】



	件数	%
1時間程度	0	0.0%
2時間程度	0	0.0%
3時間程度	0	0.0%
4時間程度	0	0.0%
5時間程度	0	0.0%
6時間程度	0	0.0%
7時間程度	0	0.0%
8時間程度	0	0.0%
無回答	1	100.0%
合計	1	100.0%

【母親】



	件数	%
1時間程度	0	0.0%
2時間程度	0	0.0%
3時間程度	1	20.0%
4時間程度	3	60.0%
5時間程度	0	0.0%
6時間程度	1	20.0%
7時間程度	0	0.0%
8時間程度	0	0.0%
合計	5	100.0%

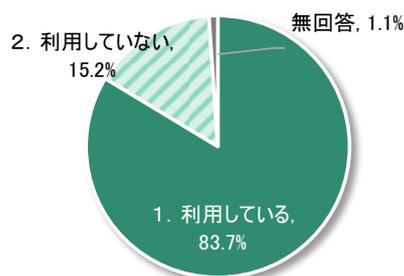
4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問 12 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

子どもの平日の定期的な教育・保育事業の利用について聞いたところ、「1. 利用している」が83.7%、「2. 利用していない」が15.2%であった。

図表 II-4-1 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況 | N = 92

	件数	%
1. 利用している	77	83.7%
2. 利用していない	14	15.2%
無回答	1	1.1%
合計	92	100.0%



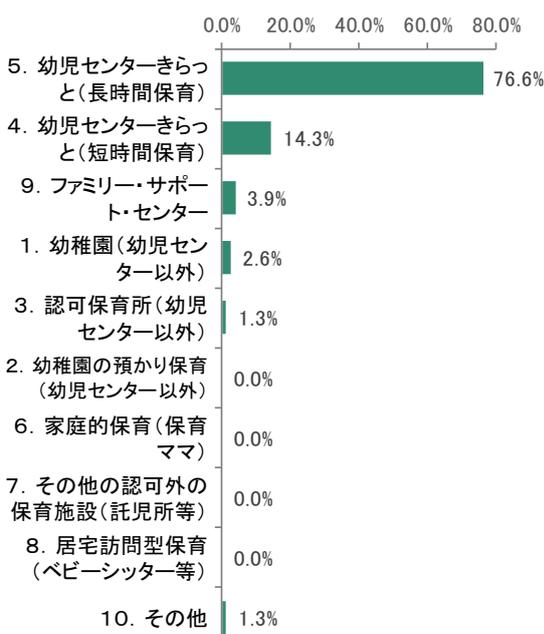
問 12-1 平日に定期的に利用している教育・保育事業

子どもの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況（問 12）で「利用している」と回答した方に、どのような教育・保育の事業を利用しているか聞いたところ、「5. 幼児センターきらっと（長時間保育）」が76.6%と最も多く、次いで「4. 幼児センターきらっと（短時間保育）」が14.3%、「9. ファミリー・サポート・センター」が3.9%であった。

図表 II-4-2 平日に定期的に利用している教育・保育事業（複数回答） | N = 77

(複数回答)

	件数	%
5. 幼児センターきらっと(長時間保育)	59	76.6%
4. 幼児センターきらっと(短時間保育)	11	14.3%
9. ファミリー・サポート・センター	3	3.9%
1. 幼稚園(幼児センター以外)	2	2.6%
3. 認可保育所(幼児センター以外)	1	1.3%
2. 幼稚園の預かり保育(幼児センター以外)	0	0.0%
6. 家庭的保育(保育ママ)	0	0.0%
7. その他の認可外の保育施設(託児所等)	0	0.0%
8. 居宅訪問型保育(ベビーシッター等)	0	0.0%
10. その他	1	1.3%
全体	77	-



問 12-2 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況・利用希望

平日に定期的に利用している教育・保育事業について、(1) 現在の利用状況、(2) 希望する日数・時間・開始時間・終了時間をそれぞれ聞いたところ、以下のとおりである。

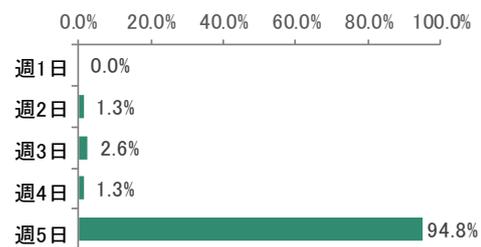
(1) 現在の利用状況

■利用日数

現在の利用日数について聞いたところ、1週あたりの利用日数は「5日」が94.8%と最も多く、次いで「3日」が2.6%、「2日」と「4日」がともに1.3%であった。

図表 II-4-3 1週あたりの利用日数 | N = 77

	件数	%
週1日	0	0.0%
週2日	1	1.3%
週3日	2	2.6%
週4日	1	1.3%
週5日	73	94.8%
合計	77	100.0%

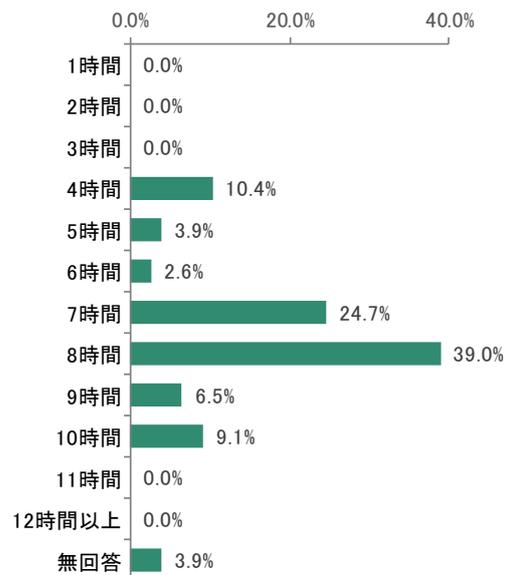


■利用時間

1日あたりの利用時間は「8時間」が39.0%と最も多く、次いで「7時間」が24.7%、「4時間」は10.4%であった。

図表 II-4-4 1日あたりの利用時間 | N = 77

	件数	%
1時間	0	0.0%
2時間	0	0.0%
3時間	0	0.0%
4時間	8	10.4%
5時間	3	3.9%
6時間	2	2.6%
7時間	19	24.7%
8時間	30	39.0%
9時間	5	6.5%
10時間	7	9.1%
11時間	0	0.0%
12時間以上	0	0.0%
無回答	3	3.9%
合計	77	100.0%

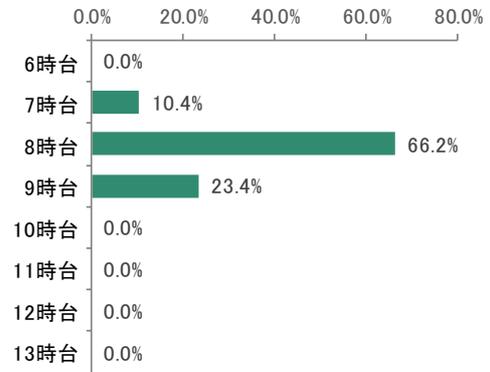


■利用開始時間

利用開始時間は「8 時台」が 66.2%と最も多く、次いで「9 時台」が 23.4%であった。

図表 II-4-5 利用開始時間 | N = 77

	件数	%
6時台	0	0.0%
7時台	8	10.4%
8時台	51	66.2%
9時台	18	23.4%
10時台	0	0.0%
11時台	0	0.0%
12時台	0	0.0%
13時台	0	0.0%
合計	77	100.0%

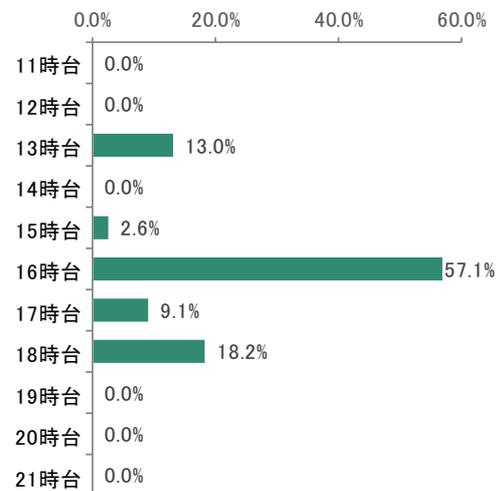


■利用終了時間

利用終了時間は「16 時台」が 57.1%と最も多く、次いで「18 時台」が 18.2%であった。

図表 II-4-6 利用終了時間 | N = 77

	件数	%
11時台	0	0.0%
12時台	0	0.0%
13時台	10	13.0%
14時台	0	0.0%
15時台	2	2.6%
16時台	44	57.1%
17時台	7	9.1%
18時台	14	18.2%
19時台	0	0.0%
20時台	0	0.0%
21時台	0	0.0%
合計	77	100.0%



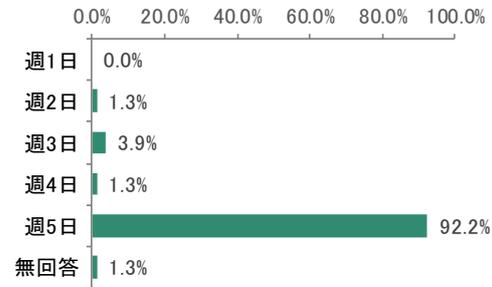
(2) 希望する日数・時間・開始時間・終了時間

■希望する利用日数

1週あたりの希望する利用日数は、「5日」が92.2%と最も多く、次いで「3日」が3.9%、「2日」と「4日」がともに1.3%であった。

図表II-4-7 1週あたりの希望する利用日数 | N=77

	件数	%
週1日	0	0.0%
週2日	1	1.3%
週3日	3	3.9%
週4日	1	1.3%
週5日	71	92.2%
無回答	1	1.3%
合計	77	100.0%

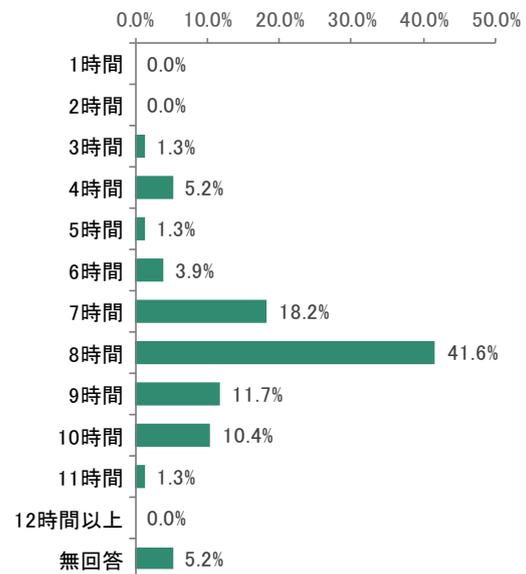


■希望する利用時間

1日あたりの希望する利用時間は、「8時間」が41.6%と最も多く、次いで「7時間」が18.2%、「9時間」が11.7%であった。

図表II-4-8 1日あたりの希望する利用時間 | N=77

	件数	%
1時間	0	0.0%
2時間	0	0.0%
3時間	1	1.3%
4時間	4	5.2%
5時間	1	1.3%
6時間	3	3.9%
7時間	14	18.2%
8時間	32	41.6%
9時間	9	11.7%
10時間	8	10.4%
11時間	1	1.3%
12時間以上	0	0.0%
無回答	4	5.2%
合計	77	100.0%

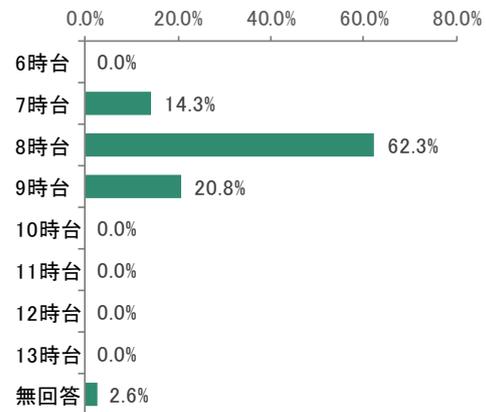


■希望する利用開始時間

希望する利用開始時間は、「8 時台」が 62.3%と最も多く、次いで「9 時台」が 20.8%であった。

図表 II-4-9 希望する利用開始時間 | N = 77

	件数	%
6時台	0	0.0%
7時台	11	14.3%
8時台	48	62.3%
9時台	16	20.8%
10時台	0	0.0%
11時台	0	0.0%
12時台	0	0.0%
13時台	0	0.0%
無回答	2	2.6%
合計	77	100.0%

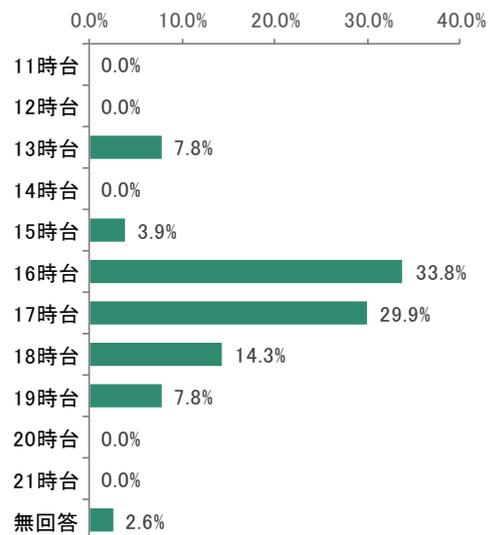


■希望する利用終了時間

希望する利用終了時間は、「16 時台」が 33.8%と最も多く、次いで「17 時台」が 29.9%であった。

図表 II-4-10 希望する利用終了時間 | N = 77

	件数	%
11時台	0	0.0%
12時台	0	0.0%
13時台	6	7.8%
14時台	0	0.0%
15時台	3	3.9%
16時台	26	33.8%
17時台	23	29.9%
18時台	11	14.3%
19時台	6	7.8%
20時台	0	0.0%
21時台	0	0.0%
無回答	2	2.6%
合計	77	100.0%

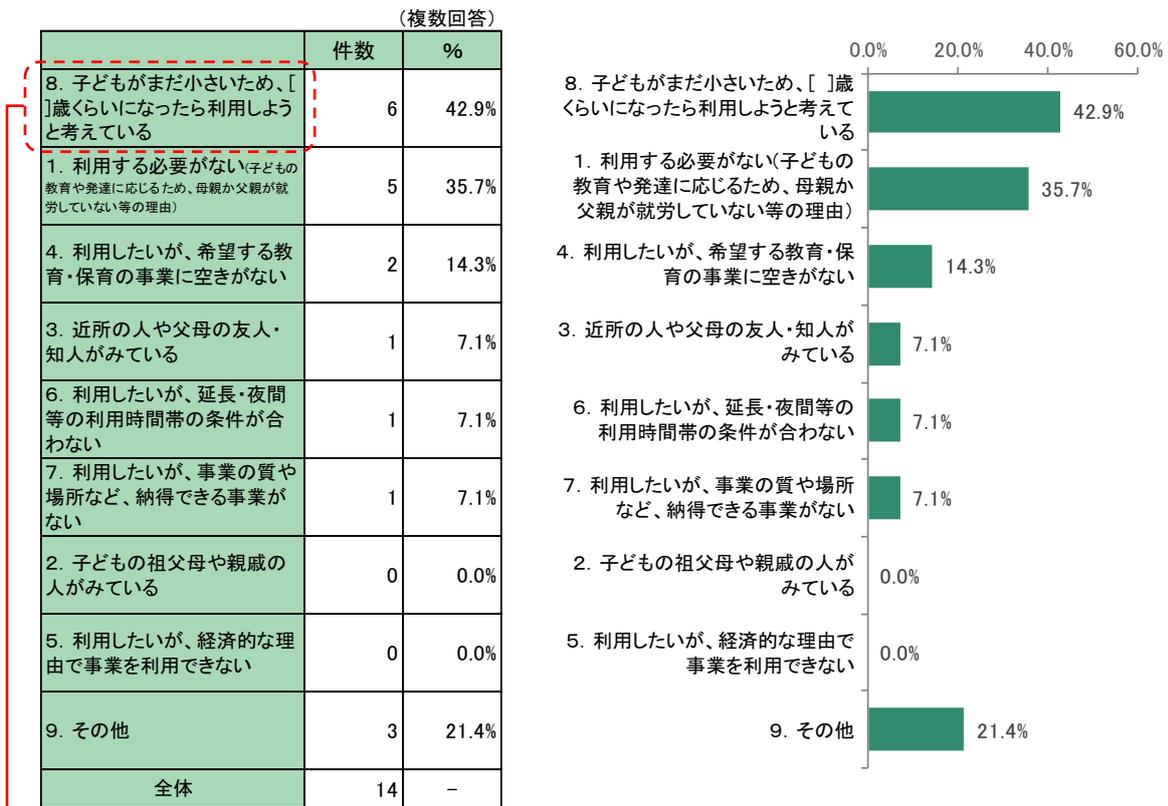


問 12-3 平日の定期的な教育・保育事業を利用していない理由

子どもの定期的な教育・保育事業の利用状況（問 12）で「利用していない」と回答した方に、利用していない理由を聞いたところ、「8. 子どもがまだ小さいため、〔 〕歳くらいになったら利用しようと考えている」が 42.9%と最も多く、次いで「1. 利用する必要がない」が 35.7%であった。

「その他」としては、「来年度から預かってもらう」「送迎が難しい」といった回答があった。

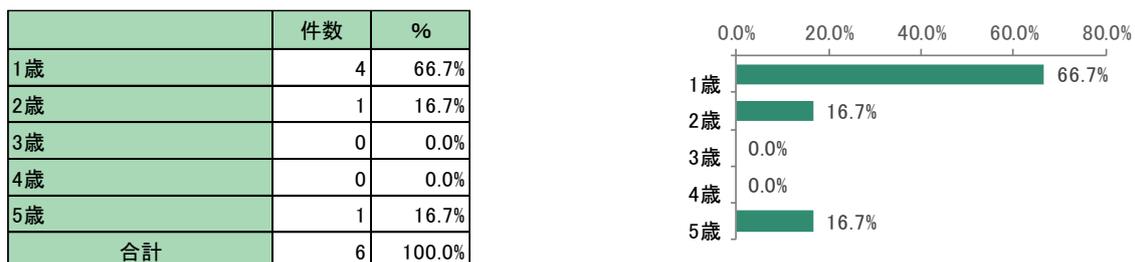
図表 II-4-11 平日の定期的な教育・保育事業を利用していない理由（複数回答） | N = 14



■利用希望時の子どもの年齢

平日の定期的な教育・保育事業を利用していない理由（問 12-3）で「8. 子どもがまだ小さいため、〔 〕歳くらいになったら利用しようと考えている」と回答した方に、利用を希望する時の子どもの年齢を聞いたところ、「1 歳」が 66.7%と最も多く、次いで「2 歳」と「5 歳」がともに 16.7%であった。

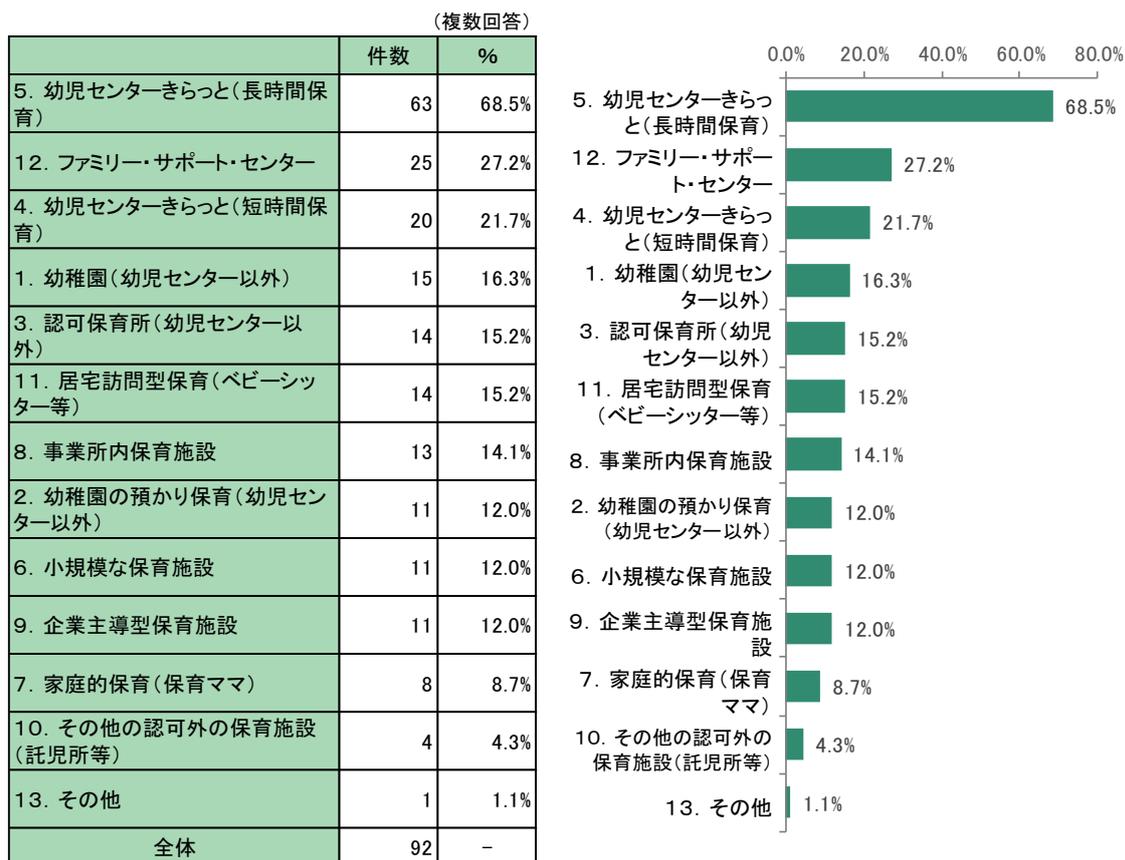
図表 II-4-12 利用希望時の子どもの年齢 | N = 6



問 13 平日の定期的な教育・保育事業の利用意向

子どもの平日の教育・保育事業として定期的にご利用したいと考える事業を聞いたところ、「5. 幼児センターきらっと（長時間保育）」が68.5%と最も多く、次いで「12. ファミリー・サポート・センター」が27.2%、「4. 幼児センターきらっと（短時間保育）」が21.7%であった。

図表 II-4-13 平日の定期的な教育・保育事業の利用意向（複数回答） | N=92



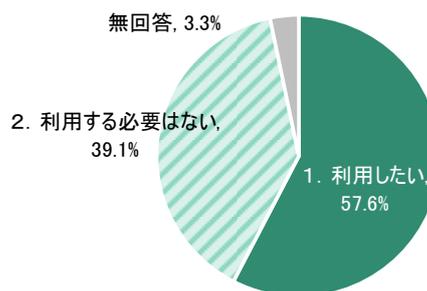
5. 地域の子育て支援事業の利用状況について

問 14 「こども誰でも通園制度（仮称）」の利用意向

国が検討している「こども誰でも通園制度（仮称）」が創設された場合、利用したいか聞いたところ、「1. 利用したい」が57.6%、「2. 利用する必要はない」が39.1%であった。

図表 II-5-1 「こども誰でも通園制度（仮称）」の利用意向 | N=92

	件数	%
1. 利用したい	53	57.6%
2. 利用する必要はない	36	39.1%
無回答	3	3.3%
合計	92	100.0%



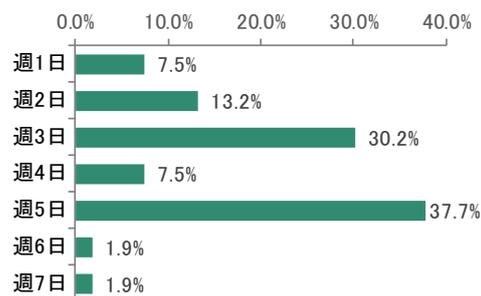
「こども誰でも通園制度（仮称）」の利用意向（問 14）で「利用したい」と回答した方に、希望する利用日数、利用時間、利用開始時間、利用終了時間を聞いたところ、以下のとおりである。

■希望する利用日数

1 週あたりの希望する利用日数は、「5 日」が 37.7%と最も多く、次いで「3 日」が 30.2%、「2 日」が 13.2%であった。

図表 II-5-2 こども誰でも通園制度／1 週あたりの希望する利用日数 | N=53

	件数	%
週1日	4	7.5%
週2日	7	13.2%
週3日	16	30.2%
週4日	4	7.5%
週5日	20	37.7%
週6日	1	1.9%
週7日	1	1.9%
合計	53	100.0%

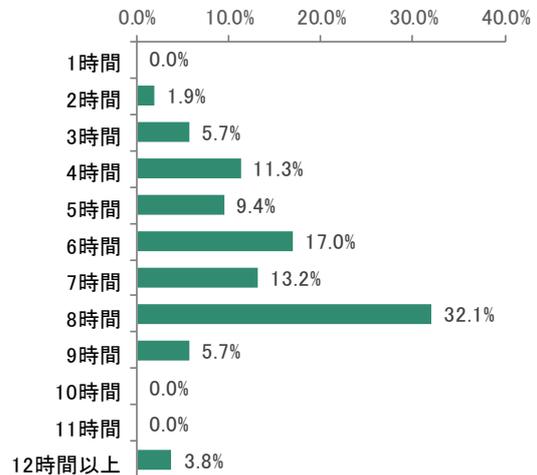


■希望する利用時間

1日あたりの希望する利用時間は、「8時間」が32.1%と最も多く、次いで「6時間」が17.0%、「4時間」が11.3%であった。

図表II-5-3 こども誰でも通園制度／1日あたりの希望する利用時間 | N=53

	件数	%
1時間	0	0.0%
2時間	1	1.9%
3時間	3	5.7%
4時間	6	11.3%
5時間	5	9.4%
6時間	9	17.0%
7時間	7	13.2%
8時間	17	32.1%
9時間	3	5.7%
10時間	0	0.0%
11時間	0	0.0%
12時間以上	2	3.8%
合計	53	100.0%

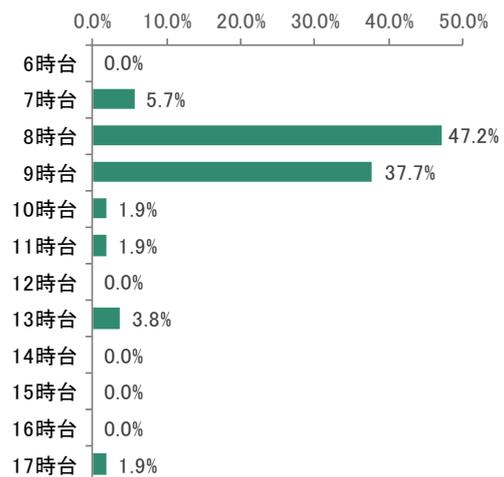


■希望する利用開始時間

希望する利用開始時間は、「8時台」が47.2%と最も多く、次いで「9時台」が37.7%であった。

図表II-5-4 こども誰でも通園制度／希望する利用開始時間 | N=53

	件数	%
6時台	0	0.0%
7時台	3	5.7%
8時台	25	47.2%
9時台	20	37.7%
10時台	1	1.9%
11時台	1	1.9%
12時台	0	0.0%
13時台	2	3.8%
14時台	0	0.0%
15時台	0	0.0%
16時台	0	0.0%
17時台	1	1.9%
合計	53	100.0%

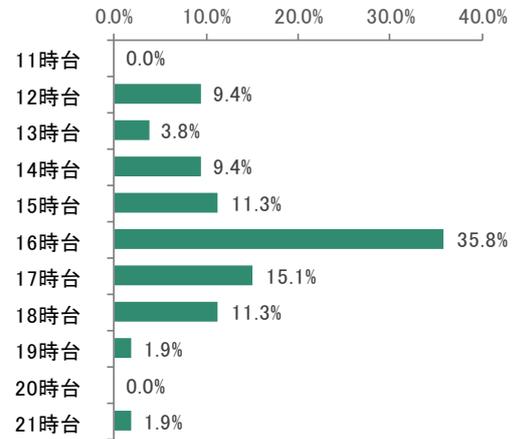


■希望する利用終了時間

希望する利用終了時間は、「16 時台」が 35.8%と最も多く、次いで「17 時台」が 15.1%であった。

図表 II-5-5 子ども誰でも通園制度／希望する利用終了時間 | N = 53

	件数	%
11時台	0	0.0%
12時台	5	9.4%
13時台	2	3.8%
14時台	5	9.4%
15時台	6	11.3%
16時台	19	35.8%
17時台	8	15.1%
18時台	6	11.3%
19時台	1	1.9%
20時台	0	0.0%
21時台	1	1.9%
合計	53	100.0%



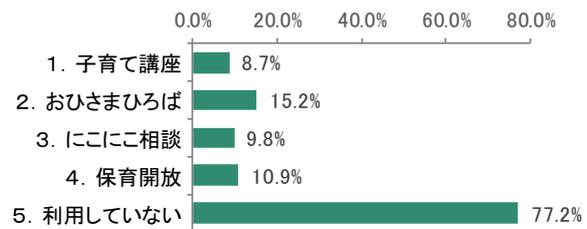
問 15 地域子育て支援センター「おひさま」の利用状況

地域子育て支援センター「おひさま」で利用している事業について聞いたところ、「5. 利用していない」が 77.2%と最も多く、次いで「2. おひさまひろば」が 15.2%、「4. 保育開放」が 10.9%であった。

図表 II-5-6 地域子育て支援センター「おひさま」の利用状況 | N=92

(複数回答)

	件数	%
1. 子育て講座	8	8.7%
2. おひさまひろば	14	15.2%
3. にこにこ相談	9	9.8%
4. 保育開放	10	10.9%
5. 利用していない	71	77.2%
全体	92	-



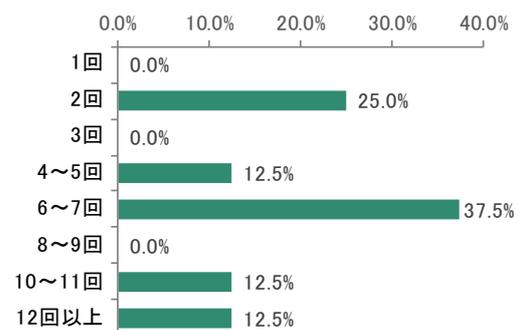
地域子育て支援センター「おひさま」で1～4の事業を利用している方に、各事業の利用頻度を聞いたところ、以下のとおりである。

■子育て講座の利用頻度

「子育て講座」について、年間の利用頻度を聞いたところ、「6～7回」が 37.5%と最も多く、次いで「2回」が 25.0%であった。

図表 II-5-7 子育て講座の利用頻度（年間） | N=8

	件数	%
1回	0	0.0%
2回	2	25.0%
3回	0	0.0%
4～5回	1	12.5%
6～7回	3	37.5%
8～9回	0	0.0%
10～11回	1	12.5%
12回以上	1	12.5%
合計	8	100.0%

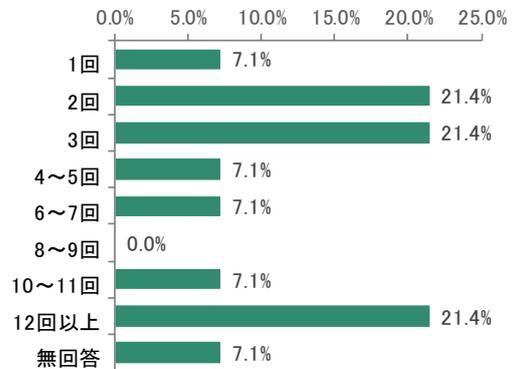


■おひさまひろばの利用頻度

「おひさまひろば」について、1か月あたりの利用頻度を聞いたところ、「2回」「3回」「12回以上」がともに21.4%と最も多い。

図表 II-5-8 おひさまひろばの利用頻度（月間） | N=14

	件数	%
1回	1	7.1%
2回	3	21.4%
3回	3	21.4%
4～5回	1	7.1%
6～7回	1	7.1%
8～9回	0	0.0%
10～11回	1	7.1%
12回以上	3	21.4%
無回答	1	7.1%
合計	14	100.0%

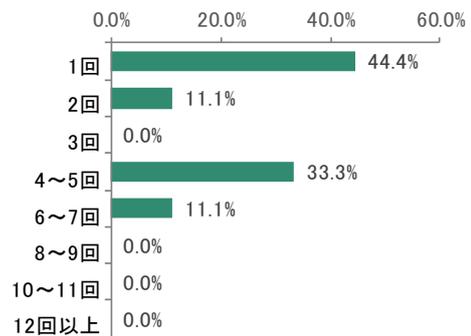


■にこにこ相談の利用頻度

「にこにこ相談」について、年間の利用頻度を聞いたところ、「1回」が44.4%と最も多く、次いで「4～5回」が33.3%であった。

図表 II-5-9 にこにこ相談の利用頻度（年間） | N=9

	件数	%
1回	4	44.4%
2回	1	11.1%
3回	0	0.0%
4～5回	3	33.3%
6～7回	1	11.1%
8～9回	0	0.0%
10～11回	0	0.0%
12回以上	0	0.0%
合計	9	100.0%

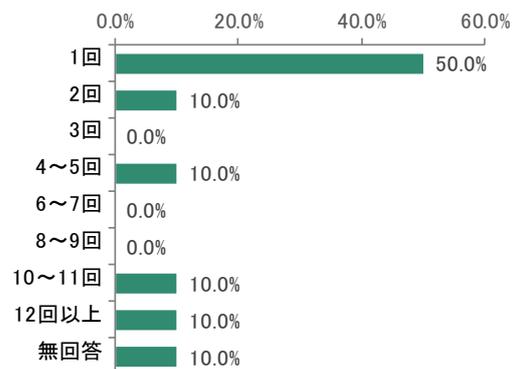


■保育開放の利用頻度

「保育開放」について、年間の利用頻度を聞いたところ、「1回」が50.0%と最も多い。

図表 II-5-10 保育開放の利用頻度（年間） | N=10

	件数	%
1回	5	50.0%
2回	1	10.0%
3回	0	0.0%
4～5回	1	10.0%
6～7回	0	0.0%
8～9回	0	0.0%
10～11回	1	10.0%
12回以上	1	10.0%
無回答	1	10.0%
合計	10	100.0%

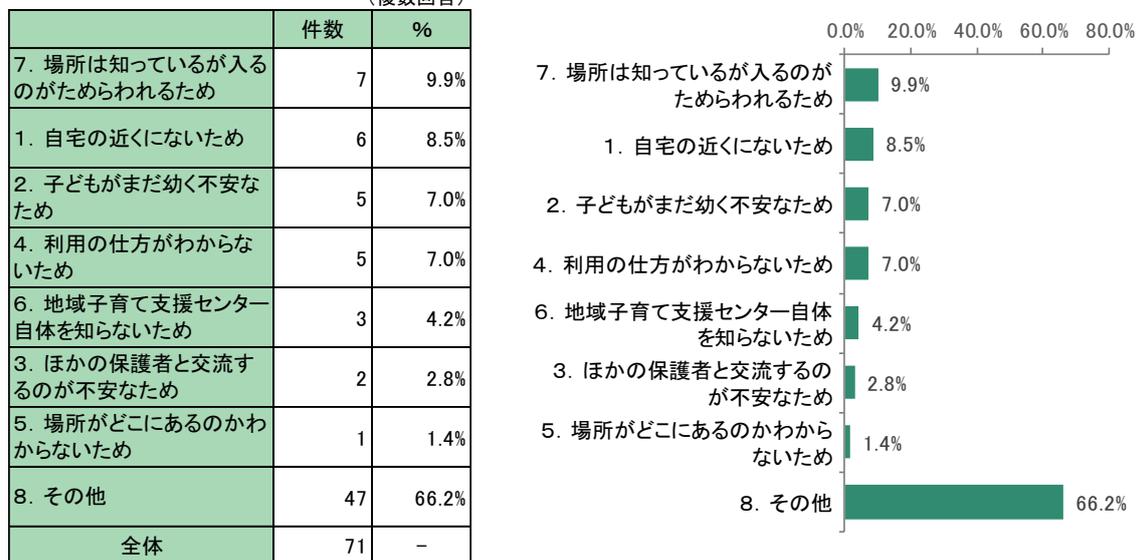


問 15-1 地域子育て支援センター「おひさま」を利用していない理由

地域子育て支援センター「おひさま」で利用している事業（問 15）で「利用していない」と回答した方に、利用していない理由について聞いたところ、「その他」を除くと、「7. 場所は知っているが入るのがためられるため」が 9.9%と最も多く、次いで「1. 自宅の近くにないため」が 8.5%、「2. 子どもがまだ幼く不安なため」と「4. 利用の仕方がわからないため」がともに 7.0%であった。

「その他」としては、「幼児センターを利用しているため」「仕事で時間がないため」「利用する必要がないため」等があげられていた。

図表 II-5-11 地域子育て支援センター「おひさま」を利用していない理由（複数回答） | N = 71
(複数回答)

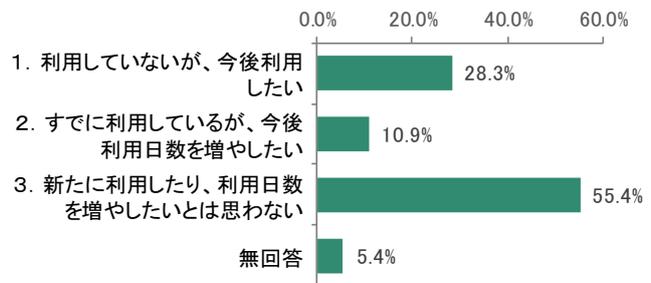


問 16 地域子育て支援センター「おひさま」の利用意向

地域子育て支援センター「おひさま」について、今後利用したいか聞いたところ、「3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 55.4%と最も多く、次いで「1. 利用していないが、今後利用したい」が 28.3%であった。

図表 II-5-12 地域子育て支援センター「おひさま」の利用意向 | N=71

	件数	%
1. 利用していないが、今後利用したい	26	28.3%
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	10	10.9%
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	51	55.4%
無回答	5	5.4%
合計	92	100.0%

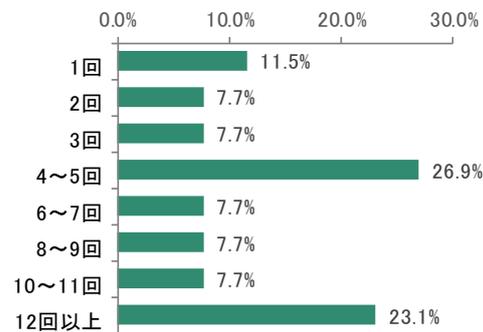


■（今後利用したい場合）希望する利用回数

地域子育て支援センター「おひさま」の利用意向（問 16）で「1. 利用していないが、今後利用したい」と回答した方に、1 か月あたりの希望する利用回数を聞いたところ、「4～5回」が 26.9%と最も多く、次いで「12回以上」が 23.1%、「1回」が 11.5%であった。

図表 II-5-13 今後利用したい場合、1 か月あたりの希望する利用回数 | N=26

	件数	%
1回	3	11.5%
2回	2	7.7%
3回	2	7.7%
4～5回	7	26.9%
6～7回	2	7.7%
8～9回	2	7.7%
10～11回	2	7.7%
12回以上	6	23.1%
合計	26	100.0%

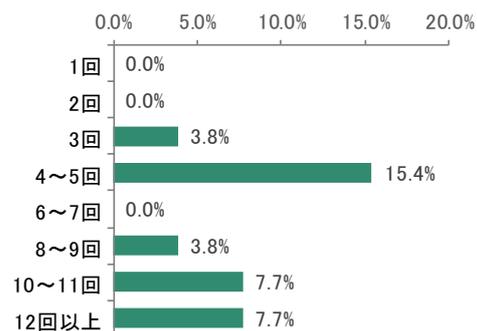


■（今後利用日数を増やしたい場合）希望する利用回数

問 16で「2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と回答した方に、1 か月あたりの希望する利用回数を聞いたところ、「4～5回」が 15.4%と最も多く、次いで「10～11回」と「12回以上」がともに 7.7%であった。

図表 II-5-14 今後利用日数を増やしたい場合、1 か月あたりの希望する利用回数 | N=10

	件数	%
1回	0	0.0%
2回	0	0.0%
3回	1	3.8%
4～5回	4	15.4%
6～7回	0	0.0%
8～9回	1	3.8%
10～11回	2	7.7%
12回以上	2	7.7%
合計	10	38.5%



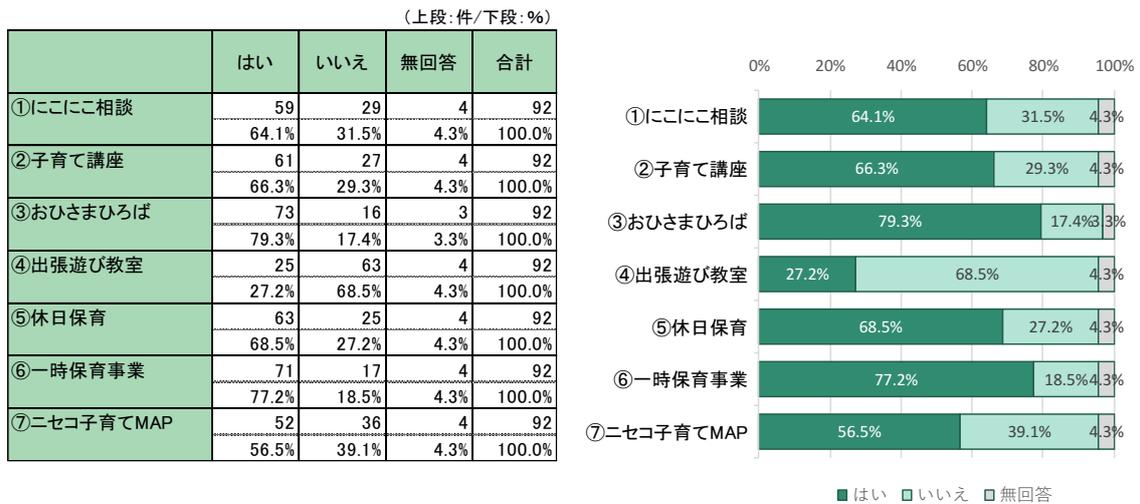
問 17 地域の子育て支援事業の認知度と利用意向

地域の子育て支援事業について、それぞれの認知度と利用意向を聞いたところ、以下のとおりである。

A. 事業の認知度

①～⑦の子育て支援事業について、知っているか聞いたところ、「③おひさまひろば」が79.3%と最も多く、次いで「⑥一時保育事業」が77.2%、「⑤休日保育」が68.5%であった。

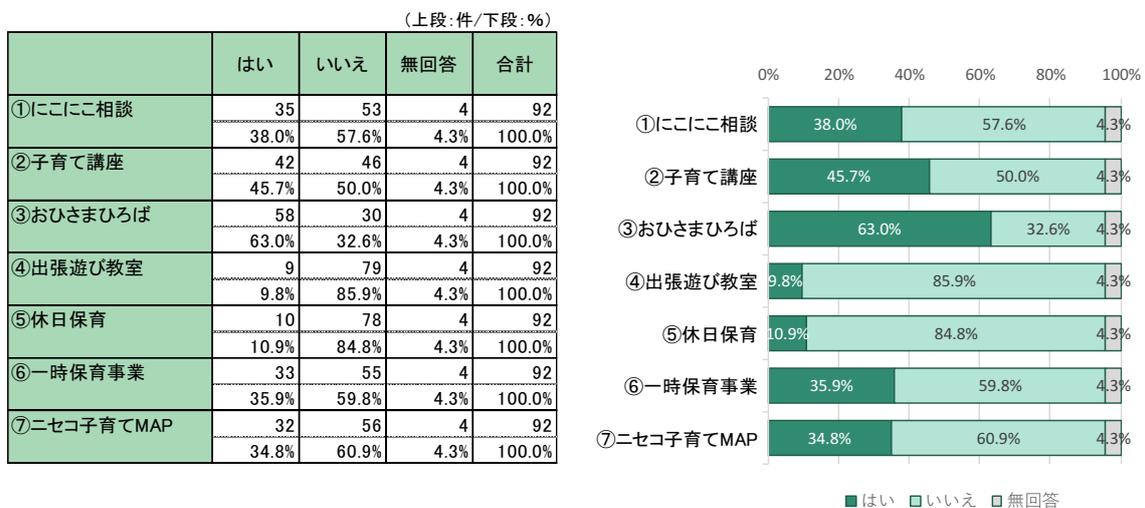
図表 II -5-15 子育て支援事業／事業の認知度 | N = 92



B. 事業の利用状況

①～⑦の子育て支援事業について、これまで利用したことがあるか聞いたところ、「③おひさまひろば」が63.0%と最も多く、次いで「②子育て講座」が45.7%、「①にこにこ相談」が38.0%であった。

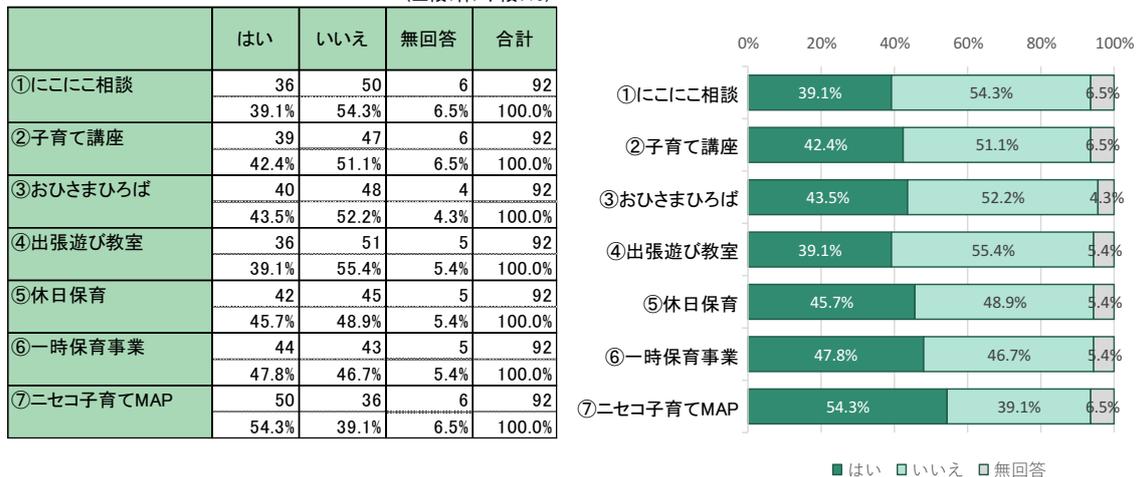
図表 II -5-16 子育て支援事業／事業の利用状況 | N = 92



C. 今後の事業の利用希望

①～⑦の子育て支援事業について、今後利用したいか聞いたところ、「⑦ニセコ子育てMAP」が54.3%と最も多く、次いで「⑥一時保育事業」が47.8%、「⑤休日保育」が45.7%であった。

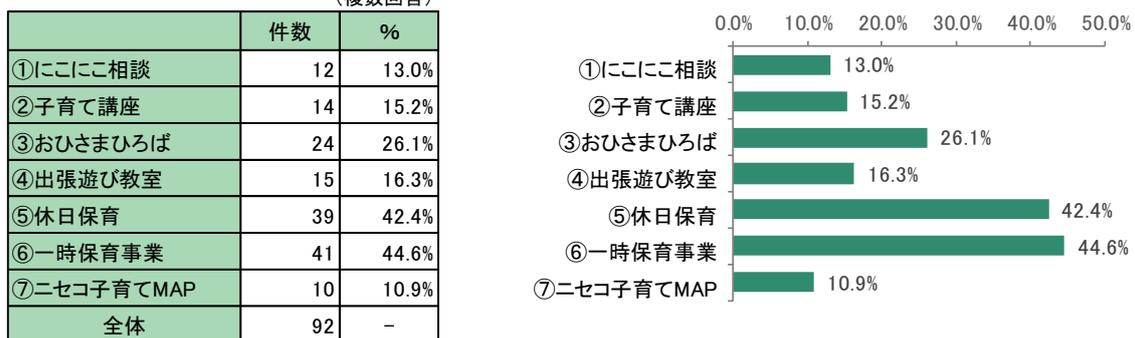
図表 II-5-17 子育て支援事業／今後の事業の利用希望 | N=92
(上段:件/下段:%)



D. 重点的な取組を期待するもの

①～⑦の子育て支援事業のうち、行政に対して重点的な取組を期待するものについて聞いたところ、「⑥一時保育事業」が44.6%と最も多く、次いで「⑤休日保育」が42.4%、「③おひさまひろば」が26.1%であった。

図表 II-5-18 子育て支援事業／重点的な取組を期待するもの（複数回答） | N=92
(複数回答)



6. 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について

問 18 土曜・休日の教育・保育事業の利用意向

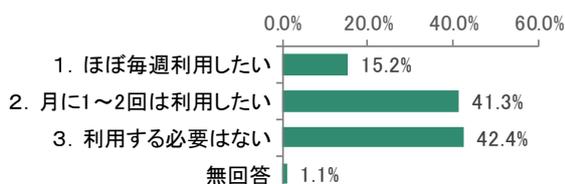
土曜日や日曜日・祝日に、定期的に教育・保育事業を利用したいか聞いたところ、それぞれ以下のとおりである。

(1) 土曜日

土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望について、「3. 利用する必要はない」が 42.4%と最も多く、次いで「2. 月に1～2回は利用したい」が 41.3%、「1. ほぼ毎週利用したい」が 15.2%であった。

図表 II-6-1 土曜日／定期的な教育・保育事業の利用意向 | N=92

	件数	%
1. ほぼ毎週利用したい	14	15.2%
2. 月に1～2回は利用したい	38	41.3%
3. 利用する必要はない	39	42.4%
無回答	1	1.1%
合計	92	100.0%



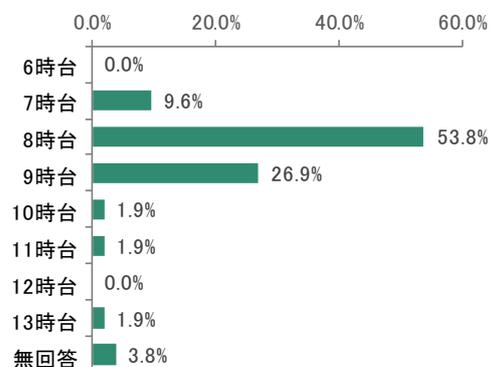
土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望について、「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回は利用したい」と回答した方に、希望する利用開始時間、利用終了時間を聞いたところ、以下のとおりである。

■希望する利用開始時間

土曜日に希望する利用開始時間は、「8 時台」が 53.8%と最も多く、次いで「9 時台」が 26.9%、「7 時台」が 9.6%であった。

図表 II-6-2 土曜日／定期的な教育・保育事業の希望する利用開始時間 | N=52

	件数	%
6時台	0	0.0%
7時台	5	9.6%
8時台	28	53.8%
9時台	14	26.9%
10時台	1	1.9%
11時台	1	1.9%
12時台	0	0.0%
13時台	1	1.9%
無回答	2	3.8%
合計	52	100.0%

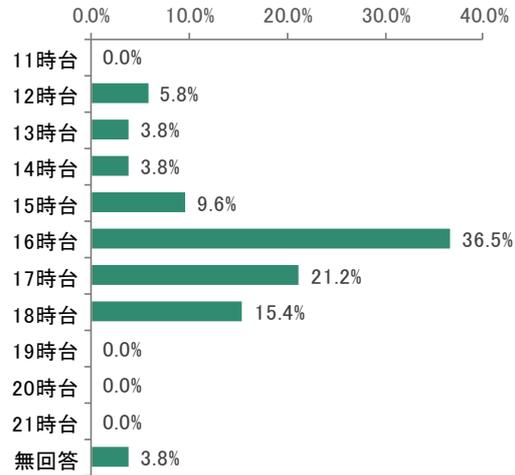


■希望する利用終了時間

土曜日に希望する利用終了時間は、「16 時台」が 36.5%と最も多く、次いで「17 時台」が 21.2%、「18 時台」が 15.4%であった。

図表 II-6-3 土曜日／定期的な教育・保育事業の希望する利用終了時間 | N=52

	件数	%
11時台	0	0.0%
12時台	3	5.8%
13時台	2	3.8%
14時台	2	3.8%
15時台	5	9.6%
16時台	19	36.5%
17時台	11	21.2%
18時台	8	15.4%
19時台	0	0.0%
20時台	0	0.0%
21時台	0	0.0%
無回答	2	3.8%
合計	52	100.0%

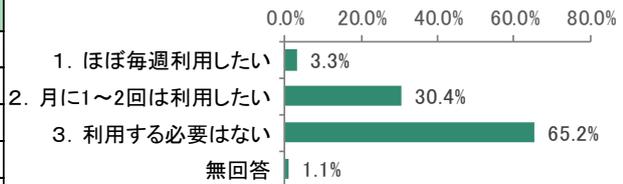


(2) 日曜日・祝日

日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望について、「3. 利用する必要はない」が 65.2%と最も多く、次いで「2. 月に 1～2 回は利用したい」が 30.4%、「1. ほぼ毎週利用したい」が 3.3%であった。

図表 II-6-4 日曜日・祝日／定期的な教育・保育事業の利用希望 | N=92

	件数	%
1. ほぼ毎週利用したい	3	3.3%
2. 月に1～2回は利用したい	28	30.4%
3. 利用する必要はない	60	65.2%
無回答	1	1.1%
合計	92	100.0%



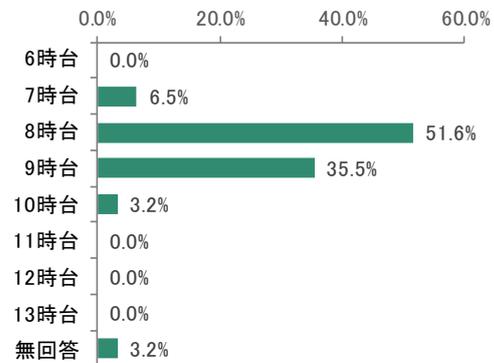
日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望について、「ほぼ毎週利用したい」「月に 1～2 回は利用したい」と回答した方に、希望する利用開始時間、利用終了時間を聞いたところ、以下のとおりである。

■希望する利用開始時間

日曜日・祝日に希望する利用開始時間は、「8時台」が51.6%と最も多く、次いで「9時台」が35.5%、「7時台」は6.5%であった。

図表II-6-5 日曜日・祝日／定期的な教育・保育事業の希望する利用開始時間 | N = 31

	件数	%
6時台	0	0.0%
7時台	2	6.5%
8時台	16	51.6%
9時台	11	35.5%
10時台	1	3.2%
11時台	0	0.0%
12時台	0	0.0%
13時台	0	0.0%
無回答	1	3.2%
合計	31	100.0%

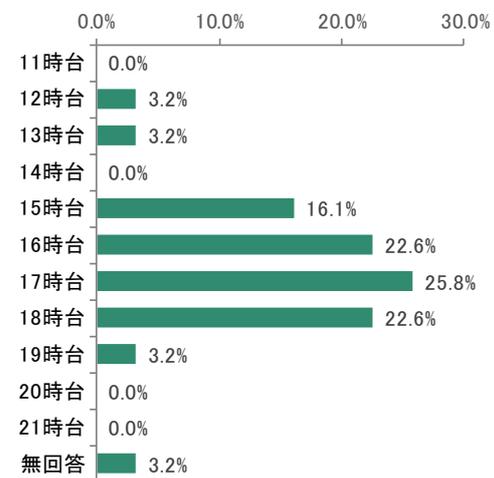


■希望する利用終了時間

日曜日・祝日に希望する利用終了時間は、「17時台」が25.8%と最も多く、次いで「16時台」と「18時台」がともに22.6%、「15時台」が16.1%であった。

図表II-6-6 日曜日・祝日／定期的な教育・保育事業の希望する利用終了時間 | N = 31

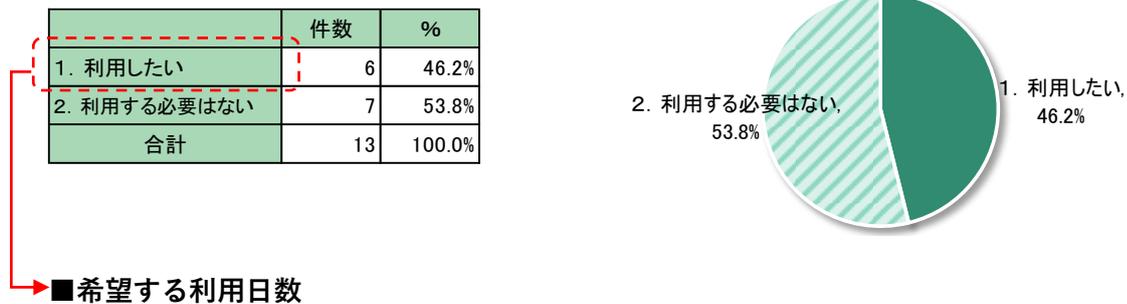
	件数	%
11時台	0	0.0%
12時台	1	3.2%
13時台	1	3.2%
14時台	0	0.0%
15時台	5	16.1%
16時台	7	22.6%
17時台	8	25.8%
18時台	7	22.6%
19時台	1	3.2%
20時台	0	0.0%
21時台	0	0.0%
無回答	1	3.2%
合計	31	100.0%



問 19 長期休暇中の教育・保育事業の利用意向

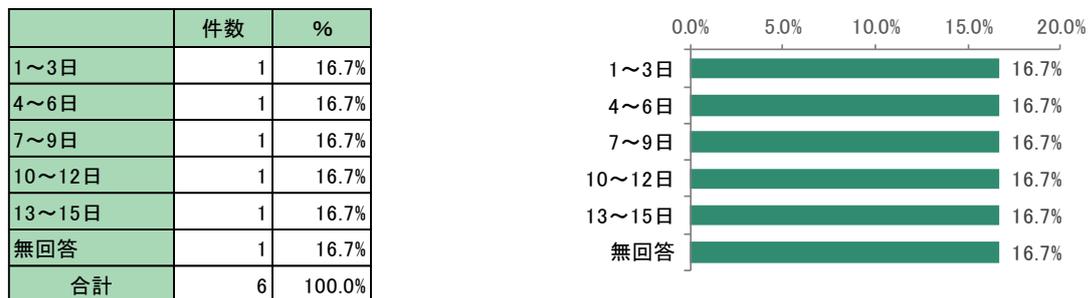
幼児センター（短時間保育）または幼稚園を利用している方に、長期休暇中において、幼稚園の預かり保育の利用を希望するか聞いたところ、「1. 利用したい」が46.2%、「2. 利用する必要はない」が53.8%であった。

図表 II -6-7 長期休暇中の幼稚園の預かり保育の利用意向 | N = 13



問 19 で長期休暇中の幼稚園の預かり保育を「利用したい」と回答した方に、1 か月あたりの希望する利用日数を聞いたところ、「1～3 日」「4～6 日」「7～9 日」「10～12 日」「13～15 日」のいずれも 1 件（16.7%）であった。

図表 II -6-8 1 か月あたりの希望する利用日数 | N = 6



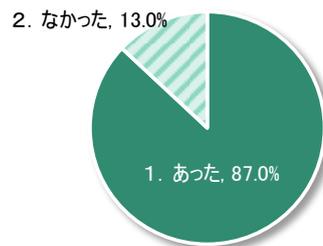
7. 病気やケガの際の対応について

問 20 病気やケガで定期的な教育・保育事業が利用できなかったことの有無

この1年間に、子どもが病気やケガで定期的な教育・保育事業が利用できなかったことがあるか聞いたところ、「1. あった」が87.0%、「2. なかった」が13.0%であった。

図表 II-7-1 病気やケガで定期的な教育・保育事業の利用ができなかったことの有無 | N=77

	件数	%
1. あった	67	87.0%
2. なかった	10	13.0%
合計	77	100.0%

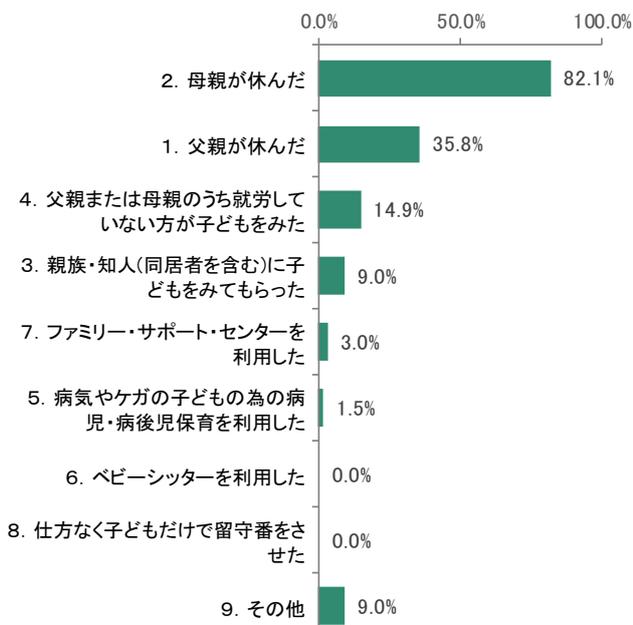


問 20-1 定期的な教育・保育事業が利用できなかった場合の対処方法

子どもが病気やケガで定期的な教育・保育事業が利用できなかったことの有無（問 20）で「1. あった」と回答した方に、この1年間に行った対処方法を聞いたところ、「2. 母親が休んだ」が82.1%と最も多く、次いで「1. 父親が休んだ」が35.8%、「4. 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」が14.9%であった。

図表 II-7-2 定期的な教育・保育事業が利用できなかった場合の対処方法（複数回答） | N=67
(複数回答)

	件数	%
2. 母親が休んだ	55	82.1%
1. 父親が休んだ	24	35.8%
4. 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	10	14.9%
3. 親族・知人(同居者を含む)に子どもをみてもらった	6	9.0%
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	2	3.0%
5. 病気やケガの子どもの為の病児・病後児保育を利用した	1	1.5%
6. ベビーシッターを利用した	0	0.0%
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	0	0.0%
9. その他	6	9.0%
全体	67	-

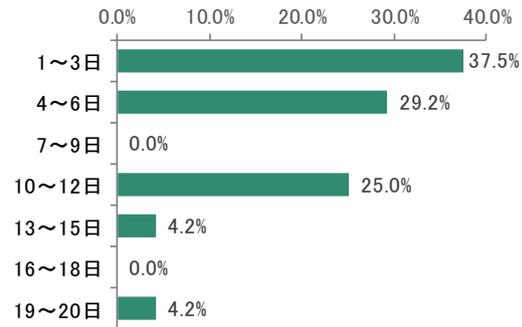


また、それぞれの対応にかかった1年間あたりの日数は、以下(1)～(9)のとおりである。

(1) 父親が休んだ／年間日数

図表 II-7-3 父親が休んだ／年間日数 | N = 24

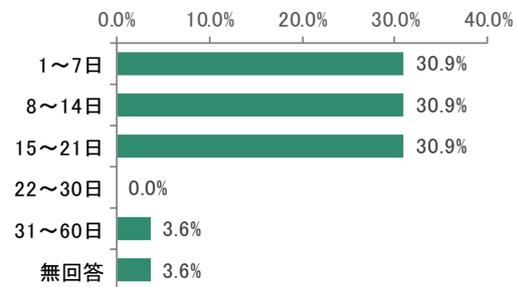
	件数	%
1～3日	9	37.5%
4～6日	7	29.2%
7～9日	0	0.0%
10～12日	6	25.0%
13～15日	1	4.2%
16～18日	0	0.0%
19～20日	1	4.2%
合計	24	100.0%



(2) 母親が休んだ／年間日数

図表 II-7-4 母親が休んだ／年間日数 | N = 55

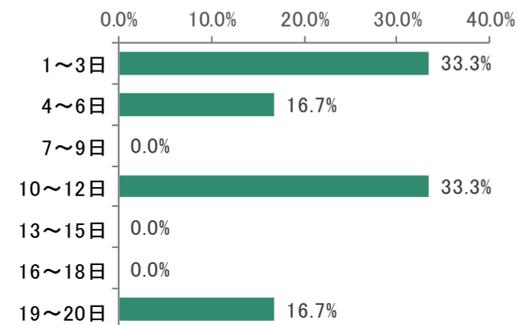
	件数	%
1～7日	17	30.9%
8～14日	17	30.9%
15～21日	17	30.9%
22～30日	0	0.0%
31～60日	2	3.6%
無回答	2	3.6%
合計	55	100.0%



(3) 親族・知人（同居者含む）に子どもをみてもらった／年間日数

図表 II-7-5 親族・知人（同居者含む）に子どもをみてもらった／年間日数 | N = 6

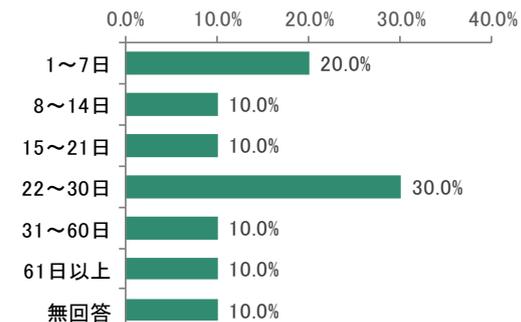
	件数	%
1～3日	2	33.3%
4～6日	1	16.7%
7～9日	0	0.0%
10～12日	2	33.3%
13～15日	0	0.0%
16～18日	0	0.0%
19～20日	1	16.7%
合計	6	100.0%



(4) 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた／年間日数

図表 II-7-6 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた／年間日数 | N = 10

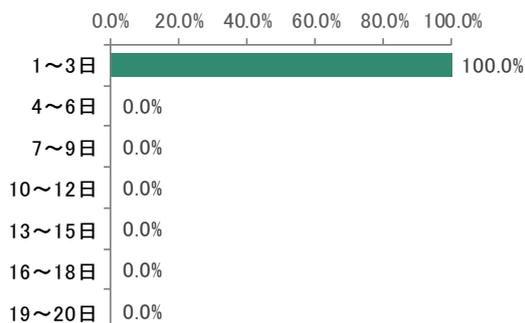
	件数	%
1～7日	2	20.0%
8～14日	1	10.0%
15～21日	1	10.0%
22～30日	3	30.0%
31～60日	1	10.0%
61日以上	1	10.0%
無回答	1	10.0%
合計	10	100.0%



(5) 病気やケガの子どものための病児・病後児保育を利用した／年間日数

図表 II-7-7 病気やケガの子どものための病児・病後児保育を利用した／年間日数 | N=1

	件数	%
1～3日	1	100.0%
4～6日	0	0.0%
7～9日	0	0.0%
10～12日	0	0.0%
13～15日	0	0.0%
16～18日	0	0.0%
19～20日	0	0.0%
合計	1	100.0%



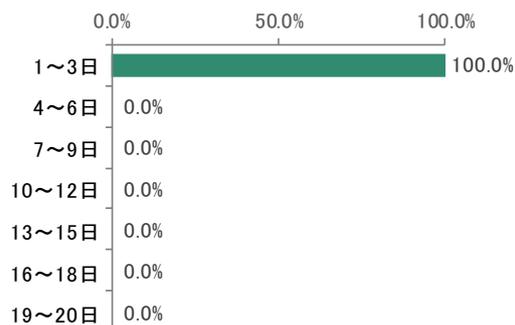
(6) ベビーシッターを利用した／年間日数

「ベビーシッターを利用した」の回答はなかった。

(7) ファミリー・サポート・センターを利用した／年間日数

図表 II-7-8 ファミリー・サポート・センターを利用した／年間日数 | N=2

	件数	%
1～3日	2	100.0%
4～6日	0	0.0%
7～9日	0	0.0%
10～12日	0	0.0%
13～15日	0	0.0%
16～18日	0	0.0%
19～20日	0	0.0%
合計	2	100.0%



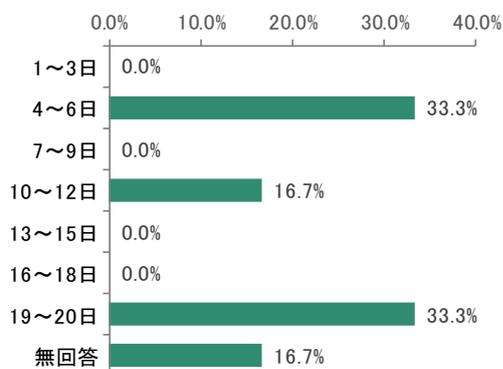
(8) 仕方なく子どもだけで留守番をさせた／年間日数

「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」の回答はなかった。

(9) その他／年間日数

図表 II-7-9 その他／年間日数 | N=6

	件数	%
1～3日	0	0.0%
4～6日	2	33.3%
7～9日	0	0.0%
10～12日	1	16.7%
13～15日	0	0.0%
16～18日	0	0.0%
19～20日	2	33.3%
無回答	1	16.7%
合計	6	100.0%

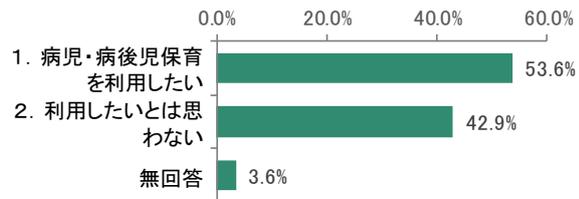


問 20-2 病児・病後児保育の利用意向

定期的な教育・保育事業が利用できなかった場合の対処方法（問 20-1）で「1. 父親が休んだ」または「2. 母親が休んだ」と回答した方に、病児・病後児保育を利用したいか聞いたところ、「1. 病児・病後児保育を利用したい」が 53.6%、「2. 利用したいとは思わない」が 42.9%であった。

図表 II-7-10 病児・病後児保育の利用意向 | N = 56

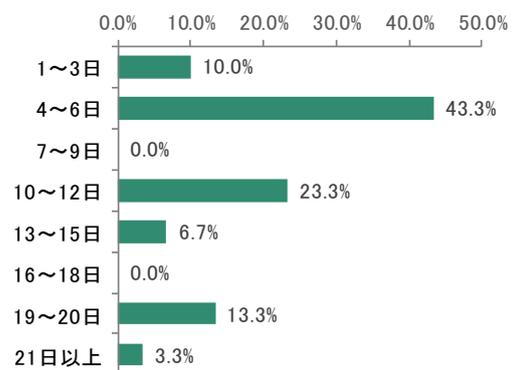
	件数	%
1. 病児・病後児保育を利用したい	30	53.6%
2. 利用したいとは思わない	24	42.9%
無回答	2	3.6%
合計	56	100.0%



上記で「1. 病児・病後児保育を利用したい」と回答した方に、希望する年間の利用日数を聞いたところ、「4～6日」が 43.3%と最も多く、次いで「10～12日」が 23.3%、「19～20日」が 13.3%であった。

図表 II-7-11 病児・病後児保育／希望する年間の利用日数 | N = 30

	件数	%
1～3日	3	10.0%
4～6日	13	43.3%
7～9日	0	0.0%
10～12日	7	23.3%
13～15日	2	6.7%
16～18日	0	0.0%
19～20日	4	13.3%
21日以上	1	3.3%
合計	30	100.0%

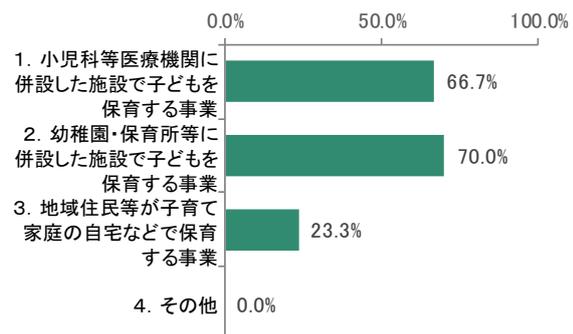


問 20-3 病児・病後児保育で希望する事業形態

病児・病後児保育の利用意向（問 20-2）で「1. 病児・病後児保育を利用したい」と回答した方に、上記の目的で子どもを預ける時の事業形態を聞いたところ、「2. 幼稚園・保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業」が 70.0%と最も多く、次いで「1. 小児科等医療機関に併設した施設で子どもを保育する事業」が 66.7%、「3. 地域住民等が子育て家庭の自宅などで保育する事業」が 23.3%であった。

図表 II-7-12 病児・病後児保育／希望する事業形態（複数回答） | N=30
(複数回答)

	件数	%
1. 小児科等医療機関に併設した施設で子どもを保育する事業	20	66.7%
2. 幼稚園・保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業	21	70.0%
3. 地域住民等が子育て家庭の自宅などで保育する事業	7	23.3%
4. その他	0	0.0%
全体	30	-



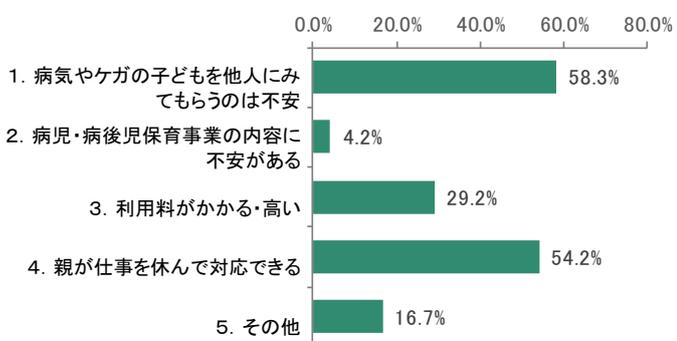
問 20-4 病児・病後児保育を利用したいと思わない理由

病児・病後児保育の利用意向（問 20-2）で「2. 利用したいと思わない」と回答した方に、利用したいと思わない理由を聞いたところ、「1. 病気やケガの子どもを他人にみてもらうのは不安」が 58.3%と最も多く、次いで「4. 親が仕事を休んで対応できる」が 54.2%、「3. 利用料がかかる・高い」は 29.2%であった。

「その他」としては、「病気の際は子どものそばにいてあげたい」「お金を払うとはいえ病気の子をみてもらうのは申し訳ない」等があげられていた。

図表 II-7-13 病児・病後児保育を利用したいと思わない理由（複数回答） | N=24
(複数回答)

	件数	%
1. 病気やケガの子どもを他人にみてもらうのは不安	14	58.3%
2. 病児・病後児保育事業の内容に不安がある	1	4.2%
3. 利用料がかかる・高い	7	29.2%
4. 親が仕事を休んで対応できる	13	54.2%
5. その他	4	16.7%
全体	24	-

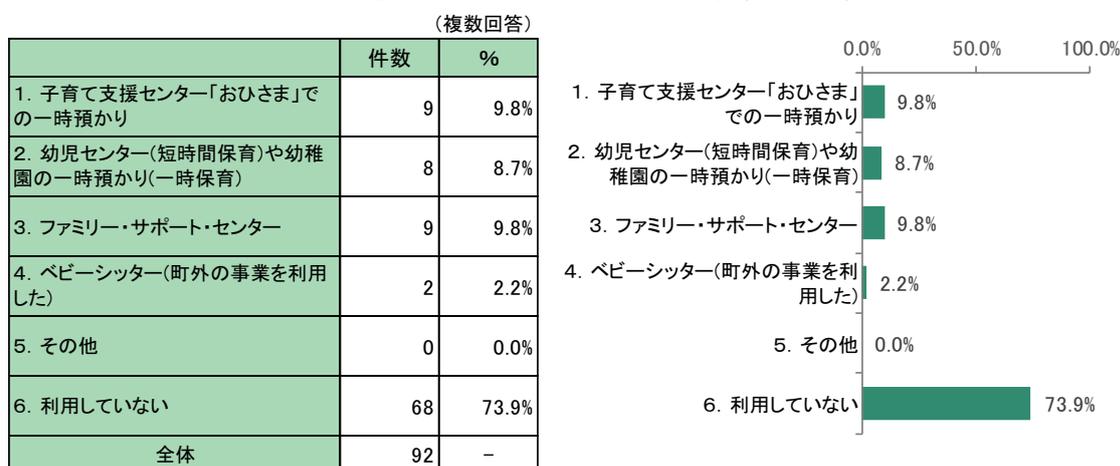


8. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 21 不定期の教育・保育事業の利用状況

日中の定期的な保育や病気のため以外に、保護者の通院、不定期的な仕事等を理由に不定期に利用している事業はあるか聞いてみると、「6. 利用していない」が73.9%と最も多く、次いで「1. 子育て支援センター「おひさま」での一時預かり」と「3. ファミリー・サポート・センター」がともに9.8%、「2. 幼児センター（短時間保育）や幼稚園の一時預かり（一時保育）」が8.7%であった。

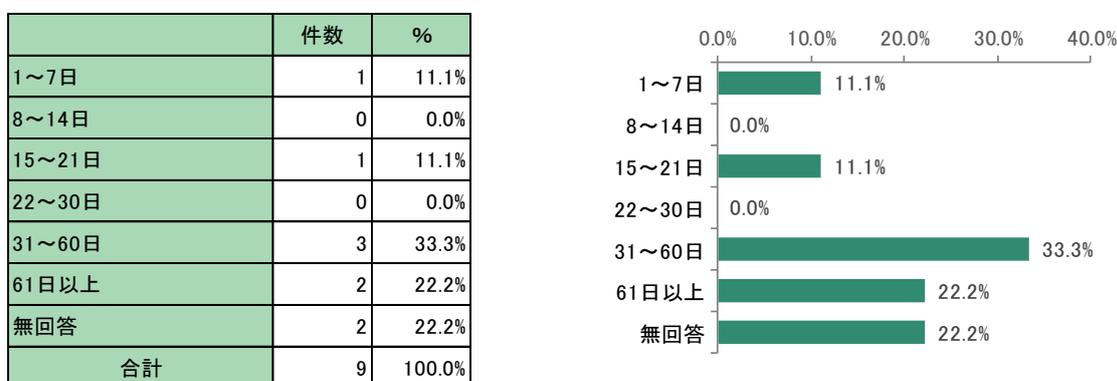
図表Ⅱ-8-1 不定期の教育・保育事業の利用状況（複数回答） | N=92



また、各事業の1年間あたりの利用日数も聞いたところ、以下(1)～(5)のとおりである。

(1) 子育て支援センター「おひさま」での一時預かり／年間日数

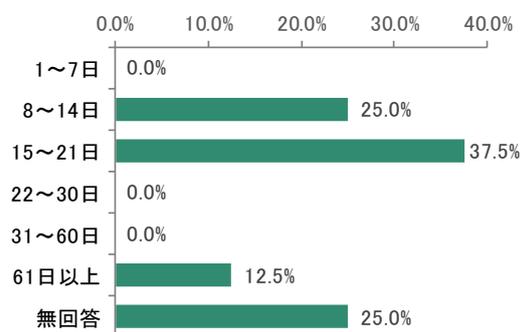
図表Ⅱ-8-2 子育て支援センター「おひさま」での一時預かり／年間日数 | N=9



(2) 幼児センター（短時間保育）や幼稚園の一時預かり（一時保育）／年間日数

図表 II-8-3 幼児センター（短時間保育）や幼稚園の一時預かり（一時保育）／年間日数 | N=8

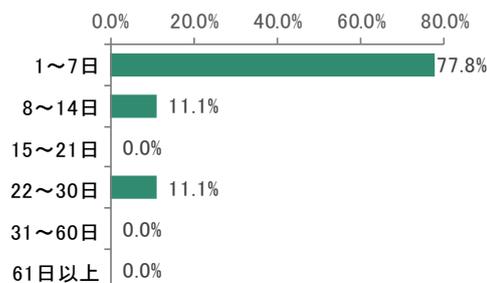
	件数	%
1～7日	0	0.0%
8～14日	2	25.0%
15～21日	3	37.5%
22～30日	0	0.0%
31～60日	0	0.0%
61日以上	1	12.5%
無回答	2	25.0%
合計	8	100.0%



(3) ファミリー・サポート・センター／年間日数

図表 II-8-4 ファミリー・サポート・センター／年間日数 | N=9

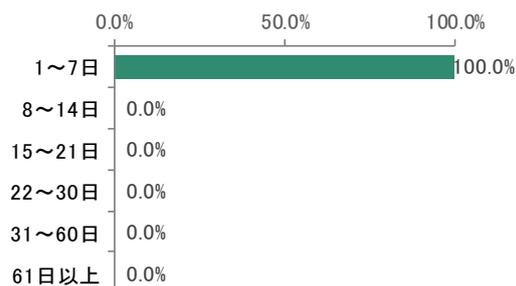
	件数	%
1～7日	7	77.8%
8～14日	1	11.1%
15～21日	0	0.0%
22～30日	1	11.1%
31～60日	0	0.0%
61日以上	0	0.0%
合計	9	100.0%



(4) ベビーシッター（町外の事業を利用した）／年間日数

図表 II-8-5 ベビーシッター（町外の事業を利用した）／年間日数 | N=2

	件数	%
1～7日	2	100.0%
8～14日	0	0.0%
15～21日	0	0.0%
22～30日	0	0.0%
31～60日	0	0.0%
61日以上	0	0.0%
合計	2	100.0%



(5) その他／年間日数

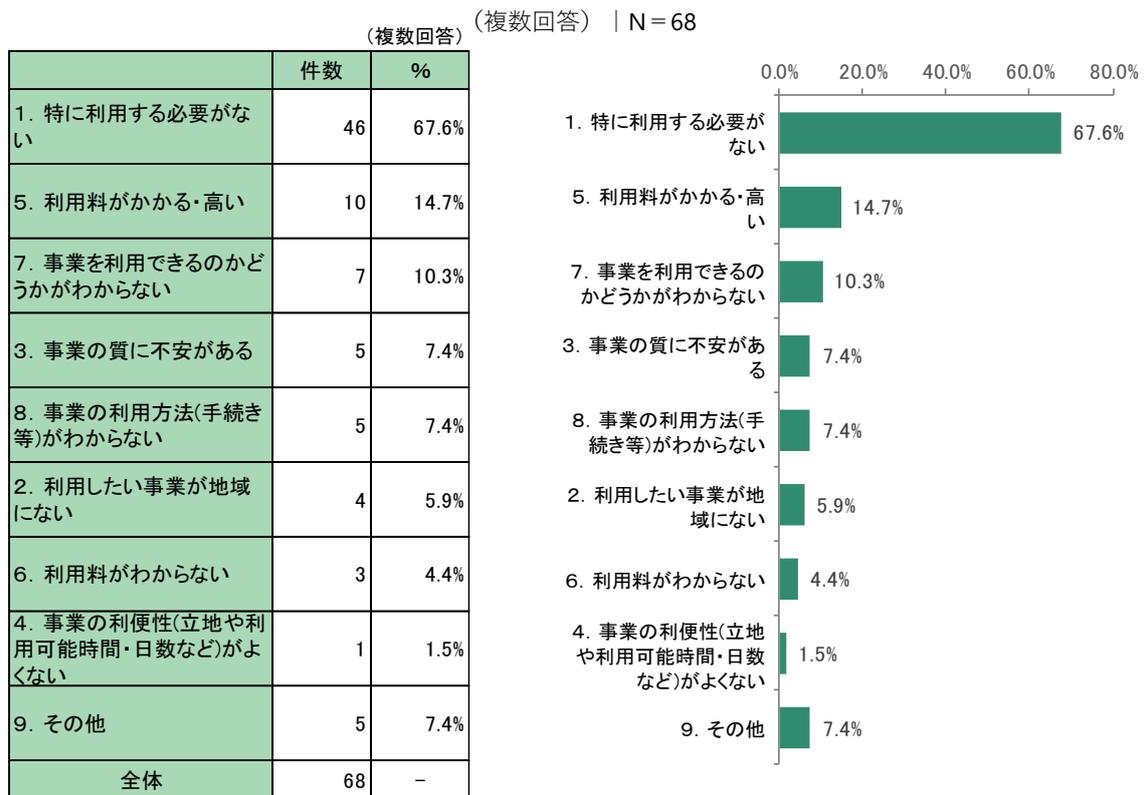
「その他」の回答はなかった。

問 21-1 不定期の教育・保育事業を利用していない理由

不定期の教育・保育事業の利用状況（問 21）で「6. 利用していない」と回答した方に、利用していない理由を聞いたところ、「1. 特に利用する必要がない」が 67.6%と最も多く、次いで「5. 利用料がかかる・高い」が 14.7%、「7. 事業を利用できるのかどうか分からない」が 10.3%であった。

「その他」としては、「子どもが幼すぎるため」「急に用事が入るため事前予約ができないため」「土日祝は仕事を休みにしているため」等があげられていた。

図表 II -8-6 不定期の教育・保育事業を利用していない理由

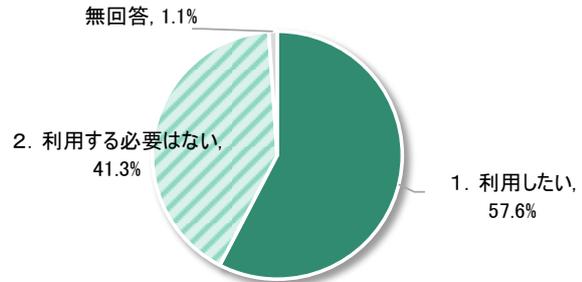


問 22 一時預かりの利用意向

保護者の通院や不規則な仕事、リフレッシュ等の目的で、「一時預かり」を利用する必要があるか聞いたところ、「1. 利用したい」が57.6%、「2. 利用する必要はない」が41.3%であった。

図表 II-8-7 一時預かりの利用意向 | N=92

	件数	%
1. 利用したい	53	57.6%
2. 利用する必要はない	38	41.3%
無回答	1	1.1%
合計	92	100.0%

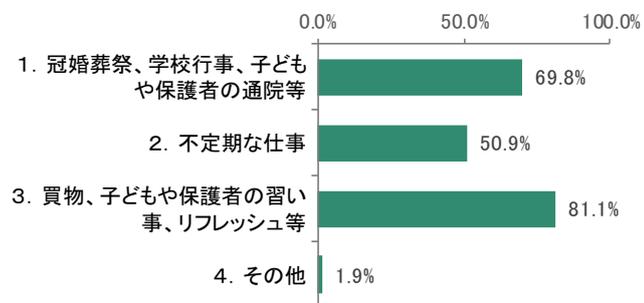


一時預かりを「利用したい」と回答した方に、利用したい目的を聞いたところ、「3. 買物、子どもや保護者の習い事、リフレッシュ等」が81.1%と最も多く、次いで「1. 冠婚葬祭、学校行事、子どもや保護者の通院等」が69.8%、「2. 不規則な仕事」が50.9%であった。

図表 II-8-8 一時預かりの利用目的（複数回答） | N=53

(複数回答)

	件数	%
1. 冠婚葬祭、学校行事、子どもや保護者の通院等	37	69.8%
2. 不規則な仕事	27	50.9%
3. 買物、子どもや保護者の習い事、リフレッシュ等	43	81.1%
4. その他	1	1.9%
全体	53	-

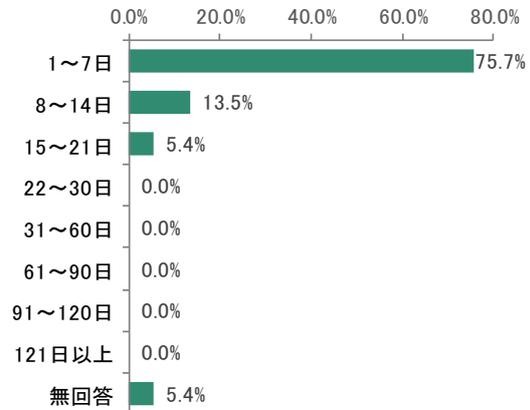


一時預かりを「利用したい」と回答した方に、必要な年間日数と年間合計日数を聞いたところ、以下(1)～(5)のとおりである。

(1) 冠婚葬祭、学校行事、子どもや保護者の通院等／年間日数

図表 II-8-9 冠婚葬祭、学校行事、子どもや保護者の通院等／年間日数 | N=37

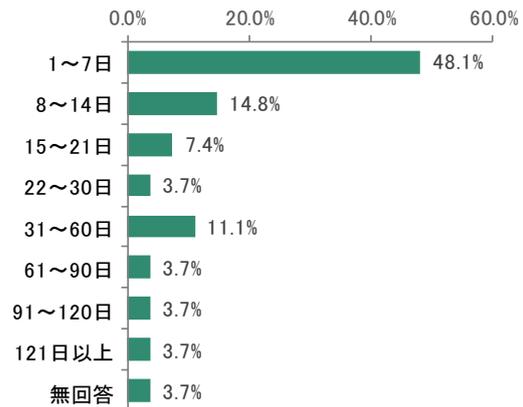
	件数	%
1～7日	28	75.7%
8～14日	5	13.5%
15～21日	2	5.4%
22～30日	0	0.0%
31～60日	0	0.0%
61～90日	0	0.0%
91～120日	0	0.0%
121日以上	0	0.0%
無回答	2	5.4%
合計	37	100.0%



(2) 不定期的な仕事／年間日数

図表 II-8-10 不定期的な仕事／年間日数 | N=27

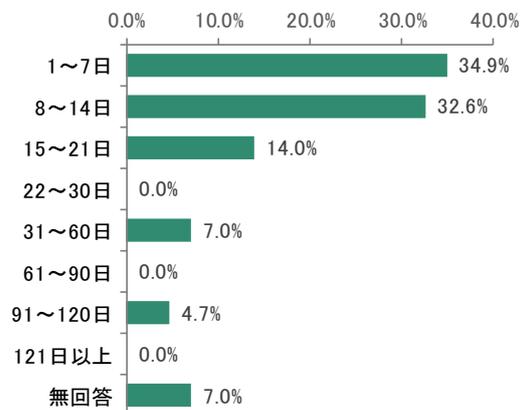
	件数	%
1～7日	13	48.1%
8～14日	4	14.8%
15～21日	2	7.4%
22～30日	1	3.7%
31～60日	3	11.1%
61～90日	1	3.7%
91～120日	1	3.7%
121日以上	1	3.7%
無回答	1	3.7%
合計	27	100.0%



(3) 買物、子どもや保護者の習い事、リフレッシュ等／年間日数

図表 II-8-11 買物、子どもや保護者の習い事、リフレッシュ等／年間日数 | N=43

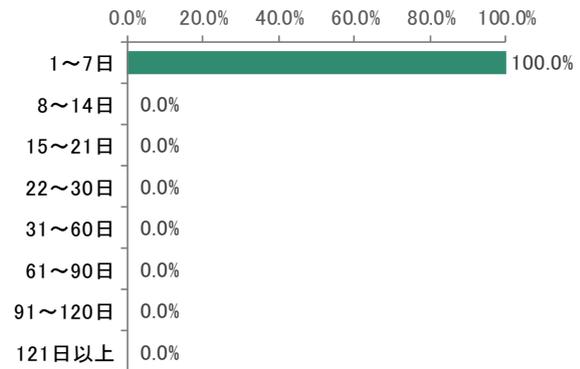
	件数	%
1～7日	15	34.9%
8～14日	14	32.6%
15～21日	6	14.0%
22～30日	0	0.0%
31～60日	3	7.0%
61～90日	0	0.0%
91～120日	2	4.7%
121日以上	0	0.0%
無回答	3	7.0%
合計	43	100.0%



(4) その他／年間日数

図表 II-8-12 その他／年間日数 | N = 1

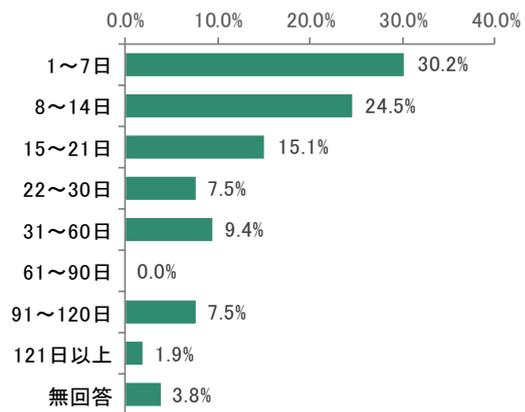
	件数	%
1～7日	1	100.0%
8～14日	0	0.0%
15～21日	0	0.0%
22～30日	0	0.0%
31～60日	0	0.0%
61～90日	0	0.0%
91～120日	0	0.0%
121日以上	0	0.0%
合計	1	100.0%



(5) 利用したい年間合計日数

図表 II-8-13 利用したい年間合計日数 | N = 53

	件数	%
1～7日	16	30.2%
8～14日	13	24.5%
15～21日	8	15.1%
22～30日	4	7.5%
31～60日	5	9.4%
61～90日	0	0.0%
91～120日	4	7.5%
121日以上	1	1.9%
無回答	2	3.8%
合計	53	100.0%

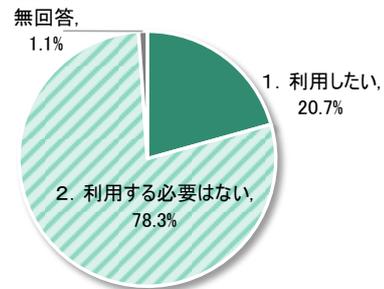


問 23 宿泊を伴う一時預かりの利用意向

冠婚葬祭、保護者・家族の育児疲れや育児不安、病気などを理由に、子どもの泊まりがけでの「預かり」を利用したいか聞いてみると、「1. 利用したい」が20.7%、「2. 利用する必要はない」が78.3%であった。

図表 II-8-14 宿泊を伴う一時預かりの利用意向 | N=92

	件数	%
1. 利用したい	19	20.7%
2. 利用する必要はない	72	78.3%
無回答	1	1.1%
合計	92	100.0%

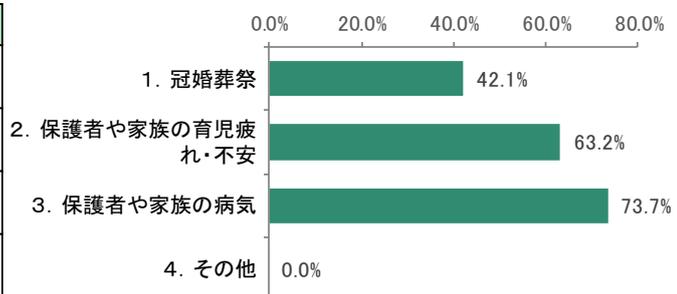


泊りがけでの預かりを「利用したい」と回答した方に、利用したい目的を聞いてみると、「3. 保護者や家族の病気」が73.7%と最も多く、次いで「2. 保護者や家族の育児疲れ・不安」が63.2%、「1. 冠婚葬祭」が42.1%であった。

図表 II-8-15 宿泊を伴う一時預かりの利用目的 | N=19

(複数回答)

	件数	%
1. 冠婚葬祭	8	42.1%
2. 保護者や家族の育児疲れ・不安	12	63.2%
3. 保護者や家族の病気	14	73.7%
4. その他	0	0.0%
全体	19	-

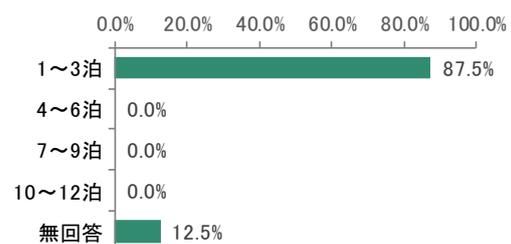


泊りがけでの預かりを「利用したい」と回答した方に、必要な泊数を聞いたところ、以下(1)～(4)のとおりである。

(1) 冠婚葬祭／泊数

図表 II-8-16 冠婚葬祭／泊数 | N=8

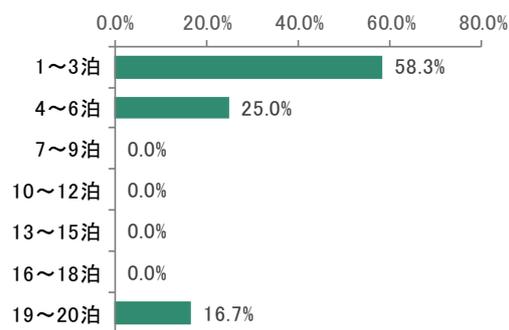
	件数	%
1～3泊	7	87.5%
4～6泊	0	0.0%
7～9泊	0	0.0%
10～12泊	0	0.0%
無回答	1	12.5%
合計	8	100.0%



(2) 保護者や家族の育児疲れ・不安／泊数

図表 II-8-17 保護者や家族の育児疲れ・不安／泊数 | N = 12

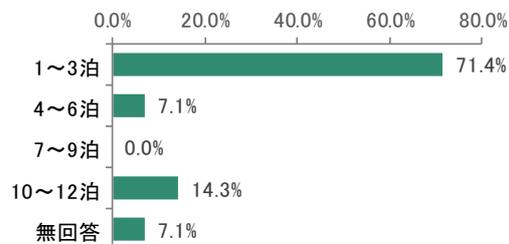
	件数	%
1～3泊	7	58.3%
4～6泊	3	25.0%
7～9泊	0	0.0%
10～12泊	0	0.0%
13～15泊	0	0.0%
16～18泊	0	0.0%
19～20泊	2	16.7%
合計	12	100.0%



(3) 保護者や家族の病気／泊数

図表 II-8-18 保護者や家族の病気／泊数 | N = 14

	件数	%
1～3泊	10	71.4%
4～6泊	1	7.1%
7～9泊	0	0.0%
10～12泊	2	14.3%
無回答	1	7.1%
合計	14	100.0%



(4) その他／泊数

「その他」の回答はなかった。

9. 小学校入学後の放課後の過ごし方について

以下問 24～問 25 は、2024（令和 6）年 4 月から小学校に入学する子どもがいると回答した 20 名を対象として集計した。

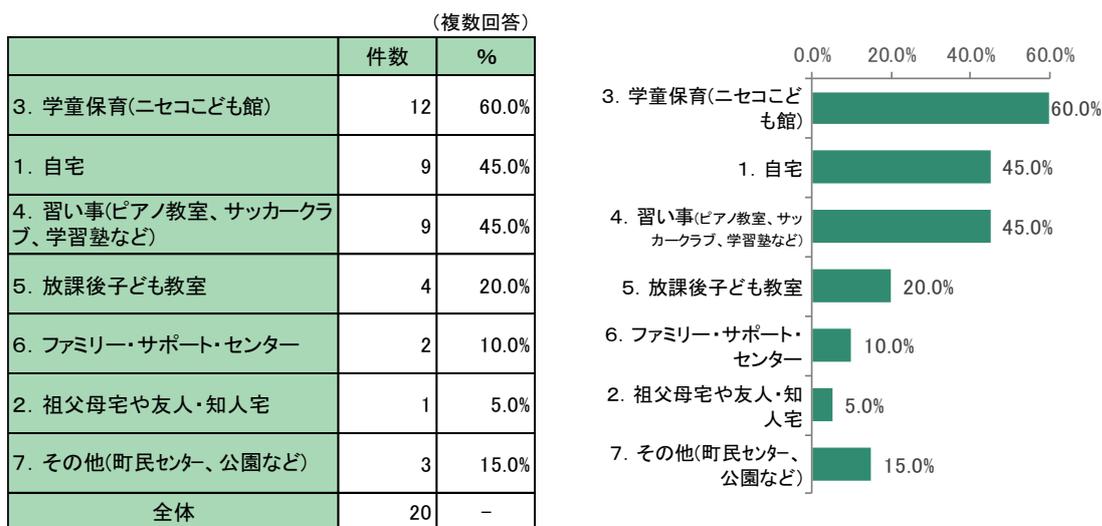
問 24 小学校入学後の放課後の過ごし方

子どもが小学校に入学後、放課後どのような場所で過ごさせたいか、また、希望する利用日数を（1）低学年（1～3 年生）、（2）高学年（4～6 年生）のそれぞれの期間について聞いたところ、以下のとおりである。

（1）低学年／放課後の居場所

低学年時に平日の放課後に過ごさせたい場所は、「3. 学童保育（ニセコ子ども館）」が 60.0%と最も多く、次いで「1. 自宅」と「4. 習い事」がともに 45.0%、「5. 放課後子ども教室」が 20.0%であった。

図表 II-9-1 低学年／平日の放課後に過ごさせたい場所 | N = 20

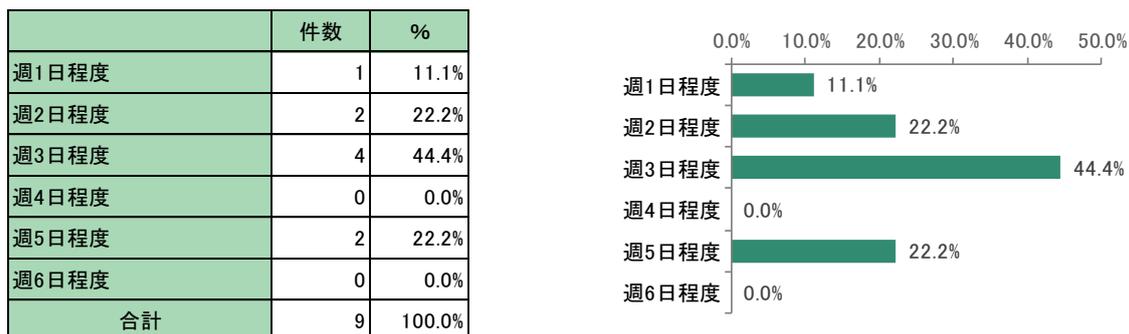


■希望する利用日数

低学年時に過ごさせたい居場所ごとの希望する利用日数は、以下①～⑦のとおりである。

①自宅／1 週あたりの日数

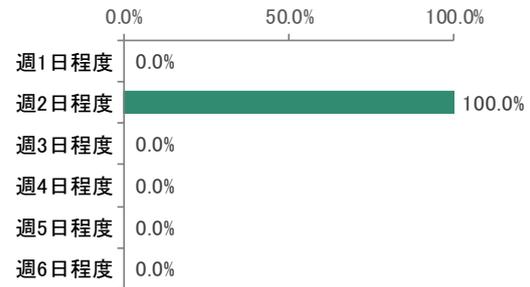
図表 II-9-2 低学年／自宅（1 週あたりの日数） | N = 9



②祖父母宅や友人・知人宅／1週あたりの日数

図表 II-9-3 低学年／祖父母宅や友人・知人宅（1週あたりの日数） | N=1

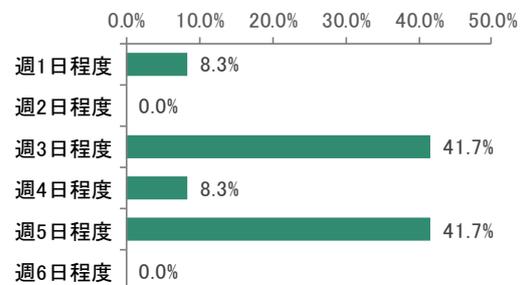
	件数	%
週1日程度	0	0.0%
週2日程度	1	100.0%
週3日程度	0	0.0%
週4日程度	0	0.0%
週5日程度	0	0.0%
週6日程度	0	0.0%
合計	1	100.0%



③学童保育／1週あたりの日数

図表 II-9-4 低学年／学童保育（1週あたりの日数） | N=12

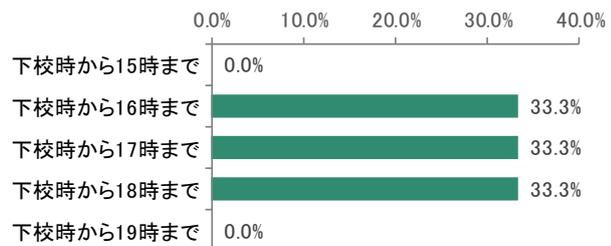
	件数	%
週1日程度	1	8.3%
週2日程度	0	0.0%
週3日程度	5	41.7%
週4日程度	1	8.3%
週5日程度	5	41.7%
週6日程度	0	0.0%
合計	12	100.0%



学童保育／下校時からの利用時間

図表 II-9-5 低学年／学童保育（下校時からの利用時間） | N=12

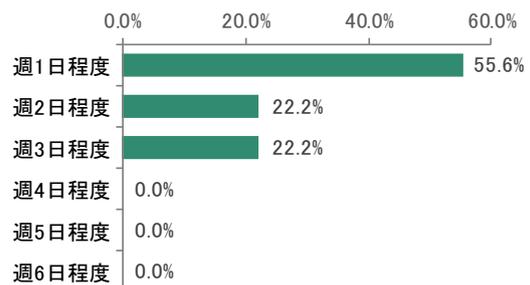
	件数	%
下校時から15時まで	0	0.0%
下校時から16時まで	4	33.3%
下校時から17時まで	4	33.3%
下校時から18時まで	4	33.3%
下校時から19時まで	0	0.0%
合計	12	100.0%



④習い事／1週あたりの日数

図表 II-9-6 低学年／習い事（1週あたりの日数） | N=9

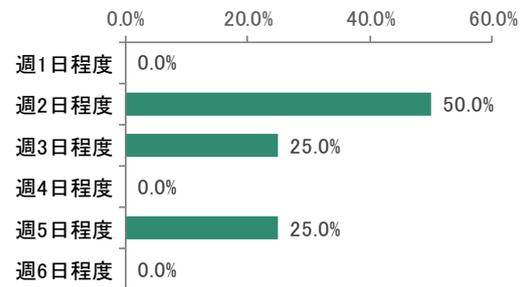
	件数	%
週1日程度	5	55.6%
週2日程度	2	22.2%
週3日程度	2	22.2%
週4日程度	0	0.0%
週5日程度	0	0.0%
週6日程度	0	0.0%
合計	9	100.0%



⑤放課後子ども教室／1週あたりの日数

図表 II-9-7 低学年／放課後子ども教室（1週あたりの日数） | N=4

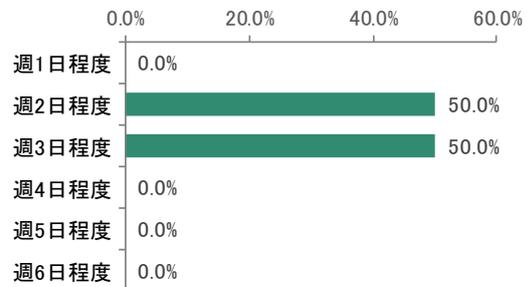
	件数	%
週1日程度	0	0.0%
週2日程度	2	50.0%
週3日程度	1	25.0%
週4日程度	0	0.0%
週5日程度	1	25.0%
週6日程度	0	0.0%
合計	4	100.0%



⑥ファミリー・サポート・センター／1週あたりの日数

図表 II-9-8 低学年／ファミリー・サポート・センター（1週あたりの日数） | N=2

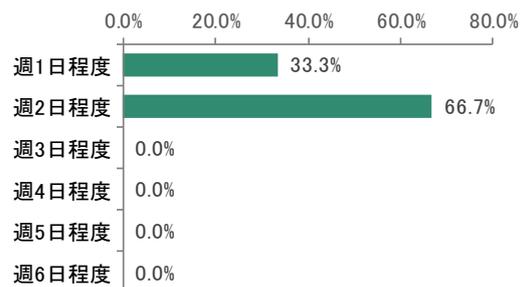
	件数	%
週1日程度	0	0.0%
週2日程度	1	50.0%
週3日程度	1	50.0%
週4日程度	0	0.0%
週5日程度	0	0.0%
週6日程度	0	0.0%
合計	2	100.0%



⑦その他／1週あたりの日数

図表 II-9-9 低学年／その他（1週あたりの日数） | N=3

	件数	%
週1日程度	1	33.3%
週2日程度	2	66.7%
週3日程度	0	0.0%
週4日程度	0	0.0%
週5日程度	0	0.0%
週6日程度	0	0.0%
合計	3	100.0%



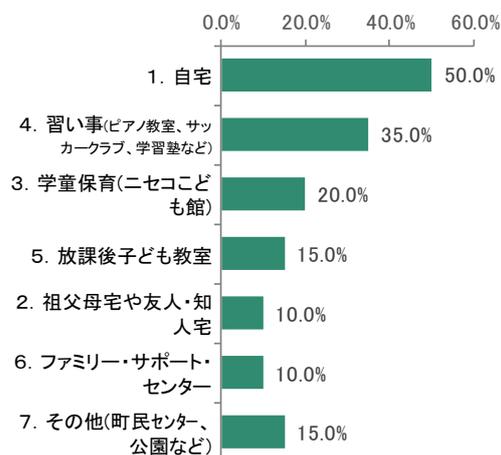
(2) 高学年／放課後の居場所

高学年時に平日の放課後に過ごさせたい場所は、「1. 自宅」が50.0%と最も多く、次いで「4. 習い事」が35.0%、「3. 学童保育（ニセコこども館）」が20.0%であった。

図表 II-9-10 高学年／平日の放課後に過ごさせたい場所 | N=20

(複数回答)

	件数	%
1. 自宅	10	50.0%
4. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	7	35.0%
3. 学童保育(ニセコこども館)	4	20.0%
5. 放課後子ども教室	3	15.0%
2. 祖父母宅や友人・知人宅	2	10.0%
6. ファミリー・サポート・センター	2	10.0%
7. その他(町民センター、公園など)	3	15.0%
全体	20	-



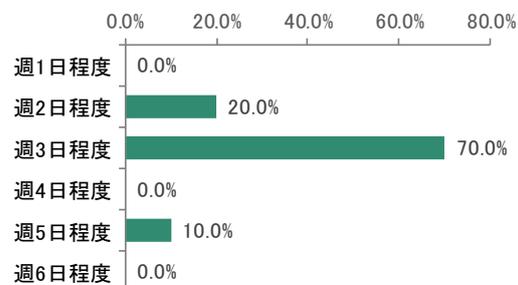
■利用希望日数

高学年時に過ごさせたい居場所ごとの希望する利用日数は、以下①～⑦のとおりである。

①自宅／1週あたりの日数

図表 II-9-11 高学年／自宅（1週あたりの日数） | N=10

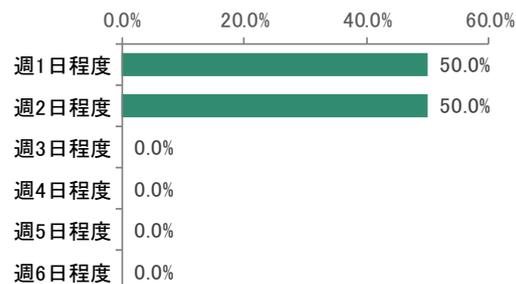
	件数	%
週1日程度	0	0.0%
週2日程度	2	20.0%
週3日程度	7	70.0%
週4日程度	0	0.0%
週5日程度	1	10.0%
週6日程度	0	0.0%
合計	10	100.0%



②祖父母宅や友人・知人宅／1週あたりの日数

図表 II-9-12 高学年／祖父母宅や友人・知人宅（1週あたりの日数） | N=2

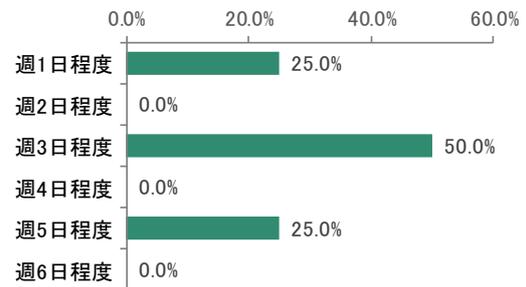
	件数	%
週1日程度	1	50.0%
週2日程度	1	50.0%
週3日程度	0	0.0%
週4日程度	0	0.0%
週5日程度	0	0.0%
週6日程度	0	0.0%
合計	2	100.0%



③学童保育／1週あたりの日数

図表 II-9-13 高学年／学童保育（1週あたりの日数） | N = 4

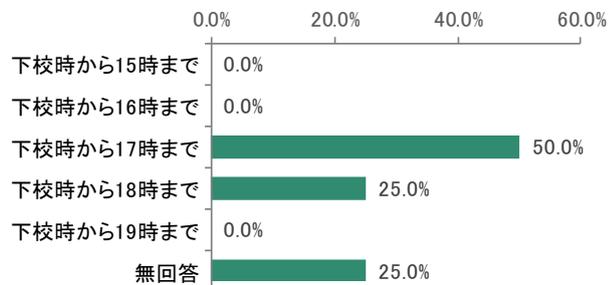
	件数	%
週1日程度	1	25.0%
週2日程度	0	0.0%
週3日程度	2	50.0%
週4日程度	0	0.0%
週5日程度	1	25.0%
週6日程度	0	0.0%
合計	4	100.0%



学童保育／下校時からの利用時間

図表 II-9-14 高学年／学童保育（下校時からの利用時間） | N = 4

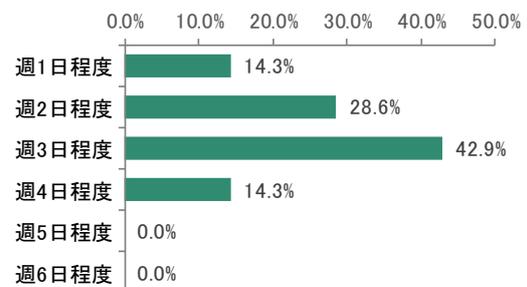
	件数	%
下校時から15時まで	0	0.0%
下校時から16時まで	0	0.0%
下校時から17時まで	2	50.0%
下校時から18時まで	1	25.0%
下校時から19時まで	0	0.0%
無回答	1	25.0%
合計	4	100.0%



④習い事／1週あたりの日数

図表 II-9-15 高学年／習い事（1週あたりの日数） | N = 7

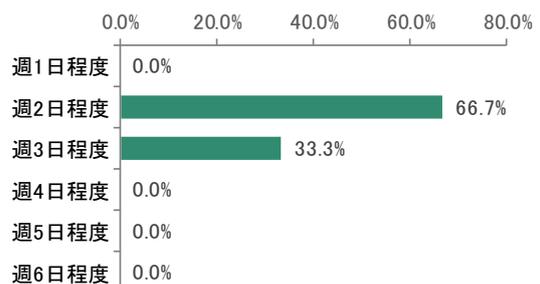
	件数	%
週1日程度	1	14.3%
週2日程度	2	28.6%
週3日程度	3	42.9%
週4日程度	1	14.3%
週5日程度	0	0.0%
週6日程度	0	0.0%
合計	7	100.0%



⑤放課後子ども教室／1週あたりの日数

図表 II-9-16 高学年／放課後子ども教室（1週あたりの日数） | N = 3

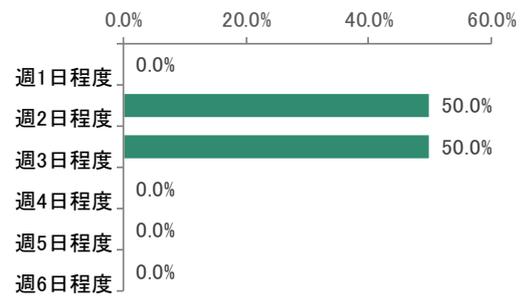
	件数	%
週1日程度	0	0.0%
週2日程度	2	66.7%
週3日程度	1	33.3%
週4日程度	0	0.0%
週5日程度	0	0.0%
週6日程度	0	0.0%
合計	3	100.0%



⑥ファミリー・サポート・センター／1週あたりの日数

図表Ⅱ-9-17 高学年／ファミリー・サポート・センター：1週あたりの日数 | N=2

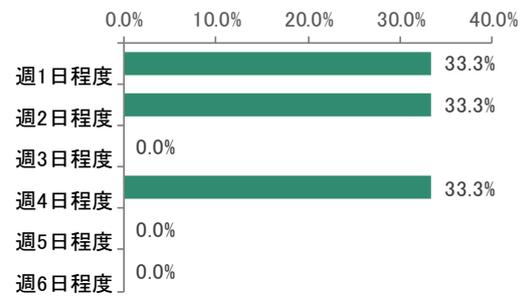
	件数	%
週1日程度	0	0.0%
週2日程度	1	50.0%
週3日程度	1	50.0%
週4日程度	0	0.0%
週5日程度	0	0.0%
週6日程度	0	0.0%
合計	2	100.0%



⑦その他／1週あたりの日数

図表Ⅱ-9-18 高学年／その他：1週あたりの日数 | N=3

	件数	%
週1日程度	1	33.3%
週2日程度	1	33.3%
週3日程度	0	0.0%
週4日程度	1	33.3%
週5日程度	0	0.0%
週6日程度	0	0.0%
合計	3	100.0%



問 24-1 土曜日、日曜日・祝日の学童保育（ニセコ子ども館）の利用希望

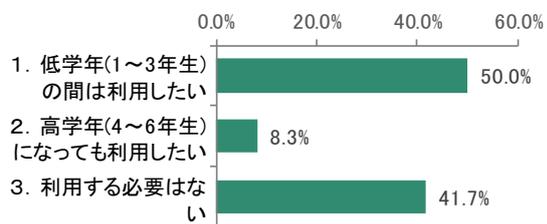
小学校に入学後、放課後で過ごさせたい居場所（問 24）で「学童保育（ニセコ子ども館）」と回答した方に、（1）土曜日、（2）日曜日・祝日に学童保育（ニセコ子ども館）を利用したいか聞いたところ、それぞれ以下のとおりとなった。

（1）土曜日

土曜日の学童保育（ニセコ子ども館）の利用希望は、「1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい」が50.0%と最も多く、次いで「3. 利用する必要はない」が41.7%、「2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい」が8.3%であった。

図表 II-9-19 土曜日／学童保育（ニセコ子ども館）の利用希望 | N=12

	件数	%
1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	6	50.0%
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい	1	8.3%
3. 利用する必要はない	5	41.7%
合計	12	100.0%



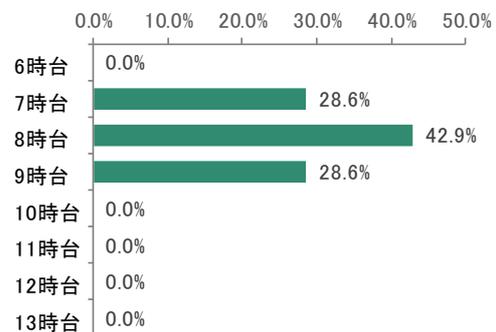
土曜日の学童保育（ニセコ子ども館）を「低学年（1～3年生）の間は利用したい」「高学年（4～6年生）になっても利用したい」と回答した方に、利用したい開始時間、終了時間を聞いたところ、以下のとおりである。

■利用開始時間

土曜日の学童保育（ニセコ子ども館）で利用したい開始時間は、「8時台」が42.9%と最も多く、次いで「7時台」と「9時台」がともに28.6%であった。

図表 II-9-20 土曜日／学童保育（ニセコ子ども館）の利用開始時間 | N=7

	件数	%
6時台	0	0.0%
7時台	2	28.6%
8時台	3	42.9%
9時台	2	28.6%
10時台	0	0.0%
11時台	0	0.0%
12時台	0	0.0%
13時台	0	0.0%
合計	7	100.0%

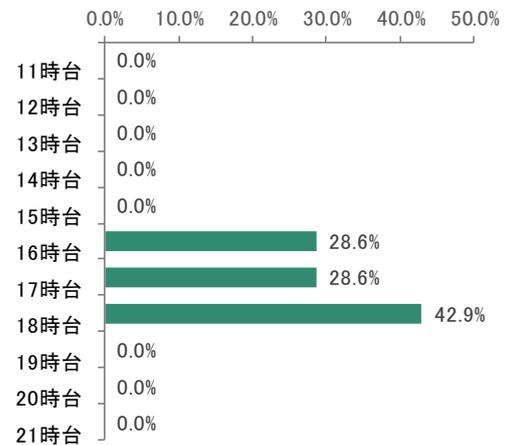


■利用終了時間

土曜日の学童保育（ニセコこども館）で利用したい終了時間は、「18 時台」が 42.9%と最も多く、次いで「16 時台」と「17 時台」がともに 28.6%であった。

図表 II-9-21 土曜日／学童保育（ニセコこども館）の利用終了時間 | N = 7

	件数	%
11時台	0	0.0%
12時台	0	0.0%
13時台	0	0.0%
14時台	0	0.0%
15時台	0	0.0%
16時台	2	28.6%
17時台	2	28.6%
18時台	3	42.9%
19時台	0	0.0%
20時台	0	0.0%
21時台	0	0.0%
合計	7	100.0%

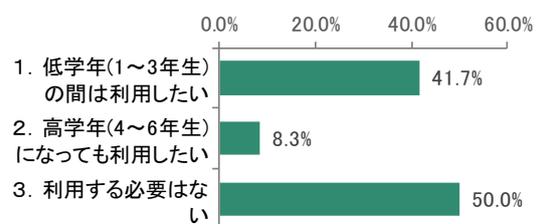


(2) 日曜日・祝日

日曜日・祝日の学童保育（ニセコこども館）の利用希望は、「3. 利用する必要はない」が 50.0%と最も多く、次いで「1. 低学年（1～3 年生）の間は利用したい」が 41.7%、「2. 高学年（4～6 年生）になっても利用したい」が 8.3%であった。

図表 II-9-22 日曜日・祝日／学童保育（ニセコこども館）の利用希望 | N = 12

	件数	%
1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	5	41.7%
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい	1	8.3%
3. 利用する必要はない	6	50.0%
合計	12	100.0%



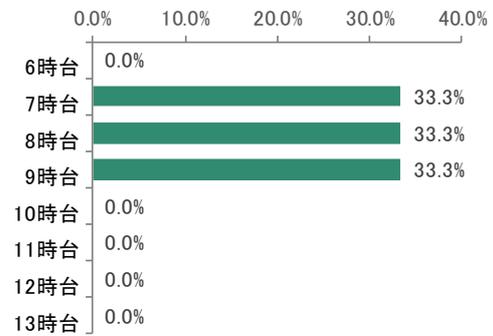
日曜日・祝日の学童保育（ニセコこども館）を「低学年（1～3 年生）の間は利用したい」「高学年（4～6 年生）になっても利用したい」と回答した方に、利用したい開始時間、終了時間を聞いたところ、以下のとおりである。

■利用開始時間

日曜日・祝日の学童保育（ニセコこども館）で利用したい開始時間は、「7時台」「8時台」「9時台」がともに33.3%であった。

図表 II-9-23 日曜日・祝日／学童保育（ニセコこども館）の利用開始時間 | N=6

	件数	%
6時台	0	0.0%
7時台	2	33.3%
8時台	2	33.3%
9時台	2	33.3%
10時台	0	0.0%
11時台	0	0.0%
12時台	0	0.0%
13時台	0	0.0%
合計	6	100.0%

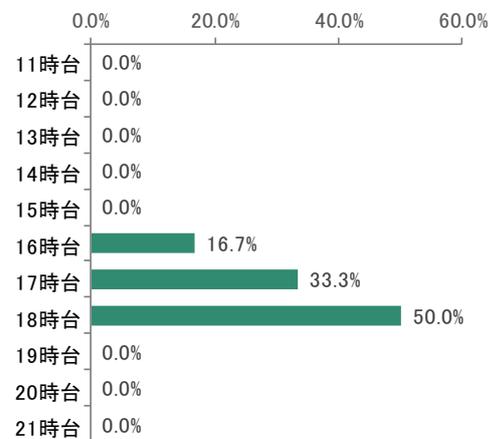


■利用終了時間

日曜日・祝日の学童保育（ニセコこども館）で利用したい終了時間は、「18時台」が50.0%と最も多く、次いで「17時台」が33.3%、「16時台」が16.7%であった。

図表 II-9-24 日曜日・祝日／学童保育（ニセコこども館）の利用終了時間 | N=6

	件数	%
11時台	0	0.0%
12時台	0	0.0%
13時台	0	0.0%
14時台	0	0.0%
15時台	0	0.0%
16時台	1	16.7%
17時台	2	33.3%
18時台	3	50.0%
19時台	0	0.0%
20時台	0	0.0%
21時台	0	0.0%
合計	6	100.0%

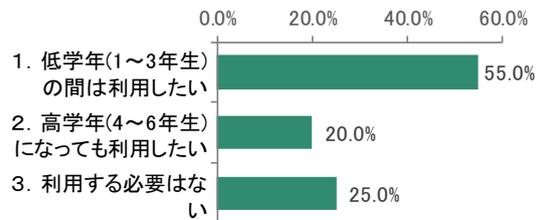


問 25 長期休暇中の学童保育（ニセコ子ども館）の利用希望

長期休暇中における学童保育（ニセコ子ども館）の利用希望について聞いたところ、「1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい」が55.0%と最も多く、次いで「3. 利用する必要はない」が25.0%、「2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい」が20.0%であった。

図表 II-9-25 長期休暇中／学童保育（ニセコ子ども館）の利用希望 | N=20

	件数	%
1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	11	55.0%
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい	4	20.0%
3. 利用する必要はない	5	25.0%
合計	20	100.0%



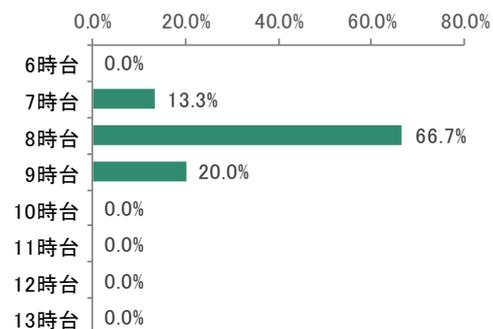
→ 長期休暇中の学童保育（ニセコ子ども館）を「低学年（1～3年生）の間は利用したい」「高学年（4～6年生）になっても利用したい」と回答した方に、利用したい開始時間、終了時間を聞いたところ、以下のとおりである。

■利用開始時間

長期休暇中の学童保育（ニセコ子ども館）で利用したい開始時間は、「8時台」が66.7%と最も多く、次いで「9時台」が20.0%、「7時台」が13.3%であった。

図表 II-9-26 長期休暇中／学童保育（ニセコ子ども館）の利用開始時間 | N=15

	件数	%
6時台	0	0.0%
7時台	2	13.3%
8時台	10	66.7%
9時台	3	20.0%
10時台	0	0.0%
11時台	0	0.0%
12時台	0	0.0%
13時台	0	0.0%
合計	15	100.0%

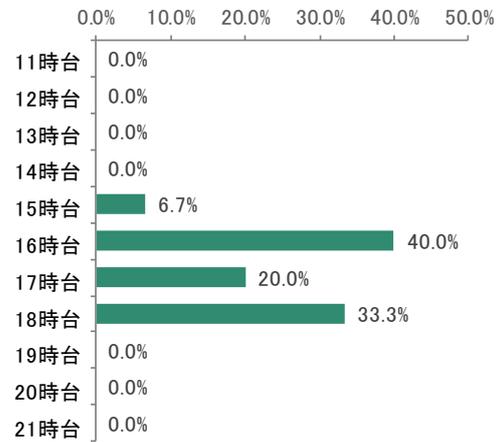


■利用終了時間

長期休暇中の学童保育（ニセコ子ども館）で利用したい終了時間は、「16 時台」が 40.0%と最も多く、次いで「18 時台」が 33.3%、「17 時台」が 20.0%であった。

図表 II-9-27 長期休暇中／学童保育（ニセコ子ども館）の利用終了時間 | N = 15

	件数	%
11時台	0	0.0%
12時台	0	0.0%
13時台	0	0.0%
14時台	0	0.0%
15時台	1	6.7%
16時台	6	40.0%
17時台	3	20.0%
18時台	5	33.3%
19時台	0	0.0%
20時台	0	0.0%
21時台	0	0.0%
合計	15	100.0%

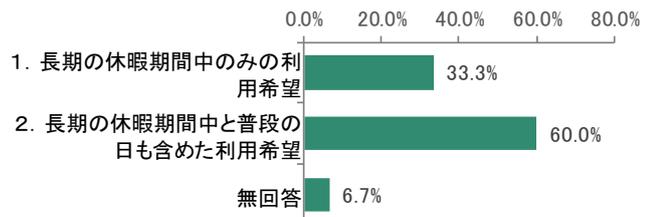


問 25-1 長期休暇中及び通常期間の学童保育（ニセコ子ども館）の利用希望

長期休暇中における学童保育（ニセコ子ども館）の利用希望（問 25）で「利用したい」（1 または 2）と回答した方に、学童保育（ニセコ子ども館）は長期休暇中のみの利用希望なのか聞いたところ、「1. 長期の休暇期間中のみの利用希望」が 33.3%、「2. 長期の休暇期間中と普段の日も含めた利用希望」が 60.0%であった。

図表 II-9-28 長期休暇中及び通常期間における学童保育（ニセコ子ども館）の利用希望 | N = 15

	件数	%
1. 長期の休暇期間中のみの利用希望	5	33.3%
2. 長期の休暇期間中と普段の日も含めた利用希望	9	60.0%
無回答	1	6.7%
合計	15	100.0%



10. 育児休業や職場の両立支援制度について

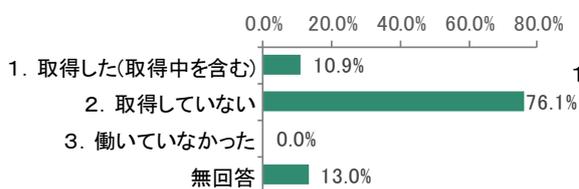
問 26 子どもが生まれた時の育児休業の取得状況

子どもが生まれた時、育児休業を取得したか聞いたところ、父親は「1. 取得した（取得中を含む）」が10.9%、「2. 取得していない」が76.1%であった。

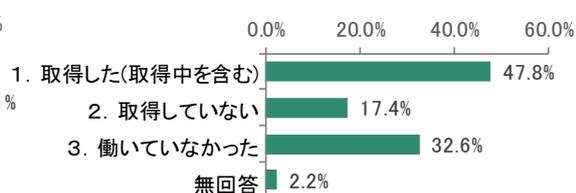
母親は「1. 取得した（取得中を含む）」が47.8%、「2. 取得していない」が17.4%、「3. 働いていなかった」が32.6%であった。

図表 II -10-1 育児休業の取得状況 | N=92

【父親】



【母親】



	件数	%
1. 取得した(取得中を含む)	10	10.9%
2. 取得していない	70	76.1%
3. 働いていなかった	0	0.0%
無回答	12	13.0%
合計	92	100.0%

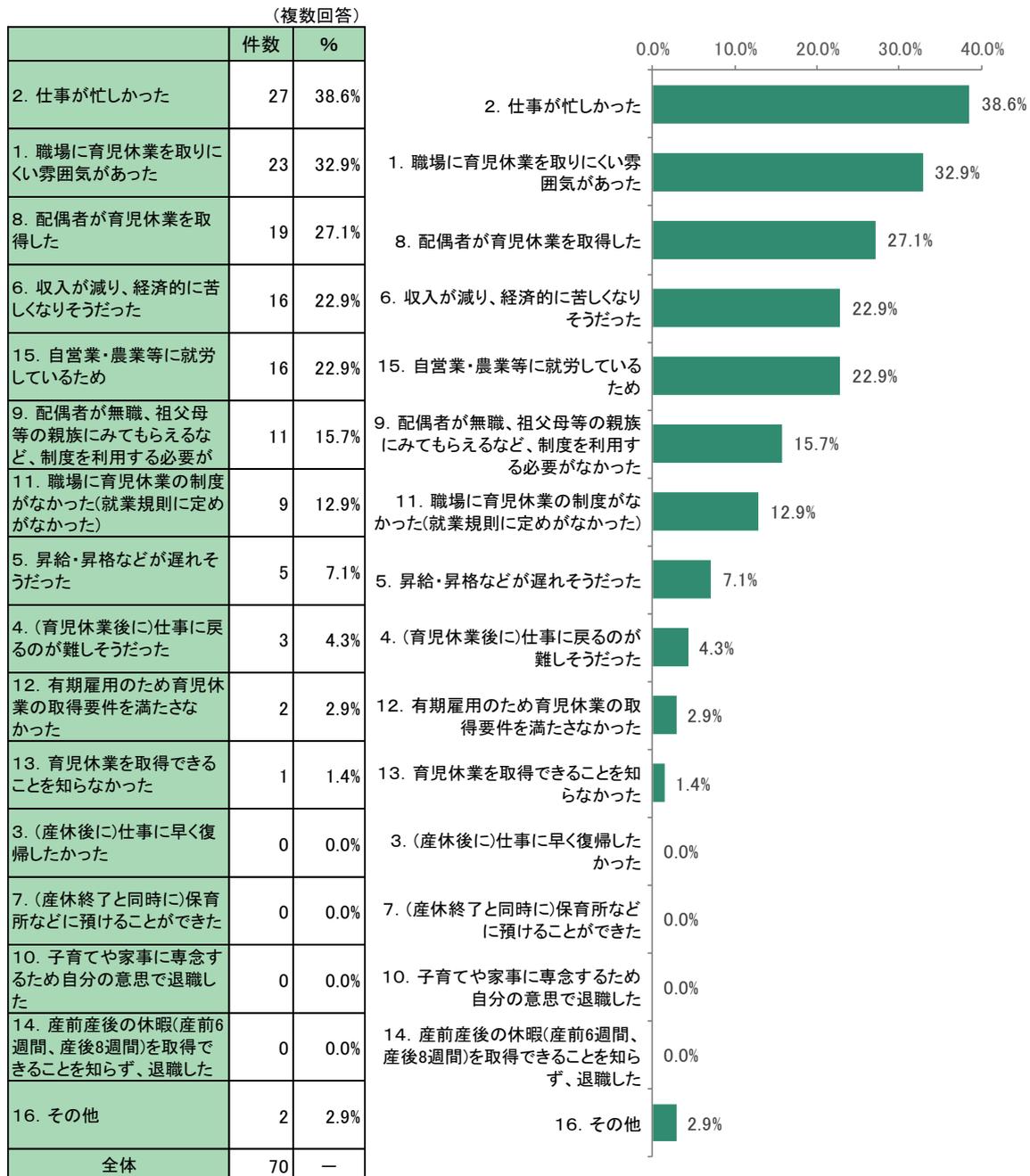
	件数	%
1. 取得した(取得中を含む)	44	47.8%
2. 取得していない	16	17.4%
3. 働いていなかった	30	32.6%
無回答	2	2.2%
合計	92	100.0%

問 26-1 育児休業を取得していない理由

(1) 父親／育児休業を取得していない理由

育児休業の取得状況（問 26）で「取得していない」と回答した方に、父親が育児休業を取得していない理由を聞いたところ、「2. 仕事が忙しかった」が 38.6%と最も多く、次いで「1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 32.9%、「8. 配偶者が育児休業を取得した」が 27.1%であった。

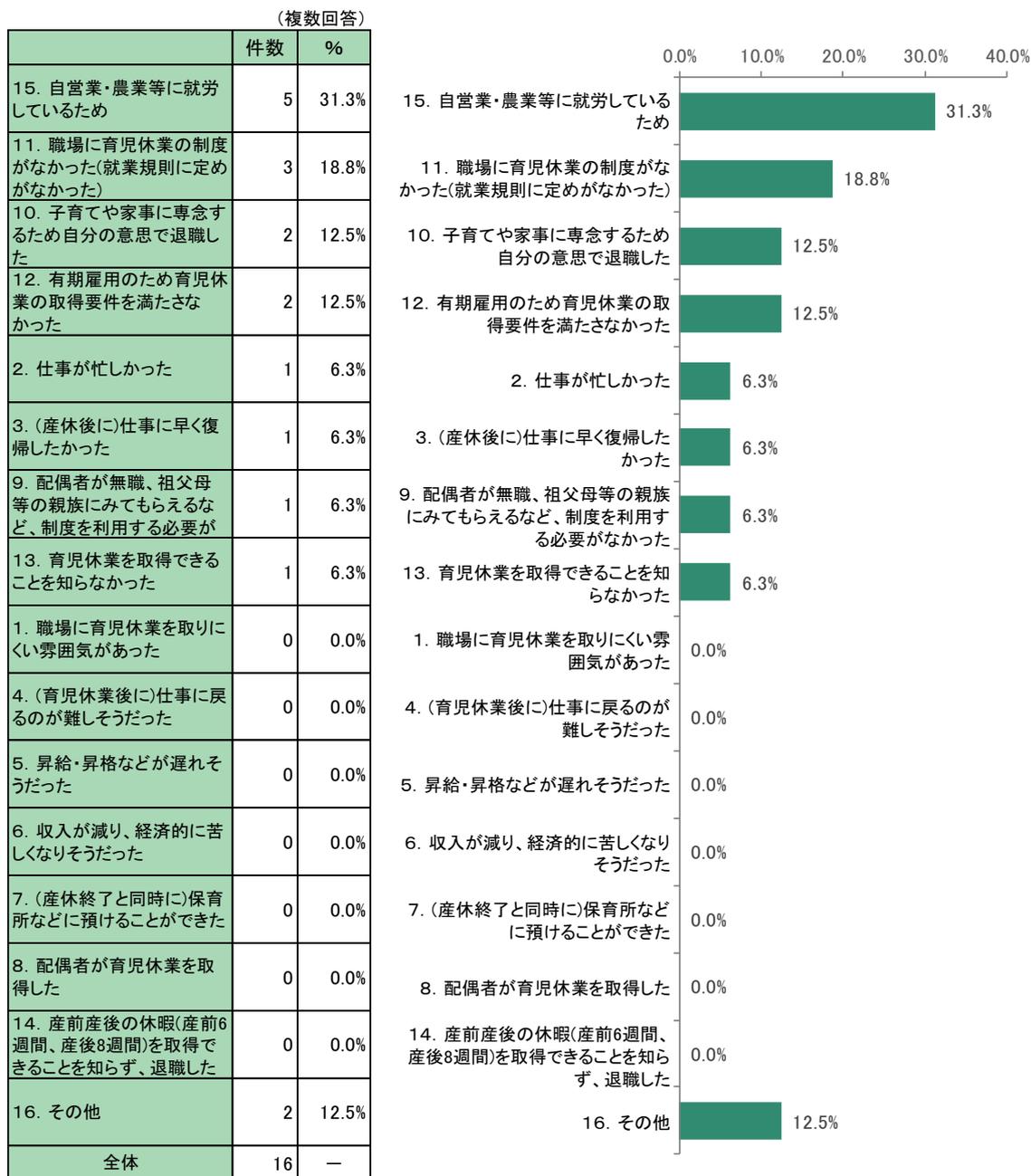
図表 II-10-2 父親／育児休業を取得していない理由（複数回答） | N=70



(2) 母親／育児休業を取得していない理由

育児休業の取得状況（問 26）で「取得していない」と回答した方に、母親が育児休業を取得していない理由を聞いたところ「15. 自営業・農業等に就労しているため」が 31.3%と最も多く、次いで「11. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が 18.8%、「10. 子育てや家事に専念するため自分の意思で退職した」と「12. 有期雇用のため育児休業の取得条件を満たさなかった」がともに 12.5%であった。

図表 II-10-3 母親／育児休業を取得していない理由（複数回答） | N=16



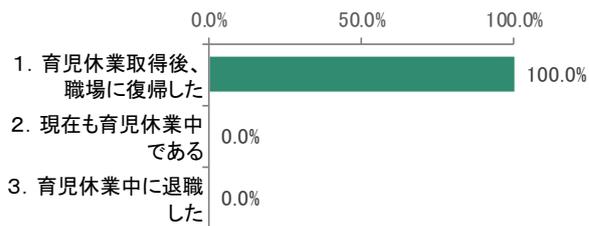
問 26-2 育児休業取得後の職場復帰

育児休業の取得状況（問 26）で「取得した（取得中を含む）」と回答した方に、育児休業を取得した後、職場に復帰したか聞いたところ、父親は「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した割合は 100.0%であった。

母親は「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」が 79.5%、「2. 現在も育児休業中である」が 13.6%、「3. 育児休業中に退職した」が 6.8%であった。

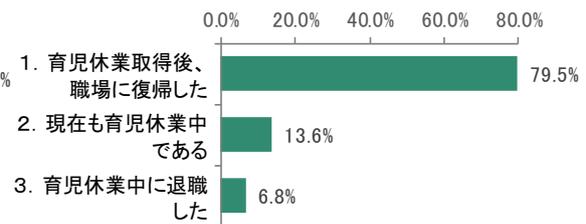
図表 II -10-4 育児休業取得後の職場復帰 | 父親/N=10 母親/N=44

【父親】



	件数	%
1. 育児休業取得後、職場に復帰した	10	100.0%
2. 現在も育児休業中である	0	0.0%
3. 育児休業中に退職した	0	0.0%
合計	10	100.0%

【母親】



	件数	%
1. 育児休業取得後、職場に復帰した	35	79.5%
2. 現在も育児休業中である	6	13.6%
3. 育児休業中に退職した	3	6.8%
合計	44	100.0%

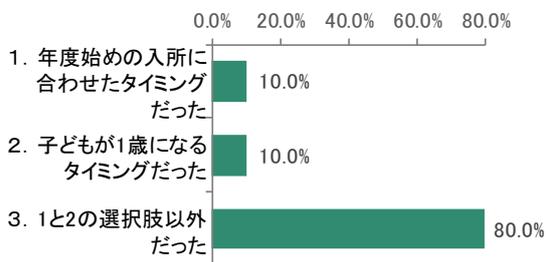
問 26-3 育児休業後の職場復帰のタイミング

育児休業取得後の状況（問 26-2）で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方に、育児休業後、職場に復帰したタイミングを聞いたところ、父親は「3. 1と2の選択肢以外だった」が 80.0%と最も多く、次いで「1. 年度始めの保育所入所に合わせたタイミングだった」と「2. 子どもが1歳になるタイミングだった」がともに 10.0%であった。

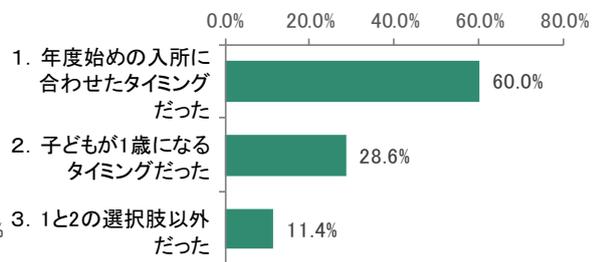
母親は「1. 年度始めの保育所入所に合わせたタイミングだった」が 60.0%と最も多く、次いで「2. 子どもが1歳になるタイミングだった」が 28.6%、「3. 1と2の選択肢以外だった」が 11.4%であった。

図表 II-10-5 育児休業後の職場復帰のタイミング | 父親/N=10 母親/N=35

【父親】



【母親】



	件数	%
1. 年度始めの入所に合わせたタイミングだった	1	10.0%
2. 子どもが1歳になるタイミングだった	1	10.0%
3. 1と2の選択肢以外だった	8	80.0%
合計	10	100.0%

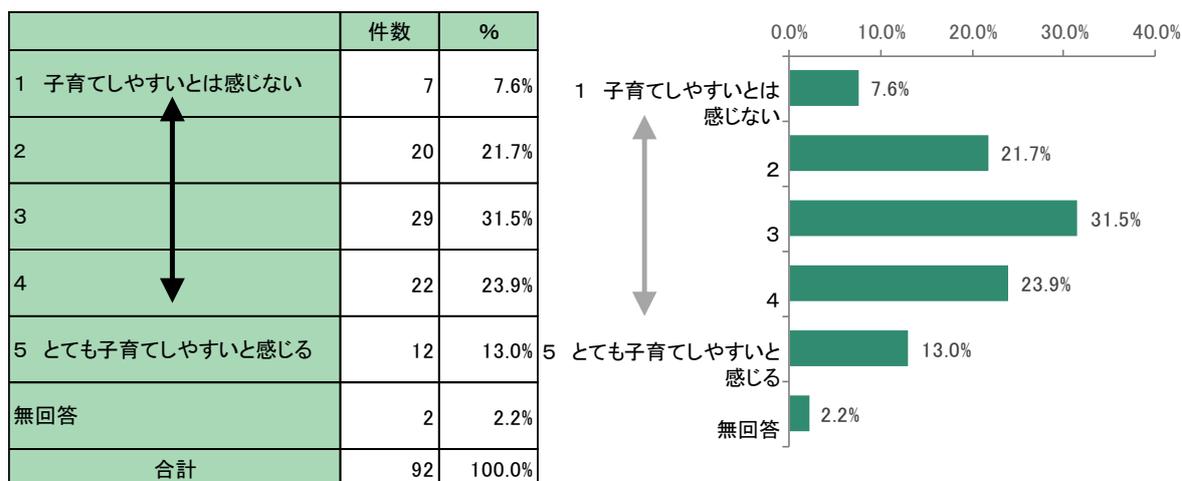
	件数	%
1. 年度始めの入所に合わせたタイミングだった	21	60.0%
2. 子どもが1歳になるタイミングだった	10	28.6%
3. 1と2の選択肢以外だった	4	11.4%
合計	35	100.0%

11. 子育てと子育て環境、子育て支援全般について

問 27 住んでいる地区の子育て環境について

住んでいる地区は子育てのしやすい環境か、5段階評価で聞いたところ、「3」（どちらともいえない）が31.5%と最も多く、次いで「4」（子育てしやすいと感じる）が23.9%であった。

図表Ⅱ-11-1 住んでいる地区の子育て環境について | N=92



住んでいる地区の子育て環境の満足度を地区別にみると、「ニセコ小学校区」は、「3」（どちらともいえない）が27.6%、「4」（子育てしやすいと感じる）が25.0%と、比較的子育て環境の満足度が高い。

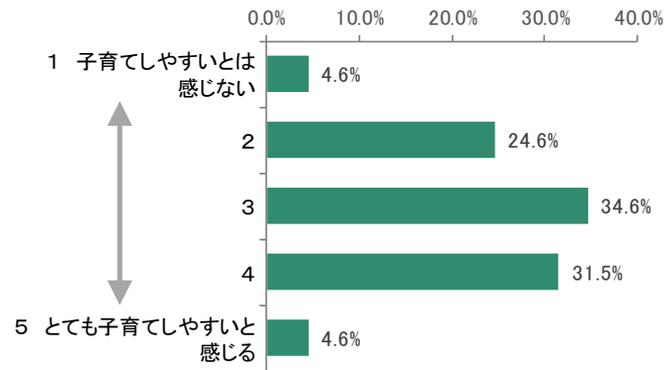
一方、「近藤小学校区」は、「3」（どちらともいえない）が50.0%と、「ニセコ小学校区」と比較すると、子育て環境の満足度が低くなっている。

図表Ⅱ-11-2 地区別・子どもとの外出の際の困りごと（複数回答） | N=92

地区別		問27								
		合計	子育てしやすいと感じない ←					→	とても子育てしやすいと感じる	無回答
			1	2	3	4	5			
地区	ニセコ小学校区	76	6 7.9%	17 22.4%	21 27.6%	19 25.0%	11 14.5%	2 2.6%		
	近藤小学校区	16	1 6.3%	3 18.8%	8 50.0%	3 18.8%	1 6.3%	0 0.0%		
合計		92	7 7.6%	20 21.7%	29 31.5%	22 23.9%	12 13.0%	2 2.2%		

【参考】2019（平成31）年 調査結果

問 37 住んでいる地区の子育て環境について | N=130



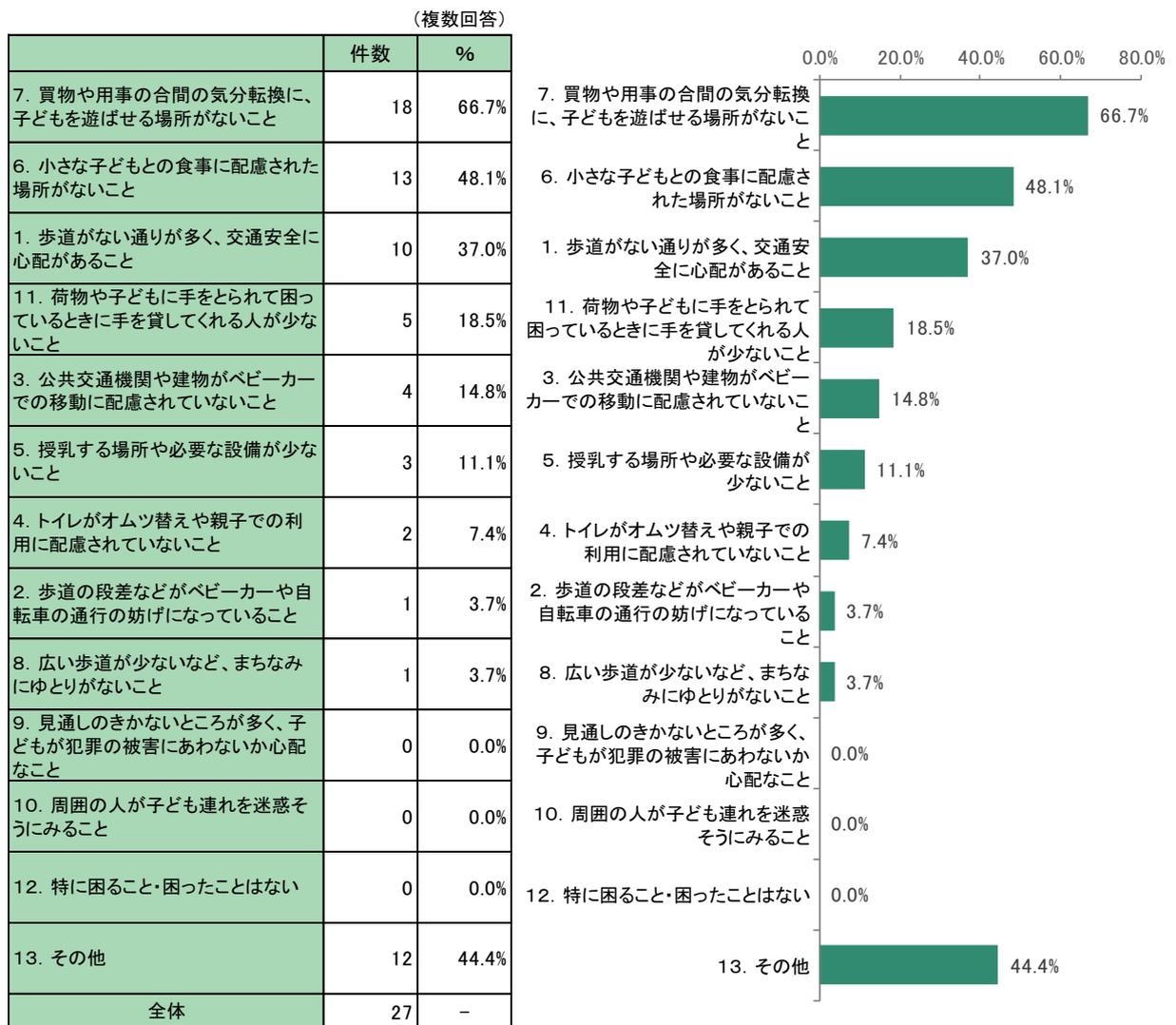
出典：ニセコ町「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」（平成31年3月）を基に作成

問 27-1 子どもとの外出の際の困りごと

住んでいる地区の子育て環境の満足度（問 27）で「子育てしやすいとは感じない」（1 または 2）と回答した方に、子どもとの外出の際に困ることや困ったことを聞いたところ、「7. 買物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと」が 66.7%と最も多く、次いで「6. 小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと」が 48.1%、「1. 歩道がない通りが多く、交通安全に心配があること」が 37.0%であった。

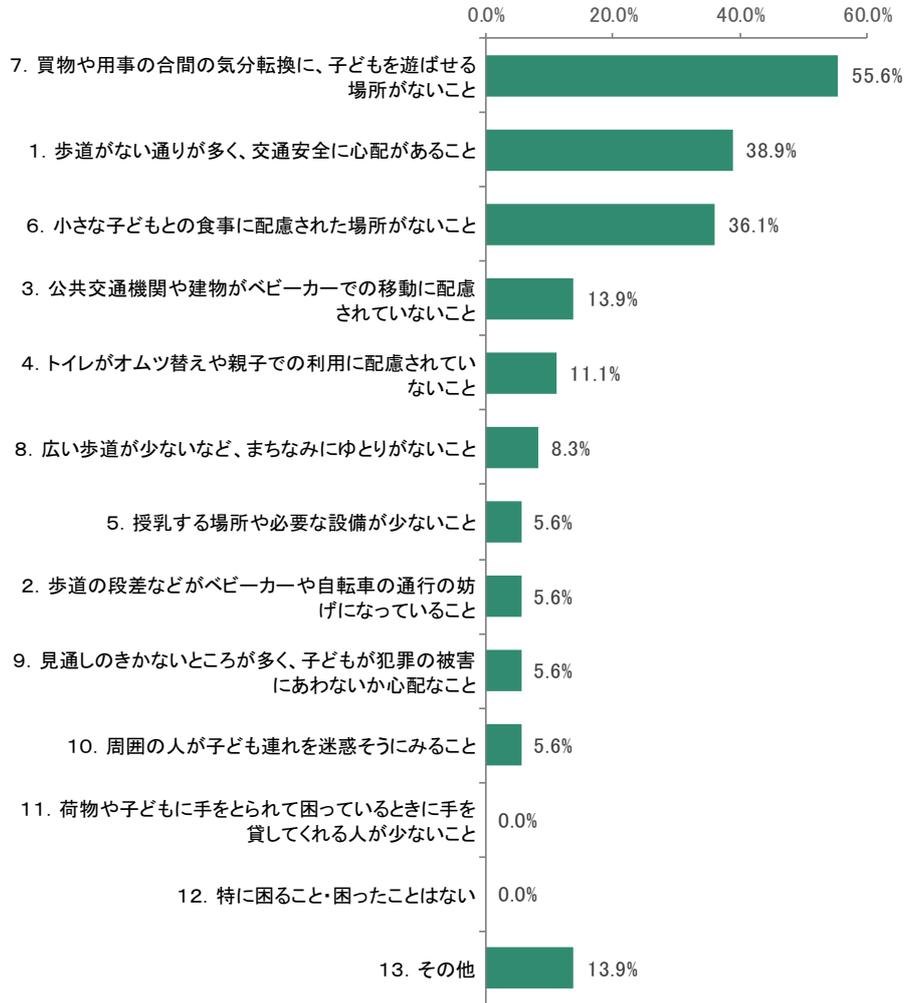
「その他」としては、「室内遊び場を充実してほしい」「病院が少ない・診療時間が短い」「交通量が多く危ない」等があげられていた。

図表 II -11-3 子どもとの外出の際の困りごと（複数回答） | N=27



【参考】2019（平成31）年 調査結果

問 37-1 子どもとの外出の際の困りごと（複数回答） | N=36



出典：ニセコ町「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」（平成31年3月）を基に作成

Ⅲ 小学生児童のいる世帯 集計結果

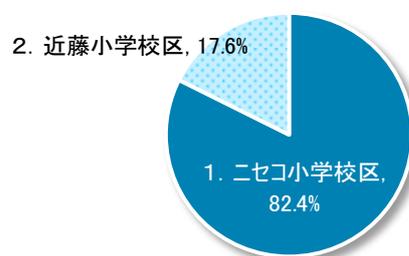
1. 住まいの地域について

問1 住まいの地区

回答者の住まいの地区は、「1. ニセコ小学校区」が82.4%、「2. 近藤小学校区」が17.6%であった。

図表Ⅲ-1-1 住まいの小中学校区 | N=91

	件数	%
1. ニセコ小学校区	75	82.4%
2. 近藤小学校区	16	17.6%
合計	91	100.0%



2. 子どもと家族の状況について

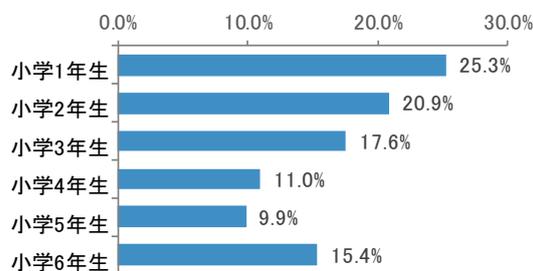
問2 小学生の子どもの学年

小学生の子どもの学年※は、「1年生」が25.3%と最も多く、次いで「2年生」が20.9%、「3年生」が17.6%であった。

※子どもが2人以上いる場合、一番若い子どもの学年を回答

図表Ⅲ-2-1 小学生の子どもの学年 | N=91

	件数	%
小学1年生	23	25.3%
小学2年生	19	20.9%
小学3年生	16	17.6%
小学4年生	10	11.0%
小学5年生	9	9.9%
小学6年生	14	15.4%
合計	91	100.0%

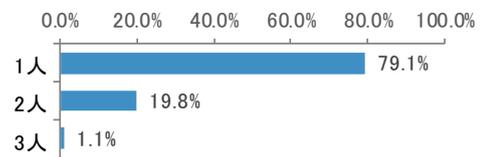


問3 小学生の子どもの人数

小学生の子どもの人数は、「1人」が79.1%と最も多く、次いで「2人」が19.8%、「3人」が1.1%であった。

図表III-2-2 小学生の子どもの人数 | N=91

	件数	%
1人	72	79.1%
2人	18	19.8%
3人	1	1.1%
合計	91	100.0%

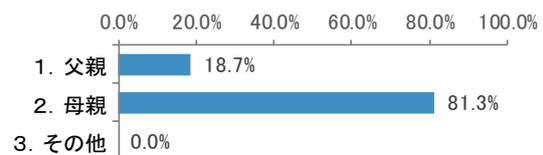


問4 回答者の続柄

回答者の続柄は、「1. 父親」が18.7%、「2. 母親」が81.3%であった。

図表III-2-3 回答者の続柄 | N=91

	件数	%
1. 父親	17	18.7%
2. 母親	74	81.3%
3. その他	0	0.0%
合計	91	100.0%

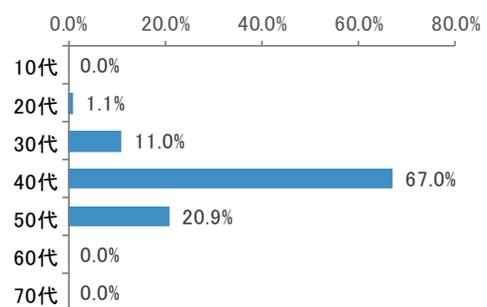


問5 回答者の年代

回答者の年代は、「40代」が67.0%と最も高く、次いで「50代」が20.9%、「30代」が11.0%であった。

図表III-2-4 回答者の年代 | N=91

	件数	%
10代	0	0.0%
20代	1	1.1%
30代	10	11.0%
40代	61	67.0%
50代	19	20.9%
60代	0	0.0%
70代	0	0.0%
合計	91	100.0%



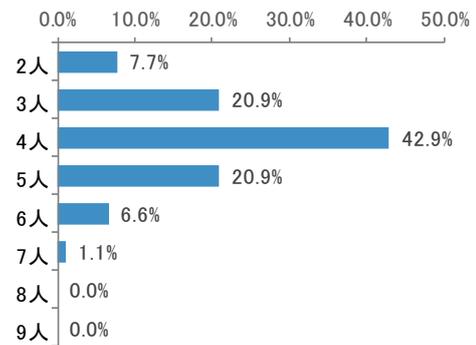
問6 同居家族の人数と子どものみの人数

同居している家族の人数は、「4人」が42.9%と最も多く、次いで「3人」と「5人」がともに20.9%、「2人」が7.7%であった。また、子どものみの人数※は「2人」が46.2%と最も多く、次いで「1人」が25.3%、「3人」が24.2%であった。

※妊娠中も含む

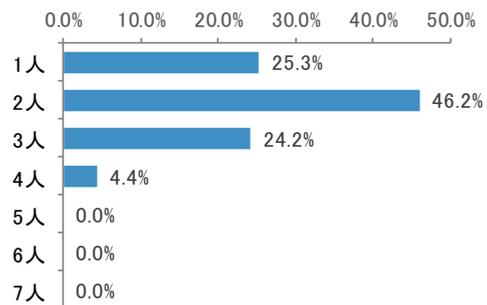
図表III-2-5 同居家族の人数 | N=91

	件数	%
2人	7	7.7%
3人	19	20.9%
4人	39	42.9%
5人	19	20.9%
6人	6	6.6%
7人	1	1.1%
8人	0	0.0%
9人	0	0.0%
合計	91	100.0%



図表III-2-6 子どものみの人数 | N=91

	件数	%
1人	23	25.3%
2人	42	46.2%
3人	22	24.2%
4人	4	4.4%
5人	0	0.0%
6人	0	0.0%
7人	0	0.0%
合計	91	100.0%

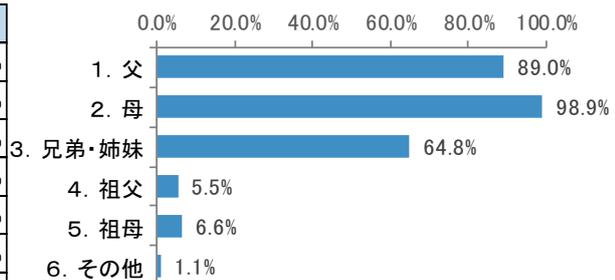


問7 同居家族の構成員

子どもからみた同居している家族の構成員は、「2. 母」が98.9%と最も多く、次いで「1. 父」が89.0%、「3. 兄弟・姉妹」が64.8%であった。

図表III-2-7 同居家族の構成員（複数回答） | N=91

	件数	%
1. 父	81	89.0%
2. 母	90	98.9%
3. 兄弟・姉妹	59	64.8%
4. 祖父	5	5.5%
5. 祖母	6	6.6%
6. その他	1	1.1%
全体	91	-



問8 子どもの祖父母との近居状況

子どもの祖父母との近居※状況は、「3. 近居の祖父母はいない」が78.0%と最も多く、次いで「2. 祖母近居」が19.8%、「1. 祖父近居」が14.3%であった。

※近居とは、交通手段を問わず、おおむね30分以内程度に行き来できる範囲のことと定義した

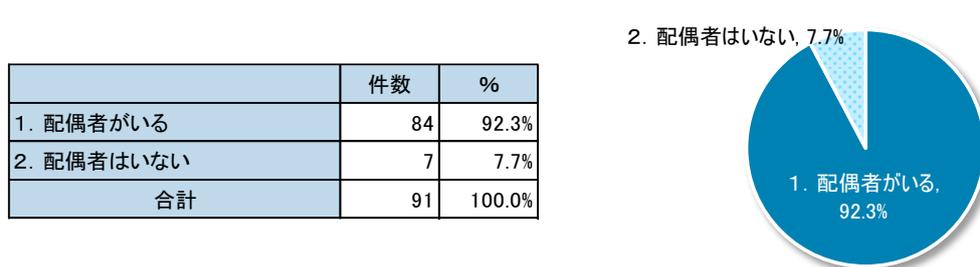
図表III-2-8 祖父母との近居状況（複数回答） | N=91



問9 回答者の配偶関係

回答者の配偶関係は、「1. 配偶者がいる」が92.3%、「2. 配偶者はいない」が7.7%であった。

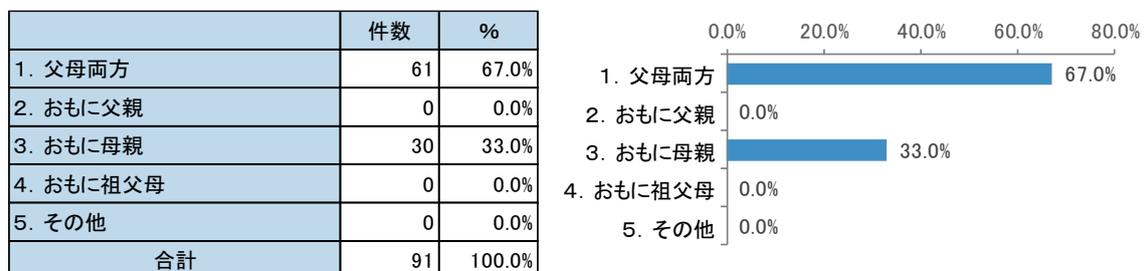
図表III-2-9 回答者の配偶関係 | N=91



問10 子育てを主に行っている人

子育てを主に行っている人は、「1. 父母両方」が67.0%と最も多く、次いで「3. おもに母親」が33.0%であった。

図表III-2-10 子育てを主に行っている人 | N=91



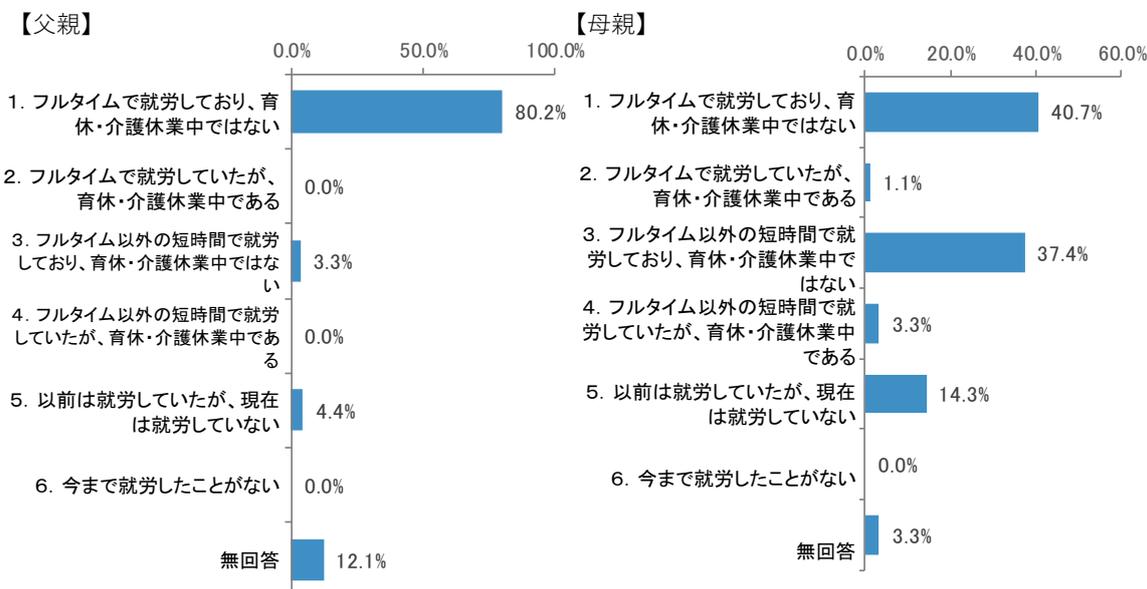
3. 保護者の就労状況について

問 11 保護者の就労状況

父親の就労状況は、「1. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が 80.2%と最も多く、次いで「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」が 4.4%、「3. フルタイム以外の短時間で就労しており、育休・介護休業中ではない」が 3.3%であった。

母親の就労状況は、「1. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が 40.7%と最も多く、次いで「3. フルタイム以外の短時間で就労しており、育休・介護休業中ではない」が 37.4%、「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」が 14.3%であった。

図表 III-3-1 保護者の就労状況 | N=91



	父親		父親	
	件数	%	件数	%
1. フルタイム(週5日程度・1日8時間程度)で就労しており、育休・介護休業中ではない	73	80.2%	37	40.7%
2. フルタイム(週5日程度・1日8時間程度)で就労していたが、育休・介護休業中である	0	0.0%	1	1.1%
3. フルタイム以外の短時間(週5日未満・1日8時間未満)で就労しており、育休・介護休業中ではない	3	3.3%	34	37.4%
4. フルタイム以外の短時間(週5日未満・1日8時間未満)で就労していたが、育休・介護休業中である	0	0.0%	3	3.3%
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	4	4.4%	13	14.3%
6. 今まで就労したことがない	0	0.0%	0	0.0%
無回答	11	12.1%	3	3.3%
合計	91	100.0%	91	100.0%

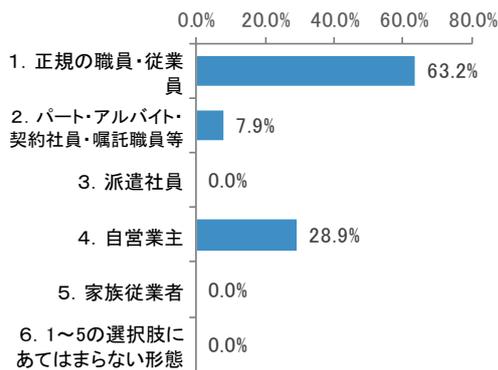
問 11-1 保護者の就業形態

保護者の就労状況（問 11）で「就労している」（1～4 のいずれか）と回答した方に、就業形態を聞いたところ、父親は「1. 正規の職員・従業員」が 63.2%と最も多く、次いで「4. 自営業主」が 28.9%、「2. パート・アルバイト・契約社員・嘱託職員等」は 7.9%であった。

母親は「2. パート・アルバイト・契約社員・嘱託職員等」が 49.3%と最も多く、次いで「1. 正規の職員・従業員」が 29.3%、「5. 家族従業者」が 13.3%であった。

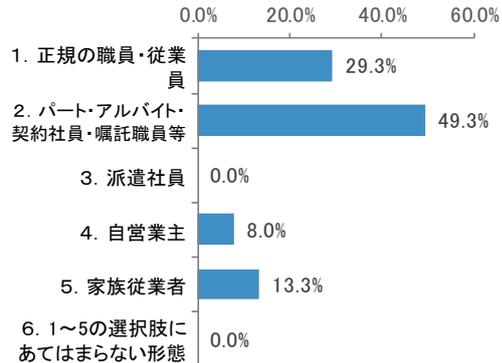
図表 III-3-2 保護者の就業形態 | 父親/N=76 母親/N=75

【父親】



	件数	%
1. 正規の職員・従業員	48	63.2%
2. パート・アルバイト・契約社員・嘱託職員等	6	7.9%
3. 派遣社員	0	0.0%
4. 自営業主	22	28.9%
5. 家族従業者	0	0.0%
6. 1～5の選択肢にあてはまらない形態	0	0.0%
合計	76	100.0%

【母親】



	件数	%
1. 正規の職員・従業員	22	29.3%
2. パート・アルバイト・契約社員・嘱託職員等	37	49.3%
3. 派遣社員	0	0.0%
4. 自営業主	6	8.0%
5. 家族従業者	10	13.3%
6. 1～5の選択肢にあてはまらない形態	0	0.0%
合計	75	100.0%

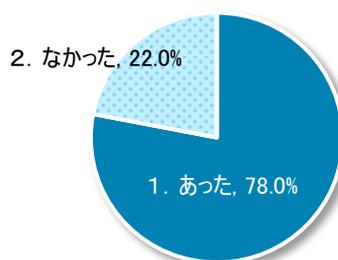
4. 病気やケガの際の対応について

問 12 病気やケガで小学校に行けなかったことの有無

この1年間に、子どもが病気やケガで小学校に行けなかったことがあるか聞いたところ、「1. あった」が78.0%、「2. なかった」が22.0%であった。

図表Ⅲ-4-1 病気やケガで小学校に行けなかったことの有無 | N=91

	件数	%
1. あった	71	78.0%
2. なかった	20	22.0%
合計	91	100.0%



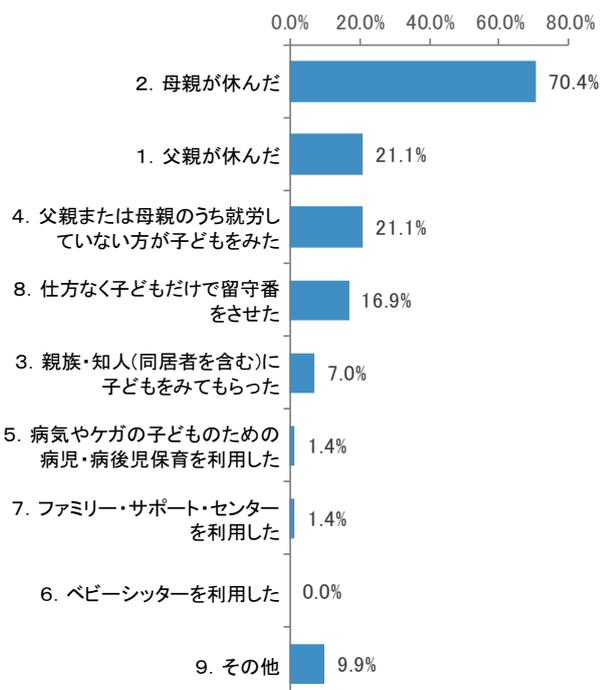
問 12-1 小学校に行けなかった場合の対処方法

子どもが病気やケガで小学校に行けなかったことの有無（問 12）で「あった」と回答した方に、この1年間に行った対処方法を聞いたところ、「2. 母親が休んだ」が70.4%と最も多く、次いで「1. 父親が休んだ」と「4. 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」がともに21.1%、「8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が16.9%であった。

図表Ⅲ-4-2 小学校に行けなかった場合の対処方法（複数回答） | N=71

(複数回答)

	件数	%
2. 母親が休んだ	50	70.4%
1. 父親が休んだ	15	21.1%
4. 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	15	21.1%
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	12	16.9%
3. 親族・知人(同居者を含む)に子どもをみてもらった	5	7.0%
5. 病気やケガの子どものための病児・病後児保育を利用した	1	1.4%
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	1	1.4%
6. ベビーシッターを利用した	0	0.0%
9. その他	7	9.9%
全体	71	-

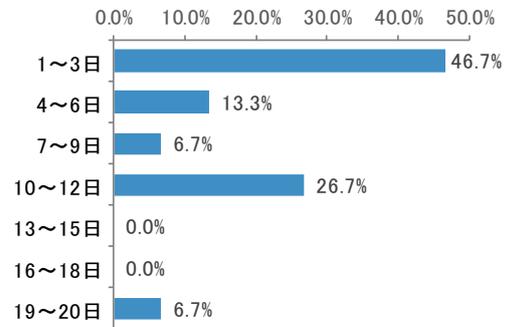


また、それぞれの対応にかかった1年間あたりの日数は、以下(1)～(9)のとおりである。

(1) 父親が休んだ／年間日数

図表III-4-3 父親が休んだ／年間日数 | N=15

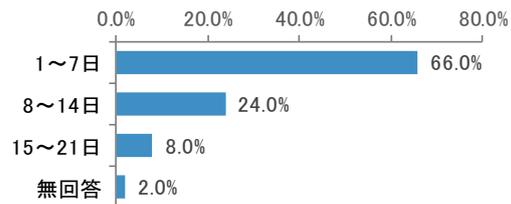
	件数	%
1～3日	7	46.7%
4～6日	2	13.3%
7～9日	1	6.7%
10～12日	4	26.7%
13～15日	0	0.0%
16～18日	0	0.0%
19～20日	1	6.7%
合計	15	100.0%



(2) 母親が休んだ／年間日数

図表III-4-4 母親が休んだ／年間日数 | N=50

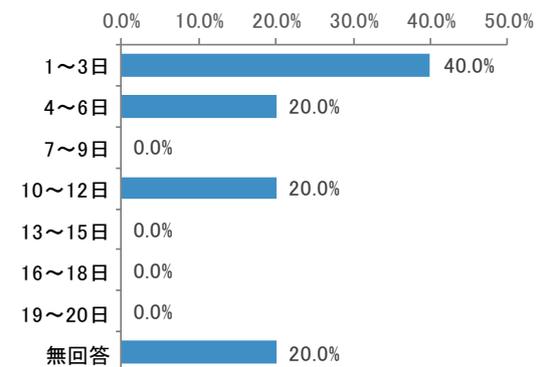
	件数	%
1～7日	33	66.0%
8～14日	12	24.0%
15～21日	4	8.0%
無回答	1	2.0%
合計	50	100.0%



(3) 親族・知人（同居者含む）に子どもをみてもらった／年間日数

図表III-4-5 親族・知人（同居者含む）に子どもをみてもらった／年間日数 | N=5

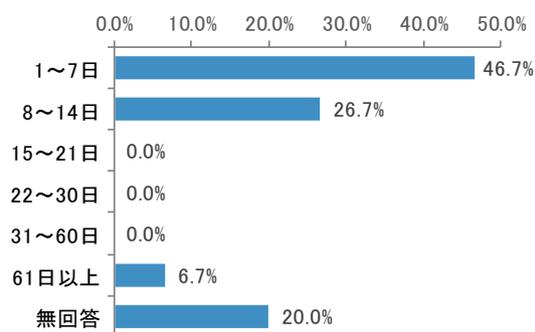
	件数	%
1～3日	2	40.0%
4～6日	1	20.0%
7～9日	0	0.0%
10～12日	1	20.0%
13～15日	0	0.0%
16～18日	0	0.0%
19～20日	0	0.0%
無回答	1	20.0%
合計	5	100.0%



(4) 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた／年間日数

図表III-4-6 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた／年間日数 | N = 15

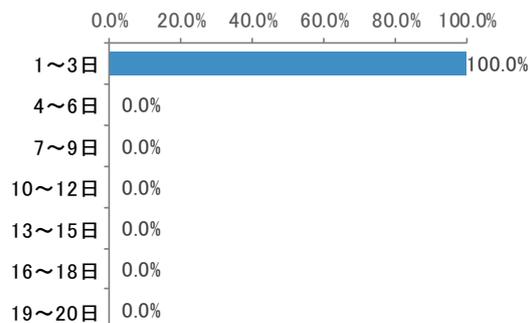
	件数	%
1～7日	7	46.7%
8～14日	4	26.7%
15～21日	0	0.0%
22～30日	0	0.0%
31～60日	0	0.0%
61日以上	1	6.7%
無回答	3	20.0%
合計	15	100.0%



(5) 病気やケガの子どものための病児・病後児保育を利用した／年間日数

図表III-4-7 病気やケガの子どものための病児・病後児保育を利用した／年間日数 | N = 1

	件数	%
1～3日	1	100.0%
4～6日	0	0.0%
7～9日	0	0.0%
10～12日	0	0.0%
13～15日	0	0.0%
16～18日	0	0.0%
19～20日	0	0.0%
合計	1	100.0%



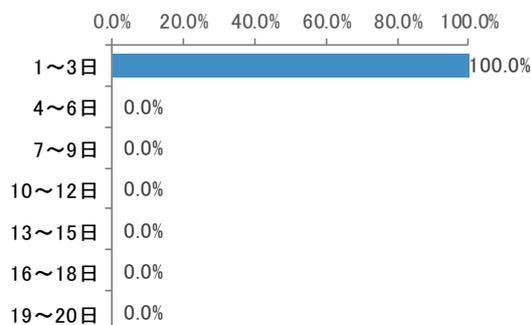
(6) ベビーシッターを利用した／年間日数

「ベビーシッターを利用した」の回答はなかった。

(7) ファミリー・サポート・センターを利用した／年間日数

図表III-4-8 ファミリー・サポート・センターを利用した／年間日数 | N = 1

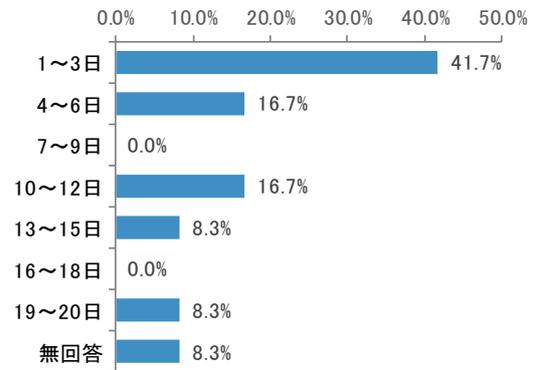
	件数	%
1～3日	1	100.0%
4～6日	0	0.0%
7～9日	0	0.0%
10～12日	0	0.0%
13～15日	0	0.0%
16～18日	0	0.0%
19～20日	0	0.0%
合計	1	100.0%



(8) 仕方なく子どもだけで留守番をさせた／年間日数

図表Ⅲ-4-9 仕方なく子どもだけで留守番をさせた／年間日数 | N = 12

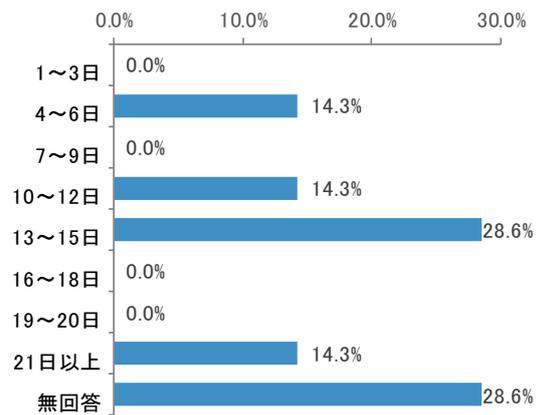
	件数	%
1～3日	5	41.7%
4～6日	2	16.7%
7～9日	0	0.0%
10～12日	2	16.7%
13～15日	1	8.3%
16～18日	0	0.0%
19～20日	1	8.3%
無回答	1	8.3%
合計	12	100.0%



(9) その他／年間日数

図表Ⅲ-4-10 その他／年間日数 | N = 7

	件数	%
1～3日	0	0.0%
4～6日	1	14.3%
7～9日	0	0.0%
10～12日	1	14.3%
13～15日	2	28.6%
16～18日	0	0.0%
19～20日	0	0.0%
21日以上	1	14.3%
無回答	2	28.6%
合計	7	100.0%

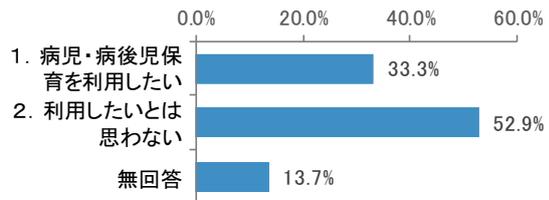


問 12-2 病児・病後児保育の利用意向

ケガや病気等で小学校に行けなかった場合の対処方法（問 12-1）で「1. 父親が休んだ」または「2. 母親が休んだ」と回答した方に、病児・病後児保育を利用したいか聞いたところ、「1. 病気やケガの子どものための病児・病後児保育を利用したい」が 33.3%、「2. 利用したいとは思わない」が 52.9%であった。

図表Ⅲ-4-11 病児・病後児保育の利用意向 | N=51

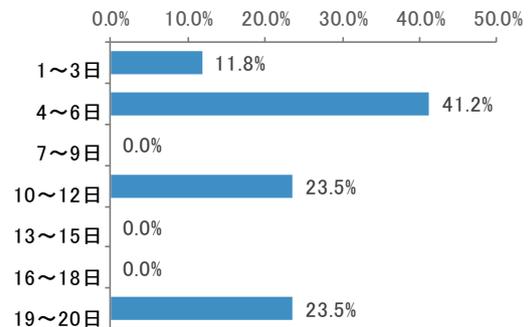
	件数	%
1. 病児・病後児保育を利用したい	17	33.3%
2. 利用したいとは思わない	27	52.9%
無回答	7	13.7%
合計	51	100.0%



上記で「1. 病児・病後児保育を利用したい」と回答した方に、希望する年間の利用日数を聞いたところ、「4～6日」が 41.2%と最も多く、次いで「10～12日」と「19～20日」がともに 23.5%であった。

図表Ⅲ-4-12 病児・病後児保育の年間の希望利用日数 | N=17

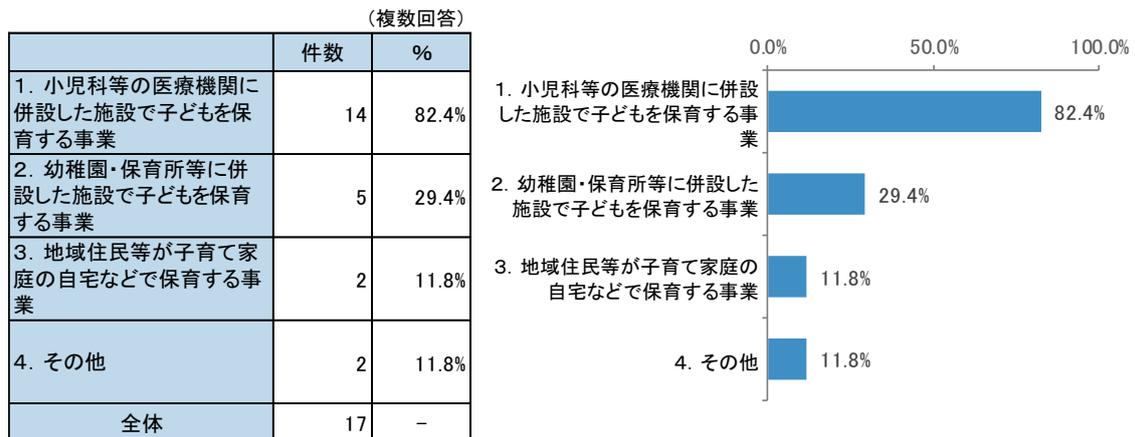
	件数	%
1～3日	2	11.8%
4～6日	7	41.2%
7～9日	0	0.0%
10～12日	4	23.5%
13～15日	0	0.0%
16～18日	0	0.0%
19～20日	4	23.5%
合計	17	100.0%



問 12-3 病児・病後児保育で希望する事業形態

病児・病後児保育の利用意向（問 12-2）で「1. 病児・病後児保育を利用したい」と回答した方に、上記の目的で子どもを預ける時の事業形態を聞いたところ、「1. 小児科等の医療機関に併設した施設で子どもを保育する事業」が 82.4%と最も多く、次いで「2. 幼稚園・保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業」が 29.4%、「3. 地域住民等が子育て家庭の自宅などで保育する事業」が 11.8%であった。

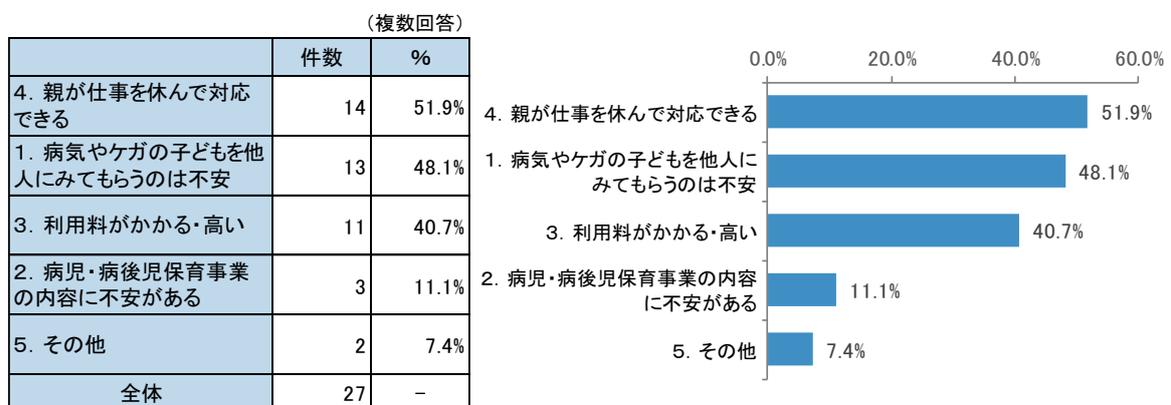
図表Ⅲ-4-13 病児・病後児保育で希望する事業形態（複数回答） | N=17



問 12-4 病児・病後児保育を利用したいと思わない理由

病児・病後児保育の利用意向（問 12-2）で「2. 利用したいとは思わない」と回答した方に、利用したいと思わない理由を聞いたところ、「4. 親が仕事を休んで対応できる」が 51.9%と最も多く、次いで「1. 病気やケガの子どもを他人にみてもらうのは不安」が 48.1%、「3. 利用料がかかる・高い」が 40.7%であった。

図表Ⅲ-4-14 病児・病後児保育を利用したいと思わない理由（複数回答） | N=27

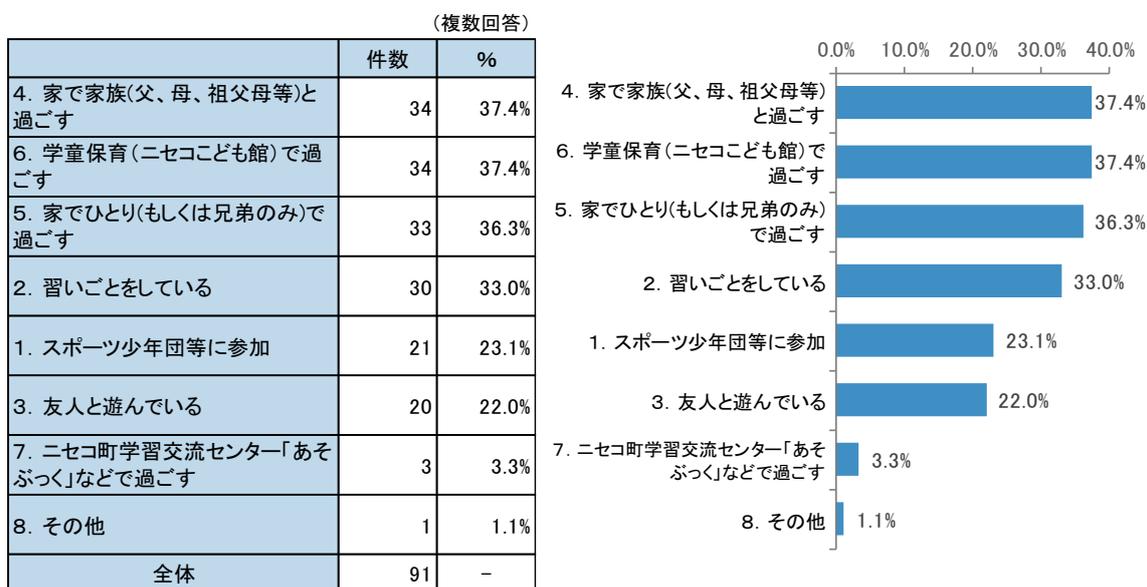


5. 学童保育（ニセコこども館）・放課後子ども教室について

問 13 小学生の放課後の過ごし方

小学生の放課後の過ごし方を聞いたところ、「4. 家で家族（父、母、祖父母等）と過ごす」と「6. 学童保育（ニセコこども館）で過ごす」がともに37.4%と最も多く、次いで「5. 家でひとり（もしくは兄弟のみ）で過ごす」が36.3%、「2. 習いごとをしている」が33.0%であった。

図表III-5-1 子どもの放課後の過ごし方（複数回答） | N=91



小学生の放課後の過ごし方を学年別で見ると、「6. 学童保育（ニセコこども館）で過ごす」は、低学年（1～3年生）の割合が高い。また、低学年のうち「4. 家で家族（父、母、祖父母等）と過ごす」の割合が高いが、高学年（4～6年生）になると「5. 家でひとり（もしくは兄弟のみ）で過ごす」の割合が高くなっている。

図表III-5-2 学年別・子どもの放課後の過ごし方（複数回答） | N=91

■ 学年別

上段:件数、下段:%

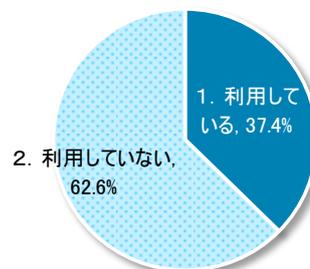
		合計	問13							
			1. スポーツ少年団等に 参加	2. 習いごと をしている	3. 友人と遊 んでいる	4. 家で家族 (父、母、祖 父母等)と過 ごす	5. 家でひと り(もしくは兄 弟のみ)で過 ごす	6. 学童保 育(ニセコこ ども館)で過 ごす	7. ニセコ町 学習交流セ ンター「あそ ぶつく」など で過ごす	8. その他
学 年	小学1年生	23 -	2 8.7%	7 30.4%	2 8.7%	9 39.1%	2 8.7%	17 73.9%	0 0.0%	1 4.3%
	小学2年生	19 -	6 31.6%	9 47.4%	3 15.8%	7 36.8%	2 10.5%	11 57.9%	1 5.3%	0 0.0%
	小学3年生	16 -	2 12.5%	6 37.5%	3 18.8%	7 43.8%	7 43.8%	5 31.3%	0 0.0%	0 0.0%
	小学4年生	10 -	1 10.0%	2 20.0%	3 30.0%	6 60.0%	6 60.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%
	小学5年生	9 -	3 33.3%	2 22.2%	3 33.3%	3 33.3%	7 77.8%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%
	小学6年生	14 -	7 50.0%	4 28.6%	6 42.9%	2 14.3%	9 64.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
合計		91 -	21 23.1%	30 33.0%	20 22.0%	34 37.4%	33 36.3%	34 37.4%	3 3.3%	1 1.1%

問 14 学童保育（ニセコ子ども館）の利用状況

小学生の子どもが学童保育（ニセコ子ども館）を利用しているか聞いたところ、「1. 利用している」が37.4%、「2. 利用していない」が62.6%であった。

図表III-5-3 学童保育（ニセコ子ども館）の利用状況 | N=91

	件数	%
1. 利用している	34	37.4%
2. 利用していない	57	62.6%
合計	91	100.0%



問 14-1 学童保育（ニセコ子ども館）の利用日数・理由等

学童保育（ニセコ子ども館）の利用状況（問 14）で「1. 利用している」と回答した方に、（1）利用日数・利用時間、（2）利用している理由、（3）今後、平日利用したい学年、（4）土日祝や長期休暇中の利用希望について聞いたところ、それぞれ以下のとおりである。

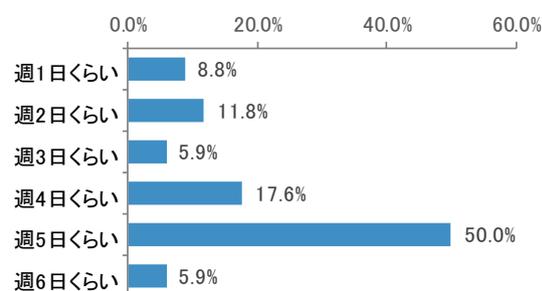
（1）学童保育（ニセコ子ども館）の利用日数・利用時間

■利用日数

学童保育（ニセコ子ども館）の1週間あたりの利用日数は、「5日」が50.0%と最も多く、次いで「4日」が17.6%であった。

図表III-5-4 学童保育（ニセコ子ども館）の利用日数 | N=34

	件数	%
週1日くらい	3	8.8%
週2日くらい	4	11.8%
週3日くらい	2	5.9%
週4日くらい	6	17.6%
週5日くらい	17	50.0%
週6日くらい	2	5.9%
合計	34	100.0%

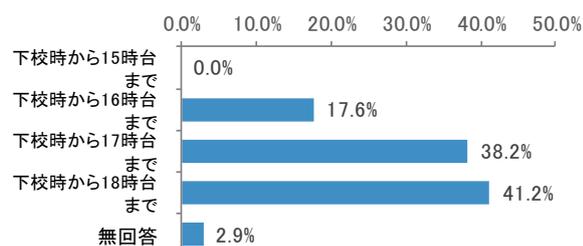


■下校時からの利用時間

学童保育（ニセコ子ども館）の下校時からの利用時間は、「下校時から18時台まで」が41.2%と最も多く、次いで「下校時から17時台まで」が38.2%であった。

図表III-5-5 学童保育（ニセコ子ども館）の下校時からの利用時間 | N=34

	件数	%
下校時から15時台まで	0	0.0%
下校時から16時台まで	6	17.6%
下校時から17時台まで	13	38.2%
下校時から18時台まで	14	41.2%
無回答	1	2.9%
合計	34	100.0%

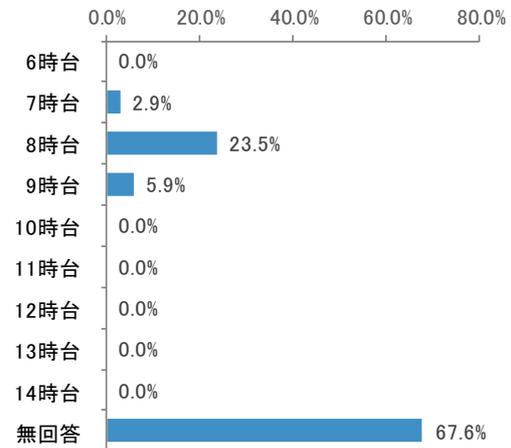


■土曜日の利用開始時間

学童保育（ニセコこども館）の土曜日の利用開始時間は、「8時台」が23.5%と最も多く、次いで「9時台」が5.9%であった。

図表III-5-6 学童保育（ニセコこども館）の土曜日の利用開始時間 | N = 34

	件数	%
6時台	0	0.0%
7時台	1	2.9%
8時台	8	23.5%
9時台	2	5.9%
10時台	0	0.0%
11時台	0	0.0%
12時台	0	0.0%
13時台	0	0.0%
14時台	0	0.0%
無回答	23	67.6%
合計	34	100.0%

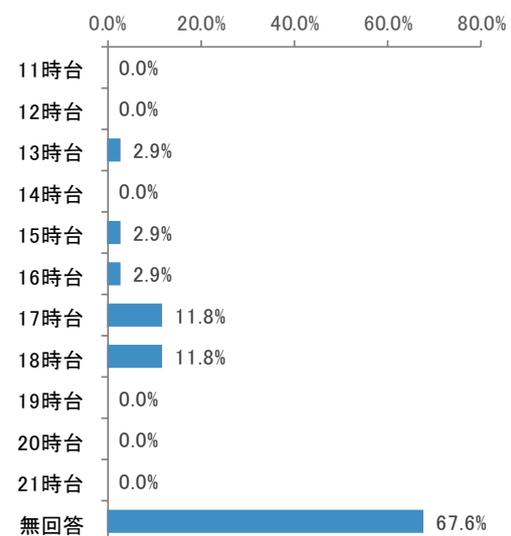


■土曜日の利用終了時間

学童保育（ニセコこども館）の土曜日の利用終了時間は、「17時台」と「18時台」がともに11.8%と最も多かった。

図表III-5-7 学童保育（ニセコこども館）の土曜日の利用終了時間 | N = 34

	件数	%
11時台	0	0.0%
12時台	0	0.0%
13時台	1	2.9%
14時台	0	0.0%
15時台	1	2.9%
16時台	1	2.9%
17時台	4	11.8%
18時台	4	11.8%
19時台	0	0.0%
20時台	0	0.0%
21時台	0	0.0%
無回答	23	67.6%
合計	34	100.0%

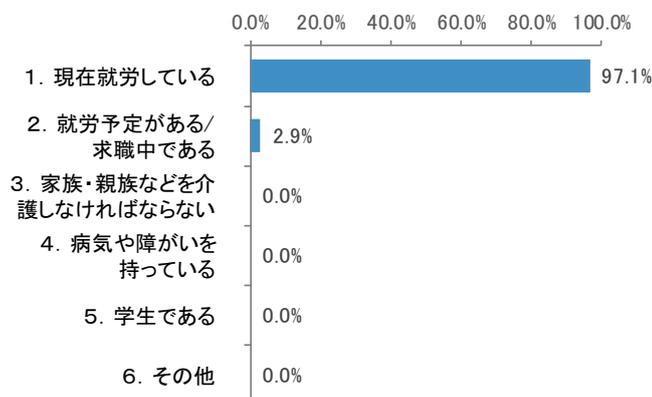


(2) 学童保育（ニセコ子ども館）を利用している理由

子どもの身の回りの世話をしている方が学童保育（ニセコ子ども館）を利用している理由は、「1. 現在就労している」が97.1%と最も多く、次いで「2. 就労予定がある/求職中である」が2.9%であった。

図表III-5-8 学童保育（ニセコ子ども館）を利用している理由 | N=34

	件数	%
1. 現在就労している	33	97.1%
2. 就労予定がある/求職中である	1	2.9%
3. 家族・親族などを介護しなければならない	0	0.0%
4. 病気や障がいを持っている	0	0.0%
5. 学生である	0	0.0%
6. その他	0	0.0%
合計	34	100.0%

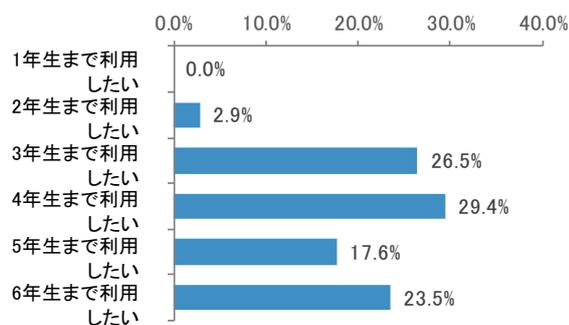


(3) 今後、平日に学童保育（ニセコ子ども館）を利用したい学年

今後、平日に学童保育（ニセコ子ども館）を何年生まで利用したいか聞いたところ、「4年生まで利用したい」が29.4%と最も多く、次いで「3年生まで利用したい」が26.5%、「6年生まで利用したい」が23.5%であった。

図表III-5-9 今後、平日に学童保育（ニセコ子ども館）を利用したい学年 | N=34

	件数	%
1年生まで利用したい	0	0.0%
2年生まで利用したい	1	2.9%
3年生まで利用したい	9	26.5%
4年生まで利用したい	10	29.4%
5年生まで利用したい	6	17.6%
6年生まで利用したい	8	23.5%
合計	34	100.0%



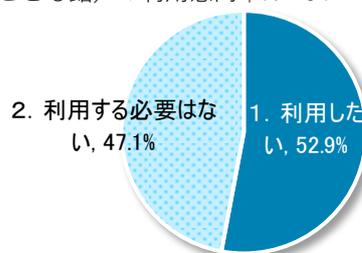
(4) 土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中における学童保育（ニセコ子ども館）の利用意向

①土曜日

土曜日の学童保育（ニセコ子ども館）の利用意向を聞いたところ、「1. 利用したい」が52.9%、「2. 利用する必要はない」が47.1%であった。

図表Ⅲ-5-10 土曜日／学童保育（ニセコ子ども館）の利用意向 | N=34

	件数	%
1. 利用したい	18	52.9%
2. 利用する必要はない	16	47.1%
合計	34	100.0%



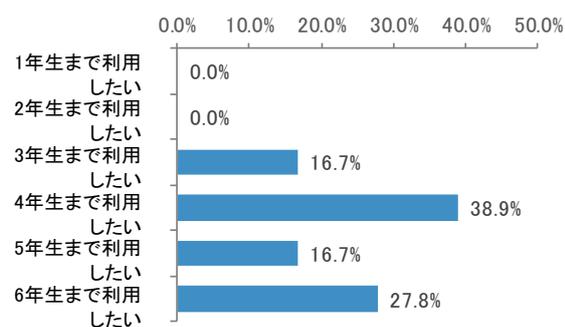
また、土曜日に学童保育（ニセコ子ども館）を「1. 利用したい」と回答した方に、利用を希望する学年、利用したい開始時間・終了時間を聞いたところ、以下のとおりである。

■土曜日／利用を希望する学年

土曜日の学童保育（ニセコ子ども館）を何年生まで利用したいか聞いたところ、「4年生まで利用したい」が38.9%と最も多く、次いで「6年生まで利用したい」が27.8%であった。

図表Ⅲ-5-11 土曜日／学童保育（ニセコ子ども館）の利用を希望する学年 | N=18

	件数	%
1年生まで利用したい	0	0.0%
2年生まで利用したい	0	0.0%
3年生まで利用したい	3	16.7%
4年生まで利用したい	7	38.9%
5年生まで利用したい	3	16.7%
6年生まで利用したい	5	27.8%
合計	18	100.0%

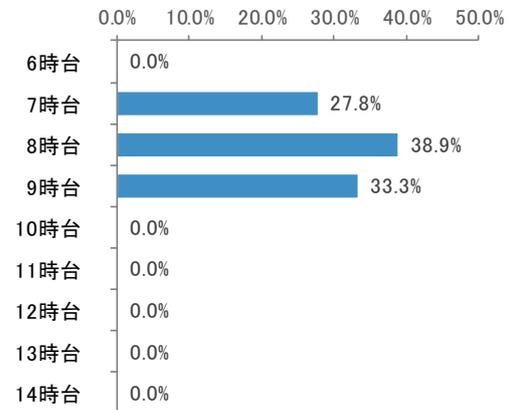


■土曜日／希望する利用開始時間

土曜日の学童保育（ニセコこども館）で利用したい開始時間は、「8 時台」が 38.9%と最も多く、次いで「9 時台」が 33.3%、「7 時台」が 27.8%であった。

図表Ⅲ-5-12 土曜日／学童保育（ニセコこども館）の希望する利用開始時間 | N = 18

	件数	%
6時台	0	0.0%
7時台	5	27.8%
8時台	7	38.9%
9時台	6	33.3%
10時台	0	0.0%
11時台	0	0.0%
12時台	0	0.0%
13時台	0	0.0%
14時台	0	0.0%
合計	18	100.0%

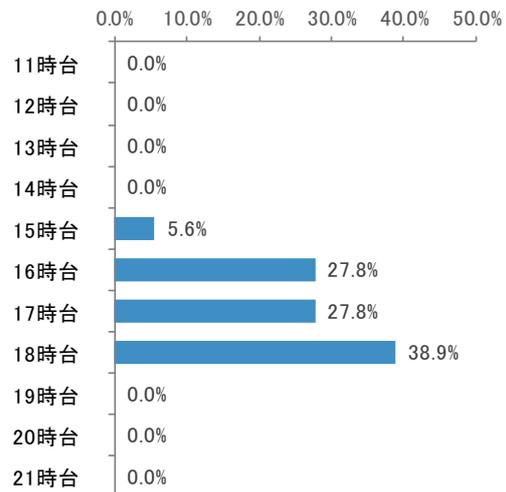


■土曜日／希望する利用終了時間

土曜日の学童保育（ニセコこども館）で利用したい終了時間は、「18 時台」が 38.9%と最も多く、次いで「16 時台」と「17 時台」がともに 27.8%であった。

図表Ⅲ-5-13 土曜日／学童保育（ニセコこども館）の希望する利用終了時間 | N = 18

	件数	%
11時台	0	0.0%
12時台	0	0.0%
13時台	0	0.0%
14時台	0	0.0%
15時台	1	5.6%
16時台	5	27.8%
17時台	5	27.8%
18時台	7	38.9%
19時台	0	0.0%
20時台	0	0.0%
21時台	0	0.0%
合計	18	100.0%

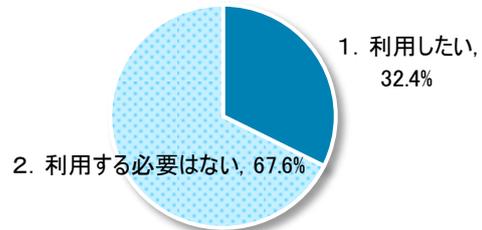


②日曜日・祝日

日曜日・祝日の学童保育（ニセコこども館）の利用意向を聞いたところ、「1. 利用したい」が32.4%、「2. 利用する必要はない」が67.6%であった。

図表III-5-14 日曜日・祝日／学童保育（ニセコこども館）の利用意向 | N=34

	件数	%
1. 利用したい	11	32.4%
2. 利用する必要はない	23	67.6%
合計	34	100.0%



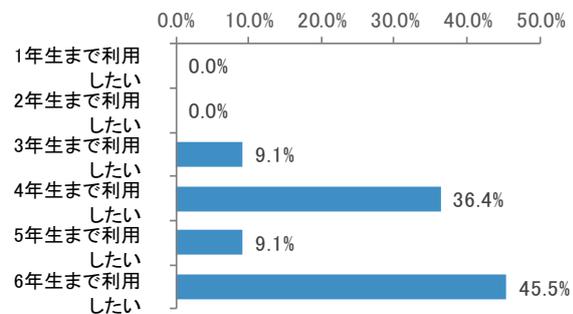
また、日曜日・祝日に学童保育（ニセコこども館）を「1. 利用したい」と回答した方に、利用を希望する学年、利用したい開始時間・終了時間を聞いたところ、以下のとおりである。

■日曜日・祝日／利用を希望する学年

日曜日・祝日の学童保育（ニセコこども館）を何年生まで利用したいか聞いたところ、「6年生まで利用したい」が45.5%と最も多く、次いで「4年生まで利用したい」が36.4%であった。

図表III-5-15 日曜日・祝日／学童保育（ニセコこども館）の利用を希望する学年 | N=11

	件数	%
1年生まで利用したい	0	0.0%
2年生まで利用したい	0	0.0%
3年生まで利用したい	1	9.1%
4年生まで利用したい	4	36.4%
5年生まで利用したい	1	9.1%
6年生まで利用したい	5	45.5%
合計	11	100.0%

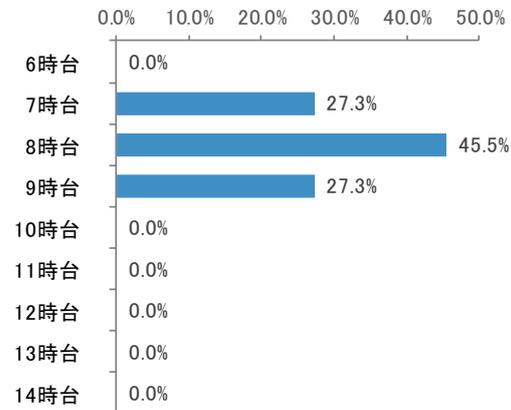


■日曜日・祝日／希望する利用開始時間

日曜日・祝日の学童保育（ニセコこども館）で利用したい開始時間は、「8時台」が45.5%と最も多く、次いで「7時台」と「9時台」がともに27.3%であった。

図表Ⅲ-5-16 日曜日・祝日／学童保育（ニセコこども館）の希望する利用開始時間 | N=11

	件数	%
6時台	0	0.0%
7時台	3	27.3%
8時台	5	45.5%
9時台	3	27.3%
10時台	0	0.0%
11時台	0	0.0%
12時台	0	0.0%
13時台	0	0.0%
14時台	0	0.0%
合計	11	100.0%

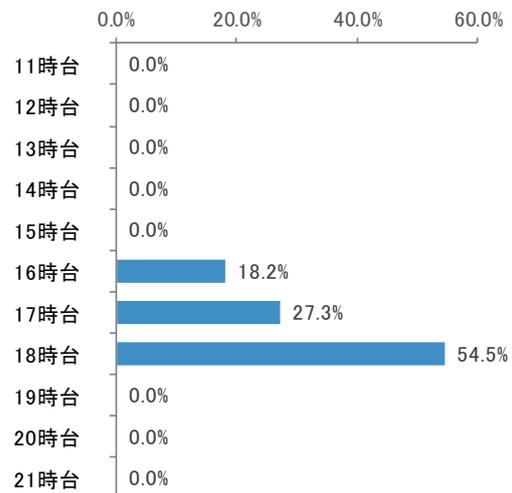


■日曜日・祝日／希望する利用終了時間

日曜日・祝日の学童保育（ニセコこども館）で利用したい終了時間は、「18時台」が54.5%と最も多く、次いで「17時台」が27.3%、「16時台」が18.2%であった。

図表Ⅲ-5-17 日曜日・祝日／学童保育（ニセコこども館）の希望する利用終了時間 | N=11

	件数	%
11時台	0	0.0%
12時台	0	0.0%
13時台	0	0.0%
14時台	0	0.0%
15時台	0	0.0%
16時台	2	18.2%
17時台	3	27.3%
18時台	6	54.5%
19時台	0	0.0%
20時台	0	0.0%
21時台	0	0.0%
合計	11	100.0%



③夏休み・冬休み・春休みなどの長期休暇中

夏休み・冬休み・春休みなどの長期休暇中の学童保育（ニセコこども館）の利用意向を聞いたところ、「1. 利用したい」が97.1%、「2. 利用する必要はない」が2.9%であった。

図表III-5-18 長期休暇中／学童保育（ニセコこども館）の利用意向 | N=34

	件数	%
1. 利用したい	33	97.1%
2. 利用する必要はない	1	2.9%
合計	34	100.0%

2. 利用する必要はない, 2.9%



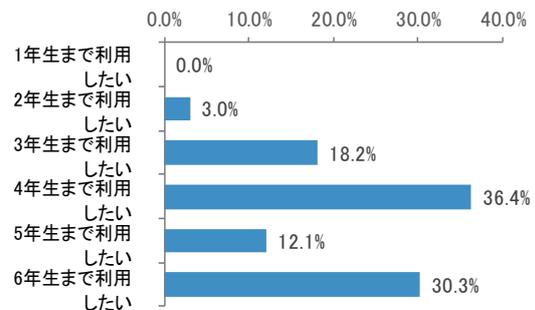
また、長期休暇中に学童保育（ニセコこども館）を「1. 利用したい」と回答した方に、利用を希望する学年、利用したい開始時間・終了時間を聞いたところ、以下のとおりである。

■長期休暇中／利用を希望する学年

長期休暇中の学童保育（ニセコこども館）を何年生まで利用したいか聞いたところ、「4年生まで利用したい」が36.4%と最も多く、次いで「6年生まで利用したい」が30.3%であった。

図表III-5-19 長期休暇中／学童保育（ニセコこども館）の利用を希望する学年 | N=33

	件数	%
1年生まで利用したい	0	0.0%
2年生まで利用したい	1	3.0%
3年生まで利用したい	6	18.2%
4年生まで利用したい	12	36.4%
5年生まで利用したい	4	12.1%
6年生まで利用したい	10	30.3%
合計	33	100.0%

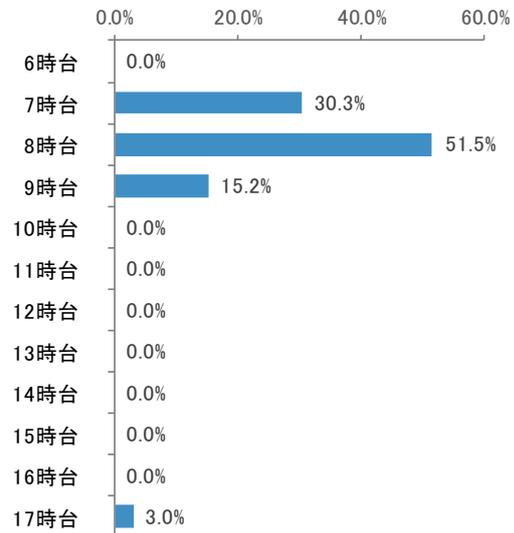


■長期休暇中／希望する利用開始時間

長期休暇中の学童保育（ニセコこども館）で利用したい開始時間は、「8 時台」が 51.5%と最も多く、次いで「7 時台」が 30.3%、「9 時台」が 15.2%であった。

図表 III-5-20 長期休暇中／学童保育（ニセコこども館）の希望する利用開始時間 | N = 33

	件数	%
6時台	0	0.0%
7時台	10	30.3%
8時台	17	51.5%
9時台	5	15.2%
10時台	0	0.0%
11時台	0	0.0%
12時台	0	0.0%
13時台	0	0.0%
14時台	0	0.0%
15時台	0	0.0%
16時台	0	0.0%
17時台	1	3.0%
合計	33	100.0%

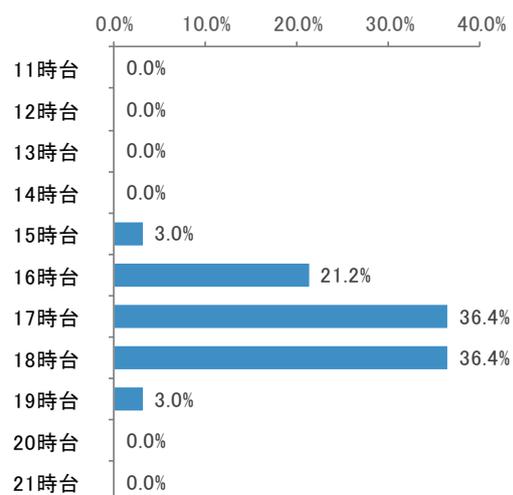


■長期休暇中／希望する利用終了時間

長期休暇中の学童保育（ニセコこども館）で利用したい終了時間は、「17 時台」と「18 時台」がともに 36.4%と最も多く、次いで「16 時台」が 21.2%であった。

図表 III-5-21 長期休暇中／学童保育（ニセコこども館）の希望する利用終了時間 | N = 33

	件数	%
11時台	0	0.0%
12時台	0	0.0%
13時台	0	0.0%
14時台	0	0.0%
15時台	1	3.0%
16時台	7	21.2%
17時台	12	36.4%
18時台	12	36.4%
19時台	1	3.0%
20時台	0	0.0%
21時台	0	0.0%
合計	33	100.0%

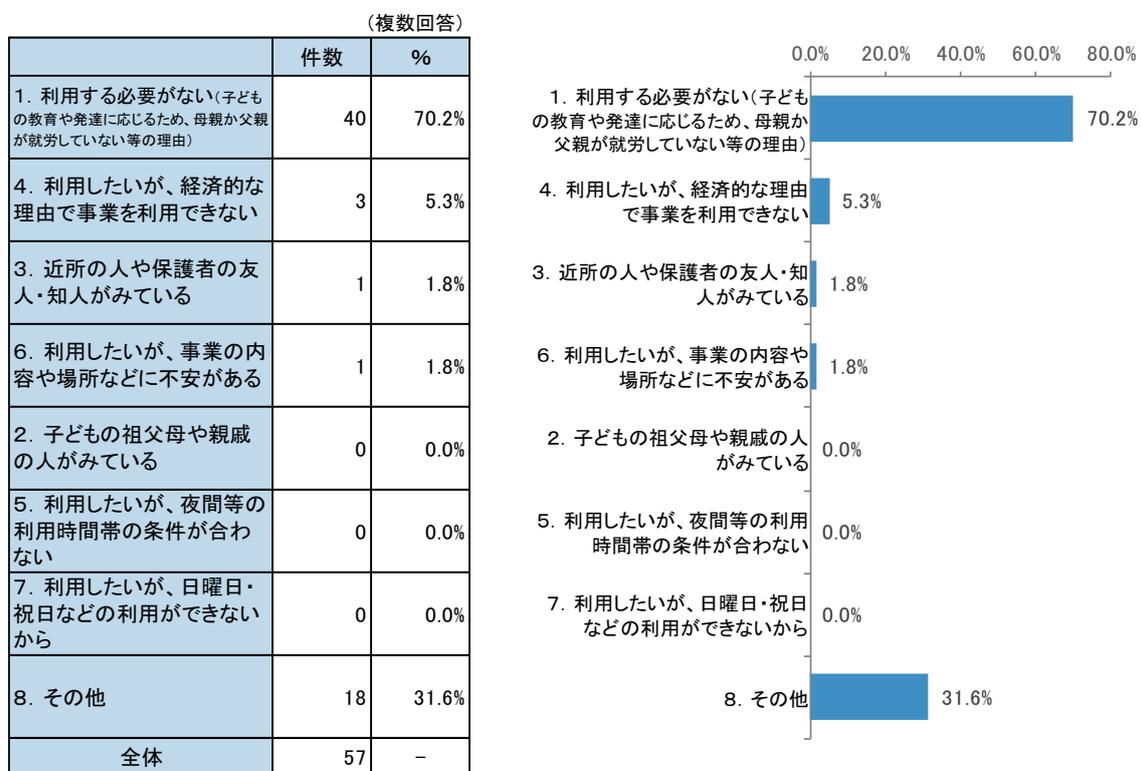


問 14-2 学童保育（ニセコ子ども館）を利用していない理由

学童保育（ニセコ子ども館）の利用状況（問 14）で「2. 利用していない」と回答した方に、利用していない理由を聞いたところ、「8. その他」を除くと、「1. 利用する必要がない（子どもの教育や発達に応じるため、母親か父親が就労していない等の理由）」が 70.2%と最も多く、次いで「4. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない」が 5.3%、「3. 近所の人や保護者の友人・知人がみている」と「6. 利用したいが、事業の内容や場所などに不安がある」がともに 1.8%であった。

「その他」としては、「子どもがひとりで留守番できるため」「家から遠く、送り迎えが難しい」「高学年になったため利用できない」等があげられていた。

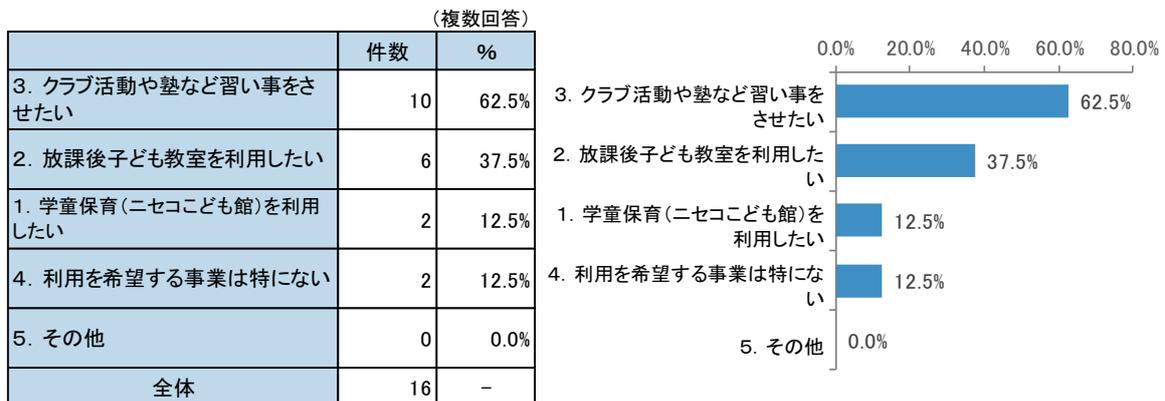
図表Ⅲ-5-22 学童保育（ニセコ子ども館）を利用していない理由（複数回答） | N=57



問 15 小学校 4 年生以降の放課後の過ごし方

子どもが小学校 3 年生の方に、4 年生以降の放課後の過ごし方についてどのようなことを望むか聞いたところ、「3. クラブ活動や塾など習い事をさせたい」が 62.5%と最も多く、次いで「2. 放課後子ども教室を利用したい」が 37.5%であった。

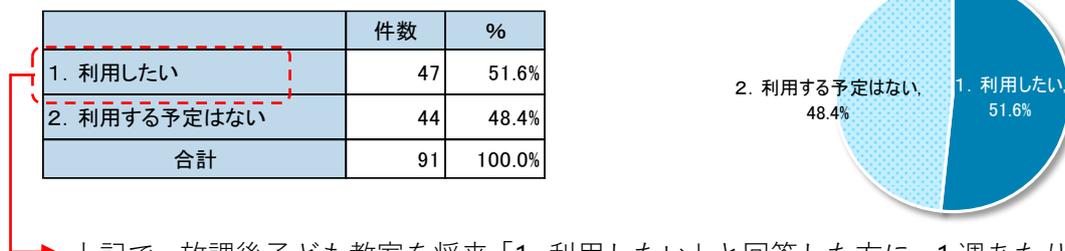
図表 III-5-23 小学校 4 年生以降の放課後の過ごし方（複数回答） | N=14



問 16 放課後子ども教室の将来の利用意向

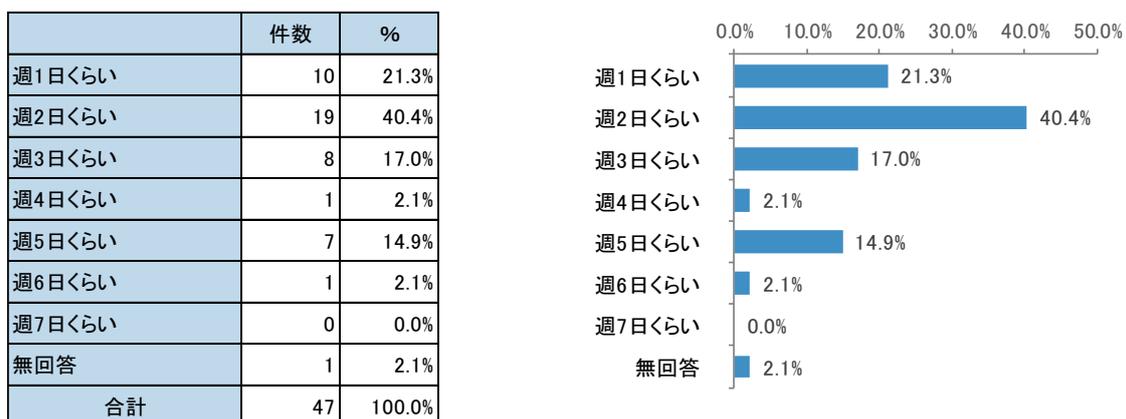
放課後子ども教室について、将来利用したいか聞いたところ、「1. 利用したい」が 51.6%、「2. 利用する必要はない」が 48.4%であった。

図表 III-5-24 放課後子ども教室の将来の利用意向 | N=91



上記で、放課後子ども教室を将来「1. 利用したい」と回答した方に、1 週あたり何日利用したいか聞いたところ、「2 日」が 40.4%と最も多く、次いで「1 日」が 21.3%、「3 日」が 17.0%であった。

図表 III-5-25 放課後子ども教室の希望する利用日数 | N=47



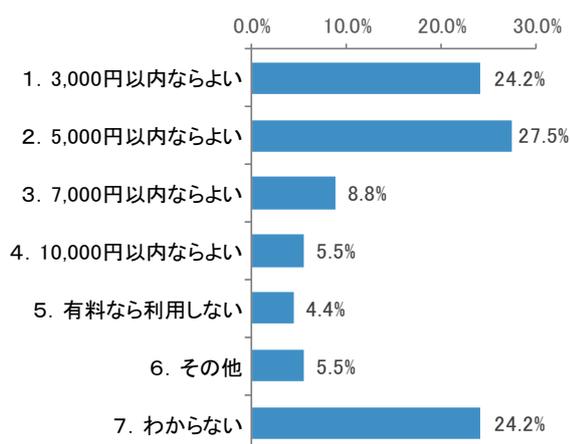
問 17 学童保育（ニセコ子ども館）の月額利用料金

学童保育（ニセコ子ども館）の月額利用料金について、どの程度までなら適切か聞いたところ、「2. 5,000円以内ならよい」が27.5%と最も多く、次いで「1. 3,000円以内ならよい」と「7. わからない」が24.2%、「3. 7,000円以内ならよい」が8.8%であった。

「その他」としては、「年収に合わせて利用料金を設定する方が妥当」「現在の利用料金のままがいい」等があげられていた。

図表III-5-26 学童保育（ニセコ子ども館）の月額利用料金 | N=91

	件数	%
1. 3,000円以内ならよい	22	24.2%
2. 5,000円以内ならよい	25	27.5%
3. 7,000円以内ならよい	8	8.8%
4. 10,000円以内ならよい	5	5.5%
5. 有料なら利用しない	4	4.4%
6. その他	5	5.5%
7. わからない	22	24.2%
合計	91	100.0%

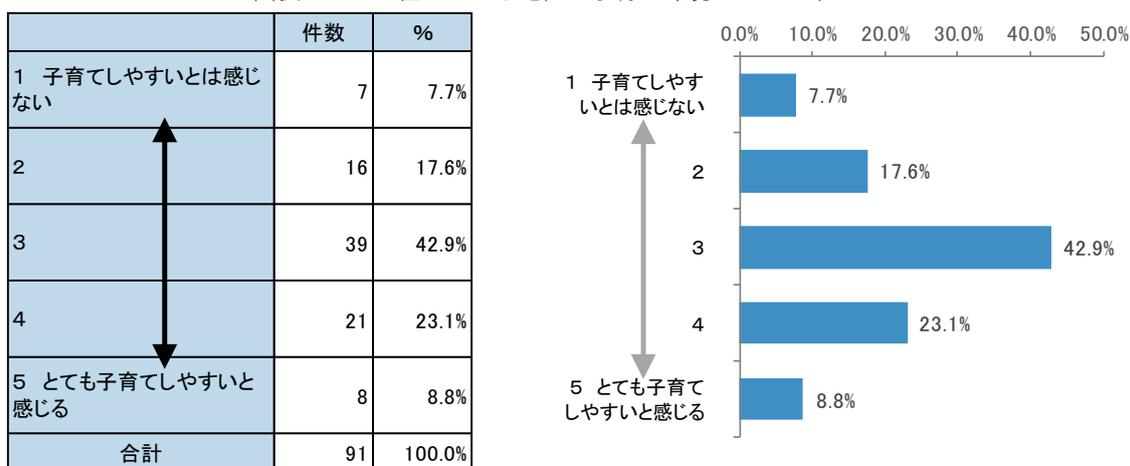


6. 子育てと子育て環境について

問 18 住んでいる地区の子育て環境について

住んでいる地区は子育てのしやすい環境か、5段階評価で聞いたところ、「3」（どちらともいえない）が42.9%と最も多く、次いで「4」（子育てしやすいと感じる）が23.1%であった。

図表Ⅲ-6-1 住んでいる地区の子育て環境について | N=91



住んでいる地区の子育て環境の満足度を地区別にみると、「ニセコ小学校区」は、「3」（どちらともいえない）が38.7%、「4」（子育てしやすいと感じる）が26.7%と、比較的子育て環境の満足度が高い。

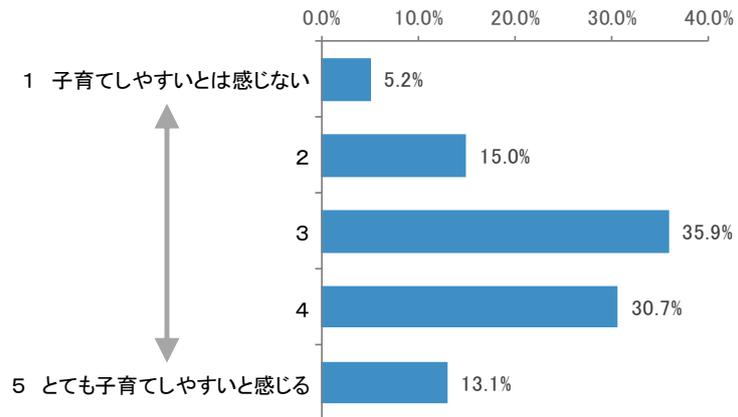
一方、「近藤小学校区」は、「2」（やや子育てしやすいと感じない）が25.0%、「3」（どちらともいえない）が62.5%と、「ニセコ小学校区」と比較すると、子育て環境の満足度が低くなっている。

図表Ⅲ-6-2 地区別・住んでいる地区の子育て環境について | N=91

地区別		合計	問18				
			1	2	3	4	5
地区	ニセコ小学校区	75	7 9.3%	12 16.0%	29 38.7%	20 26.7%	7 9.3%
	近藤小学校区	16	0 0.0%	4 25.0%	10 62.5%	1 6.3%	1 6.3%
合計		91	7 7.7%	16 17.6%	39 42.9%	21 23.1%	8 8.8%

【参考】2019（平成31）年 調査結果

問 26 住んでいる地区の子育て環境について | N = 153



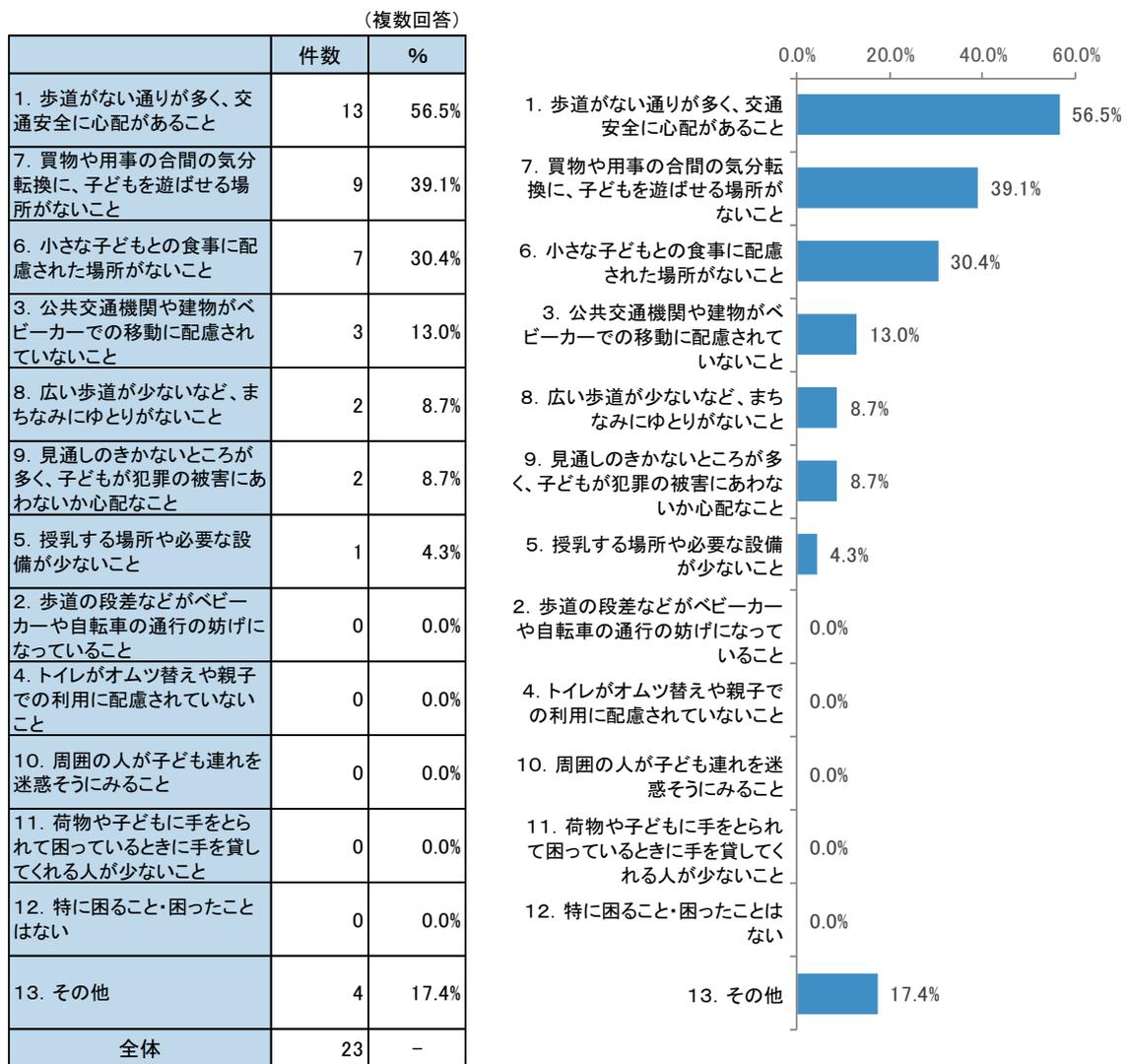
出典：ニセコ町「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」（平成31年3月）を基に作成

問 18-1 子どもとの外出の際の困りごと

住んでいる地区の子育て環境の満足度（問 18）で「子育てしやすいとは感じない」（1 または 2）と回答した方に、子どもとの外出の際に困ることや困ったことを聞いたところ、「1. 歩道がない通りが多く、交通安全に心配があること」が 56.5%と最も多く、次いで「7. 買物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと」が 39.1%、「6. 小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと」が 30.4%であった。

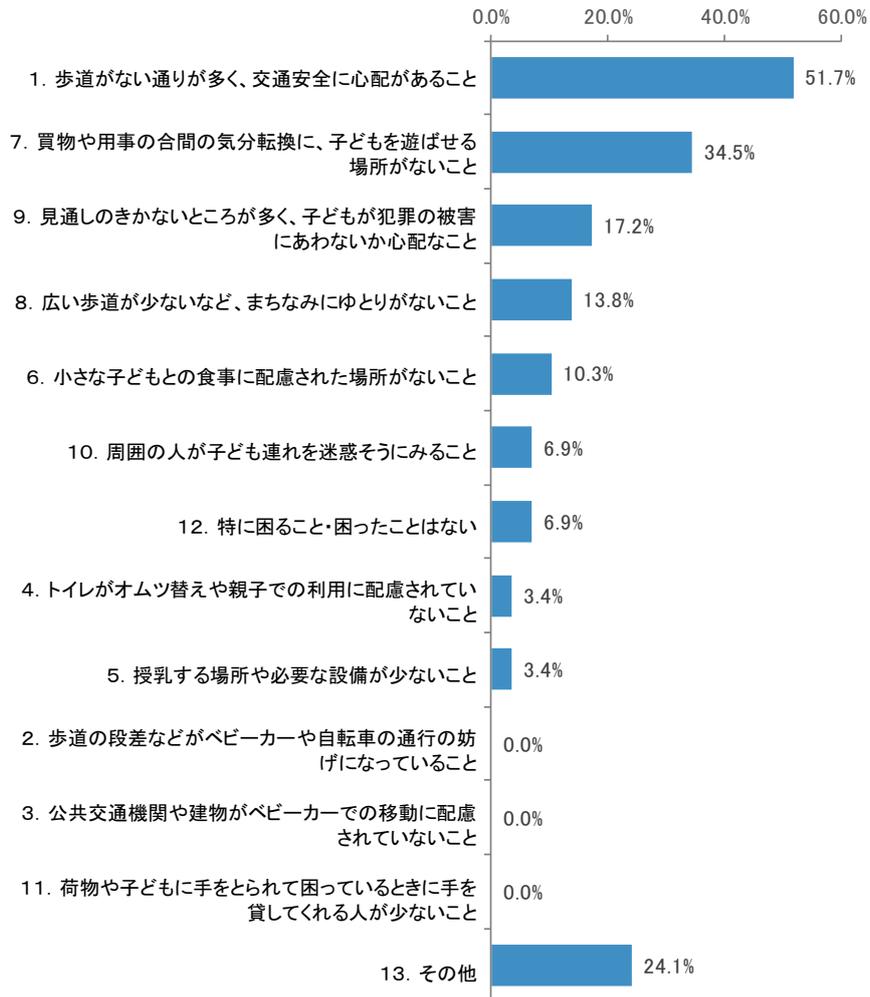
「その他」としては、「公園・体育館等への徒歩での移動が難しい」「遊び場が少ない」等があげられていた。

図表 III-6-3 子どもとの外出の際の困りごと（複数回答） | N=23



【参考】2019（平成 31）年 調査結果

問 26-1 子どもとの外出の際の困りごと（複数回答） | N = 29



出典：ニセコ町「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」（平成 31 年 3 月）を基に作成

IV 自由意見

子育ての不安や悩み、ニセコ町の子育て支援に関する要望

就学前児童の問 28 及び小学生児童の問 19 において、子育ての不安や悩み、子育てするうえで近所や地域に望むこと、ニセコ町の子育て支援に関する要望等を自由記入として聞いた。回答はのべ 104 件あり、その内容を項目ごとに以下のとおりに整理した。

図表IV-1 ニセコ町の子育て支援に関する要望等の記述内容の項目別件数（複数回答） | N = 105

項目	件数
1. 保育について	15
保育サービスの充実（延長、要件緩和、一時保育等）	7
土日祝の預かり・病児保育	8
2. 小学校・学童保育（ニセコこども館）について	7
学校教育環境の整備	3
教育・進学の実践の多様化	2
学童保育の充実	2
3. 子育て支援全般について	26
習い事に関すること	6
仕事と育児の両立・経済的支援	9
家事代行サービス等	4
子育て支援全般	7
4. 遊び場・居場所について	36
公園・広場・室内遊び場・スポーツ施設の充実	27
居場所づくり（子ども食堂・カフェ等）	4
イベントの充実	5
5. 生活環境について	16
買い物に関すること	4
通学路の交通安全・治安の維持	2
医療の充実	7
バスの充実	3
6. その他	4
アンケートに関すること	2
その他	2
全体	104

（留意事項）

- ・英文の回答は日本語に訳して掲載した。また個人名が特定できるような表現は、修正または削除した。
- ・一つの回答が複数の分類にまたがっている場合は、各分類に分割または重複して掲載した。

以下、全文を記載する。

1. 保育について

小項目	記述内容	調査対象
保育サービスの充実（延長、要件緩和、一時保育等）	<p>母親が出産に伴い退職したため、子どもが一時幼児センターを退園しました。冬に退園したため、あまり外で遊ぶことができず、母親も子どももストレスがたまりました。</p> <p>就労していないので、確かに家で保育はできますが、生後間もない子どもを連れて「おひさま」に行ったり、外遊びできないのが現状です。そのため、「こども誰でも通園制度」はとても助かるなと思いました。</p> <p>就労している家庭が優先的に入園できなければなりません、空きがあるのであれば「就労していない」ということだけで退園しなくてもいいのではないかと個人的に思っています。</p>	未就学児・小学生／母親
	<p>私は幼い子どもが2人おり、下の子を連れて違う町で働いています。</p> <p>そのため、上の子は長時間型保育で預かってもらっていましたが、「おひさま」に遊びに行った際、先生から、上の子を長時間型保育で預けて母親が働いている場合、「おひさま」では遊べないので来ないでくださいと言われました。</p> <p>母親でも休みの日があると思いますが、地域子育て支援センターなのに遊びに行けないというのはおかしいと思います。誰だって遊べる場所だと思います。特に、住んでいるところは田舎で雪がたくさん降り、遊びに行く場所がなく困っている方が多いです。</p> <p>そのため、私は冬の間仕事を休み、上の子を短時間型保育で預けました。それであれば、「おひさま」を利用できるからです。でもそれはおかしいと思います。真狩ヤルスツでは、地域子育て支援センターは誰でも行っていい場所だということですが、改善はできないのでしょうか？よろしく願いいたします。</p>	未就学児／母親
	<p>ニセコ町幼児センターの通常保育時間（8:30～16:30）が近隣町村の保育園（7:00～18:00）と比べて短く、残業ができず仕事に支障が出ているので、居残り保育を届出なしでも預けられる、通常の保育時間をもう少し長くしてほしいです。</p>	未就学児／母親
	<p>幼児センター未満児も保育料を無料にしてほしい。子どもを預けて働くにも保育料の方が高いという事態も起き得る。</p> <p>今の時代は共働きが基本となってきたので、待機児童が出ている現状を職員の増員などでどうにかしてほしい。</p>	未就学児／母親
	<p>野外保育の専門職員を配置してほしい。</p>	未就学児・小学生／母親
	<p>「おひさま」について、自分が利用したい時間帯に利用できなかった。真狩など他の市町村の方が利用しやすかった。</p>	未就学児・小学生／母親
	<p>上の子を幼稚園の長時間保育に預けている場合、下の子が「おひさま」を利用できないのはなぜですか。子育て講座も参加禁止になる理由がわかりません。仕事が休みの日に遊びにも行けず苦しいです。</p>	未就学児／母親
土日祝の預かり・病児保育	<p>病児保育があるとありがたい。父母双方の祖父母も遠方のため、病気の時は頼る人がおらず、有休や早退など仕事の方で調整するしかない。</p>	未就学児／母親
	<p>ニセコは自営業者、観光業に従事している人が多いと感じています。そういう人達は土日やお盆、スキーシーズンに繁忙期を迎えるので、そういう時にこそ、保育園等の預かりがあるととても助かります。有料でも構いません。土日祝日、長期の連休（夏休み・冬休み）に子どもを預けられることを願います。</p>	未就学児／母親

小項目	記述内容	調査対象
	土日に就労している場合の保育	未就学児・小学生／母親
	病気の場合でも、急性期を過ぎたら病児保育で預かっていただければ、金銭的な面の不平不満も出ないし、ありがたい。	未就学児・小学生／母親
	病み上がりの時や症状の軽いときに利用できる病児保育があると助かる。	未就学児／母親
	祝日に仕事がある場合や、リフレッシュしたい時などに、幼児センター以外でも子どもを預けられる場所があると助かります。	未就学児／母親
	近くに祖父母が住んでいないので、親が病気になった時、預けられるところがあると助かります。	未就学児／母親
	病児保育の環境を早急に整えてほしい。	小学生／父親

2. 小学校・学童保育（ニセコこども館）について

小項目	記述内容	調査対象
学校教育環境の整備	今回のアンケートとは趣旨が少し異なると思うので詳しくは書かないが、町内の小中学校の現在の教育環境について非常に憂慮している。子どもからは驚くような内情を聞かされるし、周囲の保護者からもこのまま通わせるのは不安だとか、一体どんな指導をしているのかという声をたくさん聞く。 単に教員の指導力不足だと責任を負わせて片付けてはいけない。昔と違って現在の教員は立場が弱く、子どもの問題行動が増長しやすい。教員の手余りに、いかに対処し改善していくか、システムづくりが重要だ。 学校評価アンケートや体罰調査などという表面的・形式的なものではなく、匿名でプライバシーに配慮しつつ、もっと深掘りして生徒児童や保護者からしっかりと意見・要望を聞き取り、早急に教育環境の改善を進めてもらいたい。	小学生／母親
	小中学校を含む公共施設のユニバーサルデザインに対する理解をもっと深めてほしいと思います。	小学生／母親
	図書館をもっと充実させてほしい（大型化、近代化、蔵書を増やす等）。	小学生／母親
教育・進学 の選択肢の 多様化	子供の進学の選択肢がないことに不安がある。	小学生／父親
	子どもが小学生までは、自然も豊かで良い町だと思うけれど、中学、高校と上がるにつれて進学の選択肢が少なく、不安が出てくる。	小学生／母親
学童保育の 充実（利用 人数・学年）	学童保育の利用可能人数や学年を増やしてほしい。	小学生／父親
	年末年始の学童保育（ニセコこども館）を1月4日から開始してほしい。今年は子どもを会社に同行させたが、大変だった。	小学生／母親

3. 子育て支援全般について

小項目	記述内容	調査対象
習い事に関すること	幼児向けの習い事や教室がないので、環境を整えてほしいです。広い体育館や公認グラウンド、町営プール、スキー場など場所は多くあるように思います。ニセコ在住で教える先生やコーチがいなくても、後志管内で出張コーチをしている方もいます。ニセコで体操教室を検討しているコーチはニセコ町に問い合わせ窓口がなく、また、教室開催の受け入れ体制がないため、開催を断念したようです。小学生以上になるとスポーツ少年団等がありますが、幼児向けにはないのが非常に残念です。幼少期の習い事は心身共に成長する良い刺激となります。是非、教室を開催する制度やコーチの招待、受け入れ体制等を検討していただきたいです。	未就学児／母親
	習い事が少ないのが残念。	未就学児／母親
	スポーツ少年団の選択肢が少ない。書道教室がない。適応指導教室を作るべき	小学生／父親
	核家族や母子家庭が多く、コミュニティが狭いためお互いに助けあっていく文化が自然とできており、学童保育なども柔軟に対応してくれているのでとても助かっている。 子どもが年少の時、小学1年生が入れるスポーツクラブが少なく困った。現在はどのスポーツ少年団もコーチが減少しており、継続が難しくなっている。地域おこし協力隊などでスポーツ少年団の監督・コーチを雇ってほしい。佐賀県では元アスリートや現役アスリートへの誘致・招致に力を入れ、スポーツでまちおこしをしているところがあると聞いた。ニセコ町もコンパクトであるがゆえの良さを活かし、そのような活動も視野に入れていただけたらと思う。	小学生／母親
	スイミングやダンス、バイオリン・ギター演奏など、子どもがやってみたいと思う習い事に通わせてあげたいけれど、その施設がなく、先生もいないのは都会に比べて不利だなとも思う。	小学生／母親
	職場や友人、ご近所には非常に恵まれていると感じており、ひとり親で大変だと思ったことは一度もありません。しかしながら、習い事や、プールなどの施設が充実していただいたいと感じることはあります。	小学生／母親
仕事と育児の両立・経済的支援	仕事と育児の両立は無理だと気づいたが、周囲から両立できるよね？という圧力を感じる中で働くことが本当につらい。	未就学児／母親
	お米券などの支援があり大変助かります。ありがとうございます。	未就学児／母親
	共働き世帯が増えているので、もう少し現代社会に沿った支援をしてほしい。	未就学児・小学生／母親
	・幼児センターの利用料は厚生労働省で決まっていると思うが、病気などで月に半分近く休む時もあり、給食費も含めて高く、腑に落ちない面がある。 ・小学生対象の町主催の行事がたくさんあって嬉しいが、申込が平日日中なので年休を取らなければ申込ができない。子どもたちの病気で年休も食い込んで取得しているため、年休は使いたくない。メールや FAX、オンラインなど別の方法での申込を検討してほしい。	未就学児・小学生／母親
	自営業者に対する産休や育休の手当を条例などで作れないか、補助給付金を作れないかと思いました。 自営業は補償がないため、自力で金策をして乗り越えます。当たり前かもしれませんが、だからこそ産後も休めないし、休まないです。少子化対策というならば、本当は国単位でそのような制度を作してほしいです。	未就学児・小学生／母親

小項目	記述内容	調査対象
	金銭的な不安が大きい。	未就学児／ 父親
	子どもがまだ小さいので答えられないことがある。2024年に育休が終わる予定だが、復帰後の勤務時間が決まっていない。週に2～3日だけ働きたい。	未就学児／ 母親
	給食費の無償化を早急に実現いただきたいです。	小学生／ 父親
	ニセコこども館の利用料が高すぎる。学校給食費も高い。	小学生／ 母親
家事代行サービス等	ニセコ町は実家が遠方の人も多いため、子どもをみる支援だけでなく、食事づくりや掃除などの家事代行などのサービスがあってほしいと切に願っている。	未就学児／ 母親
	仕事を終えて帰ってから子どもが寝るまで、ノンストップで忙しい。配食サービスやこども食堂があったらいいなと思いました。	未就学児・ 小学生／ 母親
	子どもは元気で親が病気になった時に世話をしてくれる人がいないのも大変。食事や家事のサポートをしてくれる代行サービスがあると助かる。	未就学児／ 母親
	「子育て支援」に関しては不満に感じたことは今のところさほどありません。ただ都会のように家事代行やテイクアウト、フードデリバリーなどのサービスが少なく、また、家事は自分でするものという認識になっていると思います。仕事と育児を中心にしたいところですが、今は育児をどなたかに任せるしか仕事と家事を両立する選択肢がないのが悩みです。子どもとはできるだけ過ごし、かつ仕事はもっとするというのがなかなか叶わないのがニセコの難しいところだと思っています。どれほど同じ考えの方がいるかわかりませんが、家事サービスが増えれば、育児もよりスムーズになるのではと考えます。	未就学児／ 母親
子育て支援全般	教育の第一義的な責任は親にあるのに、託児所ばかり増やし、結果的に親から教育する能力を奪い取っているようにしか見えない。	未就学児・ 小学生／ 母親
	外国語を使った保育・子育てを望む。	未就学児／ 父親
	ニセコ町での子育ての環境がとても良いです。幼児センターや体育館、公園、隣人もとても良いです。ありがとうございます。	未就学児／ 父親
	これからの時代を生きる子どもたちにとって、その基礎となる社会構造はとても重要であり、前例は参考にならないこともあります。保守的なだけでは変化に対応できません。柔軟で進歩的、寛容な変化を希望します。まずは、もっと勉強と教養を深める取り組みを希望します。	小学生／ 母親
	上の子の時代に比べると、今の子育て環境は改善されてきていると思います。	小学生／ 母親
	ニセコ町は、そこまで子育てに対して力を注いでいないと感じる時が度々あります。せっかく世界のニセコという名前がありながら田舎臭いのは残念です。	小学生／ 母親
	不登校児への対応があまり明確ではなく、不登校児の受け入れ機関が全くなく不安です。 全国的にも色々な制度が整ってきています。このような小さい町では人員的にもなかなか難しいことも理解しているつもりではありますが、何か少しずつでも検討していただきたいです。	小学生／ 母親

4. 遊び場・居場所について

小項目	記述内容	調査対象
公園・広場・室内遊び場・スポーツ施設の充実	公園、スーパー、病院等をもっと増やしてほしい。	未就学児／母親
	有料で構わないので、町内に屋内のキッズパークがほしい。旧宮田小学校の体育館は利用できないのかと思う。	未就学児／父親
	真狩のフラワーセンターの奥の室内遊び場は、素敵な空間だと思う。あれくらいの広さがあれば幼児は充分遊べ、お昼ご飯もそのままその場で食べられるのは大変ありがたい。隣には公園もあるので、兄弟で大きい子がいても遊びに飽きないし、春や秋の風が冷たい時期は小さい子にとって室内で遊べることは心強い。ニセコにも室内遊び場と飲食できるスペースとが一体となった場があるといい。現状では総合体育館か、ニセコ中央倉庫群かだが、後者は会議等をする方も利用しているようで気を使う。総合体育館の遊戯室は狭くて危険。	未就学児・小学生／母親
	・近隣町村では幼児から中学生までシーズン券が無料になる補助がありますが、ニセコでは今後どのような補助を検討していただけますか？幼児向け、一緒に行く保護者向けの補助があると嬉しいです。 ・1番遊具の多い「ちびっこ広場」でも、遊具が次々に破損して撤去されたり使用不可のテープが貼っていたりしているので、もう少し遊具を充実させてもらえると幸いです。北海道も夏の暑さが異常になってきているので、噴水や水遊びができる公園があると最高です。	未就学児／母親
	子どもが遊べる場所が増えてほしいです。特に冬は行くところがなく困ります。国際協力隊員のお力を借りて、子ども英語教室があるといいと思います。「おひさま」は幼児センターに入所すると利用できないので残念です。簡単に子育てについて相談できる環境が整っていないと感じます。支給されるはずの児童手当が支給されていないことがありました。児童手当も子育て支援の一環であると考えます。同じ事例が発生しないよう、システムの改善を求めます。	未就学児／母親
	子どもが遊ぶ場所が少ない。特に公園は幼いこどもが遊ぶ遊具がないため、遠方まで連れて行かなければいけない状況。冬場も遊べるところがないので、屋内施設ができればありがたい。南幌町にある施設がいい例だと思う。	未就学児／母親
	雪の季節が長い地域なので、旭川市のような室内遊び場を充実させてほしい。スキーがメインの遊びなので、せめて幼児の間はリフト券を無料にしてほしいのと、無料になるのであれば、シーズンの無料パスがほしい。公園の遊具を八雲の様に充実させてほしい。冬季でも使用できる、室内プールがほしい。どれぐらい施設が充実しているかで、子どもの身体能力の伸び方が変わると思います。	未就学児／母親
	特に冬場の子どもの遊び場がない。	未就学児／母親
	冬季に遊べる場所が少ない。ニセコ町で水遊びができる場がほしい。	未就学児／母親
	冬季の日曜・祝日のみに室内で遊べる場所の運営をもう少し増やしてほしい。	未就学児／母親
雨の日や冬季間、遊ばせる場所がないのが困ります。夏場、水遊びができるところができたらうれしいです。	未就学児・小学生／母親	

小項目	記述内容	調査対象
	冬場、無料で予約を必要としない、小さい子が騒いで自由に遊べる室内遊び場があるといい。今、町内で利用できる場所は誰でも利用できるのはいいが、騒がしくする子を持つ親としては他の人の目が気になる。	未就学児・小学生／母親
	役場のキッズスペースについて、子どもの気晴らしや悪天候の時に利用させていただいていますが、子どもは遊び場という認識で利用しているので、どうしても騒いでしまいます。そういった時にやはり役場職員の方の目が気になります。体育館の遊具の配置をもう少し考えていただきたいです（遊戯室の入り口の前にぶら下がり遊具があるが、間隔が狭すぎて接触事故が起こりかねない）。何年も直らない「ちびっこ広場」の遊具を修繕してほしいです。	未就学児／母親
	通年使えるプールがあってほしい（伊達市のようなスポーツ施設）。「あそぶっく」の増設もしくは移転させ、本数を増やしてほしい。	未就学児・小学生／母親
	キドキド（屋内遊び場）のような、冬に屋内でも小さな子どもが遊べる施設があったら嬉しい。	未就学児／母親
	公園の遊具、水遊び場などの整備を希望。また、雨天時や冬の悪天候時などにも子どもを遊ばせることができる施設がほしいです。	未就学児・小学生／母親
	公共の遊び場を増やしてほしい。 町内の歩道を増やしてほしい。	未就学児／父親
	休日に屋内で遊べる施設がほしい。	未就学児／母親
	通年で利用できるプールができると嬉しい。	未就学児／母親
	昔と比べてファミリー・サポート・センター等もでき、必要な時に子どもを見てもらえたりする機会は増えているように感じます。公園施設（アスレチック）が古かったり、壊れているため、近隣町村に連れて行くことが多いので、「ちびっこ広場」の改修をしてもらえともっとニセコで楽しめるようになるとと思います。	未就学児／母親
	ニセコ町の公園、「ちびっこ広場」にももう少し遊具など置いてほしい。噴水を直してほしい。体育館以外に室内で遊べる場所やトランポリン施設がほしい。中央倉庫群の遊び場は若い子ども向けすぎる。	未就学児／母親
	子どもの遊ぶ場所が特に冬は少な過ぎる。一時保育が月12回までとなっているが、冬は全く預けることができない。また、保育園の待機児童が多く、仕事が決まったが働けなかった。せめて一時保育の回数は上限の12回までは利用できるようにしてほしい。	小学生／母親
	子どもたちが冬季に室内で身体を動かす場所がなく、自由な時間に利用できない。土日に総合体育館でボールを蹴るなどの遊びが禁止なのは残念。半面だけでも許可してほしい。	小学生／母親
	小学校高学年より上の学年が遊べる、冬場の室内遊具があると嬉しい。	小学生／母親
	もっと子どもが遊べる場所を充実させてほしい。夏に水遊びができる場所や大人と一緒にいけるようなプール施設がほしい。	小学生／母親
	通年で利用できるプールを建設してほしい。	小学生／母親
	プールなどの施設が充実していただいたい。	小学生／母親

小項目	記述内容	調査対象
居場所づくり (子ども 食堂・カフ ェ等)	子どもたちの遊びと親同士のコミュニティが広がる場所がほしい。遊び場と親同士が目を配りながら一息つけることが同時にできる場所が少ない。	未就学児/ 母親
	高齢者との交流 障害者の理解	未就学児・ 小学生/ 母親
	子ども食堂があったり、子どもや障害のある人、高齢者が気軽に集えるカフェが常設であるといい。	小学生/ 母親
	中高生が遊んだり、憩う場所があってほしい。カフェをもう少しリーズナブルな料金で会話を楽しめる場所にしてほしい。	小学生/ 母親
イベントの 充実	ニセコミライでやっていた雪で遊ぶイベントが良かったので、定期であると嬉しい。	未就学児/ 母親
	週末の子どものイベントを増やしてほしい。	未就学児/ 父親
	周辺の自治体のイベント情報をアナウンスしてほしい。	未就学児/ 母親
	公で洋服やおもちゃ等のおさがりを譲渡するイベントや場があると嬉しい。	未就学児/ 母親
	大人向けのおしゃれなキッチンカーが集まるお祭りや音楽フェスティバル等の開催は多いように感じますが、子どもが楽しめるお祭りは少ないと思います。子どものお小遣いで楽しめる縁日、子ども和太鼓、子ども用の神輿、子どもが主役になれるようなお祭りがあれば嬉しいです。	未就学児/ 母親

5. 生活環境について

小項目	記述内容	調査対象
買物に関する こと	公園、スーパー、病院等をもっと増やしてほしい。	未就学児/ 母親
	ニセコ町内に大型スーパーがないため、俱知安まで行かなければならず、小さい子どもを連れて行くのがとても不便である。特に冬はニセコビュープラザで野菜を買うこともできないので不便。	未就学児/ 母親
	日用品の一通り揃う、中～大型のスーパーができれば嬉しいです。	未就学児・ 小学生/ 母親
	買い物するところ（外食も）が少なく、冬場は特に不便を感じています。近場で品揃えの良いスーパーなどがあると助かります。	未就学児/ 母親
通学路の交 通安全・治 安の維持	観光客や外国人が多くなり、治安が悪くなったと感じます。 特に、自動車の運転の仕方や標識を守らないなどを日に何度も目撃します。 歩道のない道を歩く観光客や、信号が赤でも通過する車もいます。通学路の交通安全強化を望みます。	小学生/ 母親
	小学校を出て町民センターへ行く時に横断歩道をわたらない子どもが多いので、信号をつけてほしい。役場の方もそのままわたっていて、子どもは真似をしているように感じます。	小学生/ 母親
医療の充実	妊婦健診を全て無料にしてくれたら助かります（せめて町からの健診クーポンにエコーを全健診分ほしいと思いました）。	未就学児/ 母親
	近隣の医療施設が乏しいので、充実してほしい。皮膚科、眼科、耳鼻科など、子どもがかかりやすいところの専門病院があるとありがたい。	未就学児・ 小学生/ 母親
	救急時に受け入れてくれる病院がない（様子を見てと言われる）	未就学児/ 母親
	現状では片道1時間以上かけて町外に受診に行き、その受診先も混んでいます。体調不良の子どもを連れての長時間の移動や受診はとても困難です。小規模でも良いので専門的な診察治療（特に小児科領域）を希望します。	未就学児・ 小学生/ 母親
	小児科がなく、病気の時に適切にみてくれる医療機関がない。	未就学児・ 小学生/ 母親
	小児科が町内にあったらいいなと思います。	未就学児/ 母親
	町内の子ども医療の充実を図ってほしいです。体調などに大事があっても、信頼のおける小児科などが無いことが悩みです。	小学生/ 母親
バスの充実	ニコットバスの増便	未就学児・ 小学生/ 母親
	急な仕事で習い事の迎えが行けない時、デマンドバスがつかなくなり不便。	小学生/ 母親
	近藤小の生徒は学童保育に行くまで、小学校で1時間ほどバスを待たなければいけません。そのため、「あそぶっく」でのイベントなどに近藤小の生徒が参加できません。近藤小の子どもたちがニセコ小の子どもたちと同じサービスが受けられるよう、下校時のバス時間の変更を求めます。	小学生/ 父親

6. その他

小項目	記述内容	調査対象
アンケートに関すること	<p>個人を特定できるアンケートに疑問を感じる。</p> <p>子育て支援事情のアンケートとして、これだけ細かくアンケートをとっていただけるのはありがたいと思いますが、子育て中の我々にとってこのアンケートは項目が多すぎました。また、この自由回答のために102項目答えました。もう少し項目を減らすこともできると思います。また、ハガキではなく CoDMON（コドモン）から直接アンケートにつながるようにしていただくと、回答が楽になります。</p> <p>そしてこれだけ真剣に答えているからこそ、町民から得た回答が今後反映されると嬉しいです。子育てにニセコを選んで良かった、と思えるような町であってほしいです。</p> <p>外の人からカッコよく見える必要はなく、実際に住んでいる町民（未来あるニセコの子ども）に優しい町でありますように。</p>	未就学児・小学生／母親 未就学児／母親
その他	<p>障害者の理解の促進</p> <p>オムツゴミを週に2回収してほしいです。</p>	未就学児・小学生／母親 未就学児／母親

資料編

1. 就学前児童のいる世帯へのアンケート調査票

【おもな保育事業等の内容】

回答するときの参考にしてください。ただし、町で実施していない事業も含まれます。

事業名	事業内容
幼稚園※ (通常の通園時間)	幼稚園の通常の通園時間でお子さんを預かる事業です。
幼稚園の預かり保育※	幼稚園で、通常の通園時間を延長してお子さんを預かる事業です。
認可保育所※	道の認可を受けた保育所で、お子さんを預かる事業のことです。
認定こども園	同じ施設内に幼稚園部と保育所部を合わせ持つ施設で、保護者の状況により幼稚園部または保育所部でお子さんを預かる事業です。
保育ママ (家庭的保育事業)	認定した保育ママが自宅等でお子さんを預かる事業のことです。
小規模保育事業	自治体の認可を受けた事業で、就学前のお子さんを6～19人の定員で預かる事業です。
事業所内保育事業	事業所(企業)が従業員の皆さんと、一部、地域住民のお子さんを保育する、自治体の認可を受けた事業です。
企業主導型保育事業	事業所(企業)が多様な就労形態に対応するための保育事業で、従業員以外に地域のお子さんを預かることができる保育施設です。
認可外保育施設	認可保育所以外の、お子さんを保育する施設です。
ベビーシッター	保育者がお子さんの自宅に訪問して、お子さんの世話をする事業のことです。
ファミリー・サポート・センター※	「子育ての支援を受けたい人(依頼会員)」と「子育てを支援できる人(提供会員)」が会員登録をし、用事があるときなどに依頼会員がファミリー・サポート・センターに連絡し、センターが橋渡し役となり、提供会員が一時にお子さんの世話を有料で援助する会員組織です。(おもな対象年齢0歳～小学生まで)
延長保育	保育所や認定こども園等で、保護者の方の就労時間増加等への対応として、通常の保育時間を延長してお子さんを預かる事業です。
一時預かり保育※ (一時保育)	保育所等を利用していない保護者の方が就労、疾病や冠婚葬祭などの理由のため、家庭での保育ができない場合に、お子さんを一時的に預かる事業です。
病児保育・病後児保育	お子さんが病気がかかっていたり、病気の回復期にあたり、通常の集団保育(幼稚園や保育所などへの通園(所))が難しい場合に、一時的にお子さんを預かる事業です。
休日保育※	保護者の方が就労等により、休日に家庭で保育できないお子さんを預かる事業です。
学童保育※ (二セコこども館)	就労等により保護者の方が、昼間家庭にいない小学生のお子さんを対象に、生活の場を提供する事業です。
放課後子ども教室※	すべての子どもを対象として、安心・安全な子どもたちの居場所を提供し、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ、文化芸術活動、地域住民との交流活動等の取組をするものです。
子育て支援センター※	親子が気軽に集まることのできる場で、子育て中の保護者の交流や子育て・保育の知識や経験がある専任の職員による育児相談等を行っています。

※=町で実施している保育事業

子育ての環境に関するアンケート調査について

～「二セコ町子ども・子育て支援事業計画」策定のためのニーズ調査へのご協力をお願い～

就学前児童のいる世帯

皆さまには、日頃より町政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本町では「子育て支援」のためのさまざまな施策を実施しておりますが、令和6年度に新しい子育てに関する計画(注1)を策定することとなりました。そこで、子育て中の町民の皆様のご意見をできるだけ反映するため、今回、「就学前のお子様のいる世帯」と「小学生のお子様のお子様のいる世帯」の皆様に対象にアンケート調査を実施します。

このアンケート調査では、二セコ町のお子さん達が、どのぐらいの保育ニーズがあるかなどについて把握することを目的としています。いただいた情報はもとに、ニーズ量の推計等を行い、町の子育て環境について計画・整備していきたいと考えています。

なお、ご回答いただいた内容は、回答者個人が特定されたり、個々の回答がほかにもれたり、ほかの目的に利用されることは一切ありません。皆さまの率直なご意見をお聞かせください。

ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和6年1月

二セコ町長 片山 健也

(注1) 令和7～11年度の第3期二セコ町子ども・子育て支援事業計画

【ご記入にあたってのお願い】

- この調査は無記名です。(アンケートにお名前を書いていただく必要はありません)
- 本アンケートは、就学前のお子さん及び小学生のお子さんがいらないや、「お子さんの保護者の方」が回答ください。
- アンケートへの回答は、下記 QR コードまたは URL からアクセスいただき、ID をご入力いただいてからご回答ください。
※IDは重複回答を避けるためのもので、回答者を特定するものではありません。

QRコード	
URL	https://forms.gle/jjXR3DCQMjxZ1QNr8
ID	●●●●●●●●

- アンケートへの回答は、選択肢に✓をつけてお選びいただく場合と、数字などをご入力いただく場合があります。また、「その他」の場合は「」内に具体的な内容をご入力ください。
- 数字で時間を記入する場合は、24時間制(例:午後6時→18時)でご記入ください。
- 設問によっては回答していただく方が限られる場合がありますので、「ことわり書き」や「失印」に従って回答ください。特に「ことわり書き」などが無い場合は次の設問にお進みください。
- 回答は回答期限までをお願いします。

回答期限: 2月9日(金)まで

◎本調査への質問または不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

二セコ町教育委員会 ことも未来課 ことも未来係

電話: 0136-44-2101 (代表)

A. お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区を選んで、あてはまる番号 1つに○をつけてください。
 1. ニセコ小学校区
 2. 近藤小学校区

B. お子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 就学前のお子さんの生年月月をご記入ください。([] 内に数字をご記入ください。) 就学前のお子さんが2人以上いる場合、一番幼いお子さんの生年月月をご記入ください。
 就学前 (小学校入学前) のお子さん 平成・令和 [] 年 [] 月 生まれ

問3 就学前のお子さん全員の人数について、あてはまる番号 1つに○をつけてください。
 就学前 (小学校入学前) のお子さん 全部で [1・2・3・4・5・6・7] 人

問4 この調査票にお答えいただく方はどなたですか。お子さんからみられた関係であてはまる番号 1つに○をつけてください。
 1. 父親
 2. 母親
 3. その他()

問5 この調査票にお答えいただく方は何歳代ですか。あてはまる番号 1つに○をつけてください。
 1. 10代 3. 30代 5. 50代 7. 70代以上
 2. 20代 4. 40代 6. 60代

問6 現在、一緒にお住まいの方はあなたを含めて何人ですか。あてはまる番号 1つに○をつけてください。また、お子さんは、年齢にかかわらず何人いますか(妊娠中も含みます)。お子さんのみの人数もあてはまる番号 1つに○をつけてください。
 同居の家族全員 [2・3・4・5・6・7・8・9] 人
 お子さんのみの人数 [1・2・3・4・5・6・7] 人

問7 お子さんと一緒に住んでいる同居家族の構成員について、あてはまるものすべてに○をつけてください。
 続柄はお子さんからみられた関係でお答えください。
 1. 父 3. 兄弟・姉妹 5. 祖母
 2. 母 4. 祖父 6. その他()

問8 お子さんの祖父母との近居(交通手段を問わず、おおむね30分以内程度に行き来できる範囲)の状況について、あてはまるものすべてに○をつけてください。続柄はお子さんからみられた関係です。祖父または祖母と同居している場合は、「3. 近居の祖父母はいない」を選択してください。

1. 祖父近居
 2. 祖母近居
 3. 近居の祖父母はいない

問9 この調査票にお答えいただいている方の配偶関係についてお答えください。あてはまる番号 1つに○をつけてください。
 1. 配偶者がいる
 2. 配偶者はいない

問10 お子さんの子育て(教育を含む)をおもに行っているのはどなたですか。お子さんからみられた関係であてはまる番号 1つに○をつけてください。
 1. 父母両方 3. おちに母親
 2. おちに父親 4. おちに祖父母
 5. その他()

C. 保護者の就労状況についてうかがいます。

※問 11～15 は、父親・母親それぞれについてお答えください。ひとり親の方は、ご自身に関する設問のみお答えください。

問 11 お子さんの保護者の就労状況(自営業の方とその家族従事者を含む)についてうかがいます。

1. 父親(あてはまる番号 1つに○)	2. 母親(あてはまる番号 1つに○)
1. フルタイム(週5日程度・1日8時間程度)で就労しており、育児・介護休業中ではない	1. フルタイム(週5日程度・1日8時間程度)で就労しており、育児・介護休業中ではない
2. フルタイム(週5日程度・1日8時間程度)で就労していたが、育児・介護休業中である	2. フルタイム(週5日程度・1日8時間程度)で就労していたが、育児・介護休業中である
3. フルタイム以外の短時間(週5日未満・1日8時間未満)で就労しており、育児・介護休業中ではない	3. フルタイム以外の短時間(週5日未満・1日8時間未満)で就労しており、育児・介護休業中ではない
4. フルタイム以外の短時間(週5日未満・1日8時間未満)で就労していたが、育児・介護休業中である	4. フルタイム以外の短時間(週5日未満・1日8時間未満)で就労していたが、育児・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. 今まで就労したことがない	6. 今まで就労したことがない

問 11-1 問 11 で「1」から「4」に○をつけた方にかがいます。就労日数と就労時間、おおむね家を出る時間、帰宅する時間についてお答えください。それぞれ数字 1つに○、または、「」内に数字をご記入ください。時間は、必ず(例)14時～22時のように24時間制でご記入ください。就労時間が9時間以上の場合は、「8」に○をつけてください。育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1. 父親 (それぞれ数字 1つに○、または数字を記入) 1週あたり [1・2・3・4・5・6・7] 日 1日あたり [1・2・3・4・5・6・7・8] 時間	2. 母親 (それぞれ数字 1つに○、または数字を記入) 1週あたり [1・2・3・4・5・6・7] 日 1日あたり [1・2・3・4・5・6・7・8] 時間
1. 通勤している ⇒ おおむね家を出る時間 [] 時 ⇒ おおむね帰宅する時間 [] 時 2. 通勤していない ⇒ おおむねの始業時刻 [] 時 ⇒ おおむねの終業時刻 [] 時	1. 通勤している ⇒ おおむね家を出る時間 [] 時 ⇒ おおむね帰宅する時間 [] 時 2. 通勤していない ⇒ おおむねの始業時刻 [] 時 ⇒ おおむねの終業時刻 [] 時

問 11-2 問 11 で「1」から「4」に○をつけた方にかがいます。お仕事の就業形態について、年間を通じておもにあてはまる番号 1つに○をつけてください。

1. 父親(あてはまる番号 1つに○)	2. 母親(あてはまる番号 1つに○)
1. 正規の職員・従業員 2. パート・アルバイト・契約社員・嘱託職員など 3. 派遣社員 4. 自営業主 ※1 5. 家族従業者 ※2 6. 1-5の選択肢にあてはまらない形態 ()	1. 正規の職員・従業員 2. パート・アルバイト・契約社員・嘱託職員など 3. 派遣社員 4. 自営業主 ※1 5. 家族従業者 ※2 6. 1-5の選択肢にあてはまらない形態 ()

※1 自営業主とは、個人で事業を営んでいる人(農家などを含む)や自由業の人をいいます。
 ※2 家族従業者とは、自営業主の家族で、その事業に直接従事している人。個人の商店や飲食店、個人経営の民宿やペンション、農家などで家業を手伝って直接仕事をしている人のことをいいます。

問 11-3 問 11 で「3」または「4」（フルタイム以外の短時間で就労している）に○をつけた方にかがいます。今後の就労についての希望をお聞かせください。

1. 父親（あてはまる番号 1 つに○）	2. 母親（あてはまる番号 1 つに○）
1. フルタイムへの転換を希望しており、実現の見込みがある	1. フルタイムへの転換を希望しており、実現の見込みがある
2. フルタイムへの転換を希望しているが、実現は難しいと考えている	2. フルタイムへの転換を希望しているが、実現は難しいと考えている
3. フルタイム以外の短時間の就労を続けたい	3. フルタイム以外の短時間の就労を続けたい
4. 就労をやめ、子育てや家事などに専念したい	4. 就労をやめ、子育てや家事などに専念したい

問 11-4 問 11 で「5」または「6」（就労していない、就労したことがない）に○をつけた方にかがいます。今後の就労についての希望をお聞かせください。

1. 父親（あてはまる番号 1 つに○、または「」内に数字を記入）	2. 母親（あてはまる番号 1 つに○、または「」内に数字を記入）
1. 子育てや家事などに専念したい（就労を希望していない）	1. 子育てや家事などに専念したい（就労を希望していない）
2. 1年以上先に、一番下の子どもが「」歳になった頃に就労したい	2. 1年以上先に、一番下の子どもが「」歳になった頃に就労したい
3. すぐでも、もしくは1年以内に就労したい	3. すぐでも、もしくは1年以内に就労したい

問 11-5 問 11-4 で「2」または「3」（就労したい）に○をつけた方にかがいます。

希望する就労形態についてお答えください。

1. 父親（あてはまる番号 1 つに○、または「」内に数字を記入）	2. 母親（あてはまる番号 1 つに○、または「」内に数字を記入）
1. フルタイム（週 5 日程度・1 日 8 時間程度）	1. フルタイム（週 5 日程度・1 日 8 時間程度）
2. フルタイム以外の短時間週 5 日未満・1 日 8 時間未満（12）に○をつけた場合 ⇒週「」日・1 日「」時間程度	2. フルタイム以外の短時間週 5 日未満・1 日 8 時間未満（12）に○をつけた場合 ⇒週「」日・1 日「」時間程度
3. まだ考えていない	3. まだ考えていない

D. 平日的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼児センターや幼稚園、保育所など、問 12-1 に示した事業が含まれます。

問 12 お子さんは現在、幼児センターや幼稚園、保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 利用している ⇒ 問 12-1 へ	2. 利用していない ⇒ 問 12-3 へ
----------------------	-----------------------

問 12-1 問 12-1～問 12-2 は、問 12 で「1. 利用している」に○をつけた方にかがいます。

お子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて毎月利用している事業をお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園（幼児センター以外）	6. 家庭的保育（保育ママ）
2. 幼稚園の預かり保育（幼児センター以外）	7. その他の認可外の保育施設（託児所等）
3. 認可保育所（幼児センター以外）	8. 居宅訪問型保育（ハビレジター等）
4. 幼児センターさくらと（長時間保育）	9. ファミリー・サポート・センター
5. 幼児センターさくらと（長時間保育）	10. その他（「」）

問 12-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1 週あたり何日、1 日あたり何時間（何時から何時まで）かを、それぞれ数字 1 つに○、または、「」内に具体的な数字で記入ください。時間は、必ず例)9 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。

(1) 現在の利用状況

1 週あたり「1・2・3・4・5」日	1 日あたり「」時間（始「」時台～終「」時台）←（記入例）9 時台～18 時台
(2) 希望する日数・時間・時間帯	
1 週あたり「1・2・3・4・5」日	1 日あたり「」時間（始「」時台～終「」時台）←（記入例）9 時台～18 時台

問 12-3 問 12 で「2. 利用していない」に○をつけた方にかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 利用する必要がない（子どもの教育や発達に際するため、母親が父親が就労していないなどの理由）
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、希望する教育・保育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の利用時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため、「1・2・3・4・5」歳くらいになったら利用しようと考えている （1 年以内に○をつけてください。2 人以上のお子さんがある場合、一番若いお子さんを中心にお答えください。）
9. その他（「」）

問 13 すべての方にかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日的な教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※幼児センターの場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。また、定員の関係により希望の事業を利用できない場合があります。

1. 幼稚園（幼児センター以外）	8. 事業所内保育施設
2. 幼稚園の預かり保育（幼児センター以外）	9. 企業主導型保育施設
3. 認可保育所（幼児センター以外）	10. その他の認可外の保育施設（託児所等）
4. 幼児センターさくらと（短時間保育）	11. 居宅訪問型保育（ハビレジター等）
5. 幼児センターさくらと（長時間保育）	12. ファミリー・サポート・センター
6. 小規模な保育施設	13. その他（「」）
7. 家庭的保育（保育ママ）	

E. 地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問 14 国が検討している「こども誰でも通園制度(仮称)※」が創設された場合、週に何日くらい利用したいと思えますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

また、「1. 利用したい」を選択した場合は、「」内に具体的な日数、時間数及び時間帯を数字でご記入ください。時間は、必ず(例)9 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料が発生する場合があります。

1. 利用したい
⇒ 週 [] 日・1 日 [] 時間
利用したい時間帯 [] 時から [] 時まで
2. 利用する必要はない

※「こども誰でも通園制度(仮称)」とは、普段保育所や幼稚園等を利用していない未就学児童(0 歳 6 か月から 2 歳まで)を、月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず、保育所等で定期的に預かることで、時間単位等で柔軟に利用できる新たな通園制度です。

問 15 おじさんは、現在、地域子育て支援センター「おひさま」(親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場)を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数(頻度)を「」内に数字でご記入ください。

1. 子育て講座	年間 [] 回数 []
2. おひさまひろば	1 か月あたり [] 回数 []
3. ここにご相談	年間 [] 回数 []
4. 保育開放	年間 [] 回数 []
5. 利用していない	⇒ 問 15-1 へ

○参考:ニセコ町地域子育て支援センター「おひさま」

(小学校入学前のお子さんとその保護者が利用できます)

実施事業等の名称	場 所
地域子育て支援センター(子育て講座)	ニセコ町幼児センター
地域子育て支援センター(おひさまひろば)	「きらっと」施設内
地域子育て支援センター(ここにご相談)	(ニセコ町富士見 17)
地域子育て支援センター(保育開放)	

問 15-1 問 15 で「5. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由はおもに何ですか。あてはまる番号 3 つまでに○をつけてください。

1. 自宅の近くにないため	6. 地域子育て支援センター自体を知らないため
2. 子どもがまだ幼く不安なため	7. 場所は知っているが入るのがためられるため
3. ほかの保護者と交流するのが不安なため	8. その他
4. 利用の仕方がわからないため	()
5. 場所がどこにあるかわからないため	

問 16 地域子育て支援センター「おひさま」について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思えますか。あてはまる番号 1 つに○をつけて、おおよその利用回数(頻度)を「」内に数字でご記入ください。

1. 利用していないが、今後利用したい	1 か月あたり [] 回数 []
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	1 か月あたり [] 回数 []
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	

問 17 下記の事業を知っていたり、これまでに利用したことはありませんか。また、今後、利用したいと思えますか。①～⑦の事業ごとに、A～Cのあてはまる番号それぞれ 1 つずつに○をつけてください。

また、①～⑦の事業で、行政に対して重点的な取組を期待するものについて、D 欄に 2 つまでに○をつけてください。

事業名称等	【A】知っている		【B】これまでに利用したことがある		【C】今後利用したい		【D】重点的な取組を期待
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	
【記入例】講座・相談事業							
① ここにご相談	①	2	1	②	①	2	2 つまで○
② 子育て講座	1	2	1	2	1	2	
③ おひさまひろば	1	2	1	2	1	2	
④ 出張遊び教室	1	2	1	2	1	2	
⑤ 休日保育	1	2	1	2	1	2	
⑥ 一時保育事業	1	2	1	2	1	2	
⑦ ニセコ子育て MAP	1	2	1	2	1	2	

F. 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問 18 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的に幼児センターや保育所などの利用希望はありますか(一時的な利用は除きます)。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

また、希望がある場合は、利用したいおおよその時間帯を、(例)9 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※ここでは、親族・知人による預かりは含みません。

(1)土曜日

1. ほぼ毎週利用したい	⇒ 利用したい時間帯
2. 月に 1～2 回は利用したい	[] 時から [] 時まで
3. 利用する必要はない	↑ (記入例)9 時から～[18] 時まで

(2)日曜日・祝日

1. ほぼ毎週利用したい	⇒ 利用したい時間帯
2. 月に 1～2 回は利用したい	[] 時から [] 時まで
3. 利用する必要はない	↑ (記入例)9 時から～[18] 時まで

問 19 「幼児センター(短時間保育)または「幼稚園」を利用されている方に向かって、お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の幼稚園の預かり保育の利用を希望しますか。あてはまる番号 1 つに○をつけて、希望がある場合は、利用したいおおよその日数を [] 内に数字でご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用したい ⇒ 利用したい日数 月 25 日 中 [] 日
 2. 利用する必要はない

G. 病氣やケガの際の対応についてうかがいます。(平日の教育・保育を利用する方のみ)

⇒ 平日の教育・保育を利用していない方は、問 21 にお進みください。

問 20 平日の定期的な幼児センターや幼稚園、保育所などを利用している保護者の方(問 12 で「1」に○をつけた方)にうかがいます。

この 1 年間に、お子さんが病氣やケガで幼児センターや幼稚園、保育所などの事業が利用できなかったことはありますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. あった ⇒ 問 20-1 へ 2. なかった ⇒ 問 21 へ

問 20-1 問 20 で「1. あった」に○をつけた方に向かってうかがいます。

お子さんが病氣やケガで普段利用している幼児センターや幼稚園、保育所などが利用できなかった場合、この 1 年間に行った対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も [] 内に数字でご記入ください。(半日程度の対応の場合も 1 日とカウントしてください。)

1 年間の対処方法	日数 (年間)
1. (お子さんからみた関係) 父親が休んだ	年間 [] 日
2. (お子さんからみた関係) 母親が休んだ	年間 [] 日
3. 親族・知人(同居者を含む)に子どもをみてもらった	年間 [] 日
4. 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	年間 [] 日
5. 病氣やケガの子どものための病児・病後児保育を利用した	年間 [] 日
6. ベビーシッターを利用した	年間 [] 日
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	年間 [] 日
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	年間 [] 日
9. その他()	年間 [] 日

問 20-2 問 20-1 で「1」または「2」に○をつけた方に向かってうかがいます。

「病氣やケガの子どものための病児・病後児保育を利用したい」と思われましたか。あてはまる番号 1 つに○をつけ、日数について(おおよそ) [] 内に数字でご記入ください。なお、病氣やケガの子どものための保育事業等の利用には、一定の利用料がかかりますが、お子さんの健康状態を把握しておくため、事前の登録等が必要となります。

1. 病氣やケガの子どものための病児・病後児保育を利用したい ⇒ 年 [] 日 ⇒ 問 20-3 へ
 2. 利用したいとは思わない ⇒ 問 20-4 へ

問 20-3 問 20-2 で「1. 病氣やケガの子どものための病児・病後児保育を利用したい」に○をつけた方に向かってうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 小児科等の医療機関に併設した施設で子どもを保育する事業
 2. 幼稚園・保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業
 3. 地域住民等が子育て家庭の自宅などで保育する事業 (例:ファミリー・サポート・センター)
 4. その他 ()

問 20-4 問 20-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方に向かってうかがいます。そう思われる理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病氣やケガの子どもを他人にみてもらうのは 4. 親が仕事を休んで対応できる
 不安
 2. 病児・病後児保育事業の内容に不安がある ()
 3. 利用料がかかる・高い 5. その他 ()

H. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問 21 お子さんについて、日中の定期的な保育や病氣のため以外に、保護者の通院、不定期な仕事などを理由に、不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、1 年間の利用日数(おおよそ) [] 内に数字でご記入ください。

利用している事業	日数 (年間)
1. 子育て支援センター(おひさま)での一時預かり(普段幼児センター等の利用がない方の一時的に子どもを保育する事業)	年間 [] 日
2. 幼児センター(短時間保育)や幼稚園の一時預かり(一時保育)(リフレッシュ等で一時的に子どもを保育する事業)	年間 [] 日
3. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	年間 [] 日
4. ベビーシッター(街外の事業を利用した)	年間 [] 日
5. その他 ()	年間 [] 日
6. 利用していない ⇒ 問 21-1 へ	

問 21-1 問 21 で「6. 利用していない」に○をつけた方に向かってうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない 5. 利用料がかかる・高い
 2. 利用したい事業が地域にない 6. 利用料がわからない
 3. 事業の質に不安がある 7. 事業を利用できずのかわからない
 4. 事業の利便性(立地や利用可能時間・日数) 8. 事業の利用方法(手続き等)がわからない
 など)がよくない 9. その他 ()

問 22 ご自身や配偶者の通院、不定期な仕事、リフレッシュなどを理由に、年間何日くらい保育所などで実施されている「一時預かり」を利用する必要があると思いますか。「利用したい」「利用する必要はない」のいずれか1つに○をつけてください。

また、「1. 利用したい」を選んだ場合は、利用したい目的にあてはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数を数字でご記入ください（必要な日数の年間合計〔 〕日と、目的別の内訳の日数を〔 〕内に数字でご記入ください）。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

一時預かりの利用希望		必要な日数
1. 利用したい		年間合計〔 〕日 年間〔 〕日
	1. 冠婚葬祭、学校行事、子どもや保護者の通院 等	年間〔 〕日
	2. 不定期な仕事	年間〔 〕日
	3. 買物、子どもや保護者の習い事、リフレッシュ 等	年間〔 〕日
	4. その他 ()	年間〔 〕日
2. 利用する必要はない		

問 23 冠婚葬祭、保護者・家族の育児疲れや育児不安、病気などを理由に、お子さんを「泊まりがけで」年間何日くらい家族以外にみてもらう必要があると思いますか。「利用したい」「利用する必要はない」のいずれか1つに○をつけてください。

また、「1. 利用したい」を選んだ場合は、利用したい目的にあてはまる番号すべてに○をつけ、必要な泊数を〔 〕内に数字でご記入ください。

なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

泊まりがけの預かりの利用希望		必要な泊数
1. 利用したい		〔 〕泊
	1. 冠婚葬祭	〔 〕泊
	2. 保護者や家族の育児疲れ・不安	〔 〕泊
	3. 保護者や家族の病気	〔 〕泊
	4. その他 ()	〔 〕泊
2. 利用する必要はない		

1. 2024年4月から小学校に入学するお子さんがいらっしゃる方に、
小学校入学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

⇒2024年4月から小学校に入学するお子さんがいらっしゃる方は、問26へ

問 24 現在、お持ちのイメージでお答えください。2024年4月から小学校に入学するお子さんを、放課後（平日の小学校授業終了後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。「低学年」と「高学年」、それぞれの期間についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

また、利用を希望する日数を（学童保育の場合は利用希望時間）〔 〕内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

※「学童保育」・・・保護者が就労等により昼間家庭にいない場合に、支援員の指導の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

放課後の居場所	1. 低学年(1～3年生)	2. 高学年(4～6年生)
1. 自宅	1. 週〔 〕日程度	1. 週〔 〕日程度
2. 祖父母や友人・知人宅	2. 週〔 〕日程度	2. 週〔 〕日程度
3. 学童保育(二セコども館)	3. 平日週〔 〕日程度 →下校時から〔 〕時まで	3. 平日週〔 〕日程度 →下校時から〔 〕時まで
4. 習い事(ピアノ/教室、サッカー クラブ、学習塾など)	4. 週〔 〕日程度	4. 週〔 〕日程度
5. 放課後子ども教室※1	5. 週〔 〕日程度	5. 週〔 〕日程度
6. ファミリー・サポーター・センター	6. 週〔 〕日程度	6. 週〔 〕日程度
7. その他(町民センター、公園など)	7. 週〔 〕日程度	7. 週〔 〕日程度

※1放課後子ども教室「・・・週2回実施しています。地域の方々の協力を得て、放課後や週末に町民センターや総合体育館等で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無にかかわらず、すべての小学生が参加できます。

問 24-1 問 24 の低学年または高学年で「3. 学童保育(二セコども館)」に○をつけた方にかかっています。お子さんについて、(1)土曜日と(2)日曜日・祝日に、学童保育(二セコども館)の利用希望はありますか。希望がある場合は、あてはまる番号1つに○をつけてください。

また、利用したい時間帯を、(例)9時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

(1)土曜日

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	⇒利用したい時間帯
2. 高学年(4～6年生)の間は利用したい	〔 〕時から〔 〕時まで
3. 利用する必要はない	↑(記入例)9時台～[18]時台

(2)日曜日・祝日

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	⇒利用したい時間帯
2. 高学年(4～6年生)の間は利用したい	〔 〕時から〔 〕時まで
3. 利用する必要はない	↑(記入例)9時台～[18]時台

問 25 お子さんについて、夏休み・冬休み・春休みなど長期の休暇期間中、学童保育(せせこども館)の利用希望がありますか。希望がある場合は、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。また、利用したい時間帯を、(例)9 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 低学年(1~3 年生)の間は利用したい	⇒ 利用したい時間帯
2. 高学年(4~6 年生)にも利用したい	[] 時台から [] 時台まで
3. 利用する必要はない	1 (記入例)9 時台～18 時台

問 25-1 問 25 で「1」または「2」に○をつけた方にかがいます。夏休み・冬休み・春休みなど長期の休暇期間中における学童保育(せせこども館)の利用希望は、長期の休暇期間中のみの利用希望なのかどうか、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 長期の休暇期間中のみの利用希望	2. 長期の休暇期間中と普段の日も含めた利用希望
--------------------	--------------------------

問 26 すべての方に育児休業や職場の両立支援制度についてうかがいます。
※問 26～問 26-3 は、父親・母親それぞれについてお答えください。ひとり親の方は、ご自身に関する設問のみお答えください。

問 26 お子さんが生まれたとき、育児休業を取得しましたか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 父親(1)に○	2. 母親(1)に○
1. 取得した(取得中を含む) ⇒ 問 26-2 へ	1. 取得した(取得中を含む) ⇒ 問 26-2 へ
2. 取得していない ⇒ 問 26-1 へ	2. 取得していない ⇒ 問 26-1 へ
3. 働いていなかった ⇒ 問 27 へ	3. 働いていなかった ⇒ 問 27 へ

問 26-1 問 26 で「2. 取得していない」に○をつけた方にかがいます。

育児休業を取得していない理由は何か。次の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

父親	母親	理由
1.	1.	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2.	2.	仕事が忙しかった
3.	3.	(産休後に)仕事に早く復帰したかった
4.	4.	(育児休業後に)仕事に戻るのが難しそうだった
5.	5.	昇給・昇格などが遅れそうだった
6.	6.	収入が減り、経済的に苦しくなりそうだった
7.	7.	(産休終了と同時に)保育所などに預けることができた
8.	8.	配偶者が育児休業を取得した
9.	9.	配偶者が無職、祖父母等の親族にみでもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10.	10.	子育てや家事に専念するため自分の意思で退職した
11.	11.	職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
12.	12.	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13.	13.	育児休業を取得できることを知らなかった
14.	14.	産前産後の休暇(産前 6 週間、産後 8 週間)を取得できることを知らず、退職した
15.	15.	自営業・農業等に就労しているため
16.	16.	その他 ()

問 26-2 問 26 で「1. 取得した(取得中を含む)」に○をつけた方にかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。次の中からあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

父親	母親	育児休業取得後の状況
1.	1.	育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問 26-3 へ
2.	2.	現在も育児休業中である ⇒ 問 27 へ
3.	3.	育児休業中に退職した ⇒ 問 27 へ

問 26-3 問 26-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にかがいます。

育児休業から職場に復帰したのは、年度始め(4 月の保育所入所に合わせたタイミン)でしたか。あるいはお子さんが 1 歳になるタイミンでしたか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。
※年度始めでの幼児センター入所を希望して、1 月～2 月頃復帰して一時的に認可外保育所などに入所した場合なども「1」にあてはまります。また、年度始めでの入所を希望して復帰したが、実際には幼児センターに入所できなかったという場合も「1」を選択してください。

父親	母親	育児休業後に職場復帰した時期について(希望の状況含む)
1.	1.	年度始めの入所に合わせたタイミンだった
2.	2.	子どもが 1 歳になるタイミンだった
3.	3.	1 と 2 の選択肢以外だった

問 27 問 27 で「1」または「2」に○をつけた方にかがいます。

※以降の設問は、すべての方にかがいます。

問 27 あなたの住まいの地区は、子育てのしやすい環境だと感じますか。その感じ方に、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

子育てしやすいとは感じない	1	2	3	4	5	とても子育てしやすいと感じる
---------------	---	---	---	---	---	----------------

問 27-1 問 27 で「1」または「2」に○をつけた方にかがいます。

お子さんとの外出の際、困ることや困ったことは何ですか。あてはまる番号 3 つまでに○をつけてください。

1. 歩道がない通りが多く、交通安全に心配があること
2. 歩道の段差などがベビーカーや自転車の通行の妨げになっていること
3. 公共交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていないこと
4. トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと
5. 授乳する場所や必要な設備が少ないこと
6. 小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと
7. 買物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと
8. 広い歩道が少ないこと、まちなみにゆとりがないこと
9. 見通しの少ないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配なこと
10. 周囲の人が子ども連れを迷惑そうにみること
11. 荷物や子どもを手をとられて困っているときに手を貸してくれる人が少ないこと
12. 特に困ること・困ったことはない
13. その他 ()

問 28 最後に、子育てに関しての不安や悩み、子育てするうえで近所や地域に望むこと、本町の子育て支援に関する要望など、本町の子育ての環境や支援に関してご意見等ございましたら、ご自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

回答期限:2月9日(金)まで

2. 小学生児童のいる世帯へのアンケート調査票

【おまな保育事業等の内容】

回答するときに参考にしてください。ただし、町で実施していない事業も含みます。

事業名	事業内容
幼稚園※ (通常の通園時間)	幼稚園の通常の通園時間でお子さんを預かる事業です。
幼稚園の預かり保育※	幼稚園で、通常の通園時間を延長してお子さんを預かる事業です。
認可保育所※	道の認可を受けた保育所で、お子さんを預かる事業のことです。
認定こども園※	同じ施設内に幼稚園部と保育所部をあわせ持つ施設で、保護者の状況により幼稚園部または保育所部でお子さんを預かる事業です。
保育ママ (家庭的保育事業)	認定した保育ママが自宅等でお子さんを預かる事業のことです。
小規模保育事業	自治体の認可を受けた事業で、就学前のお子さんを6~19人の定員で預かる事業です。
事業所内保育事業	事業所(企業)が従業員の子どもと、一部、地域住民のお子さんを保育する、自治体の認可を受けた事業です。
企業主導型保育事業	事業所(企業)が多様な就労形態に対応するための保育事業で、従業員以外に地域のお子さんを預かることができる保育施設です。
認可外保育施設	認可保育所以外の、お子さんを保育する施設です。
ハピニッダー	保育者がお子さんの自宅に訪問して、お子さんの世話をする事業のことです。
ファミリィ・サポート・センター※	「子育ての支援を受けたい人(依頼会員)」と「子育てを支援できる人(提供会員)」が会員登録をし、用事があるときに依頼会員がファミリィ・サポート・センターに連絡し、センターが橋渡し役となり、提供会員が一時的にお子さんの世話を有料で援助する会員組織です。(おもな対象年齢0歳~小学生まで)
延長保育	保育所や認定こども園等で、保護者の方の就労時間増加等への対応として、通常の保育時間を延長してお子さんを預かる事業です。
一時預かり保育※ (一時保育)	保育所等を利用していない保護者の方が就労、疾病や冠婚葬祭などの理由のため、家庭での保育ができない場合に、お子さんを一時的に預かる事業です。
病児保育・病後児保育	お子さんが病気がかかっていたり、病気の回復期にあつたりして、通常の集団保育(幼稚園や保育所など)への通園(所)が難しい場合に、一時的にお子さんを預かる事業です。
休日保育※	保護者の方が就労等により、休日に家庭で保育できないお子さんを預かる事業です。
学童保育※ (二セコこども館)	就労等により保護者の方が、昼間家庭にいない小学生のお子さんを対象に、生活の場を提供する事業です。
放課後子ども教室※	すべての子どもを対象として、安心・安全な子どもの居場所を提供し、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の取組をするものです。
子育て支援センター※	親子が気軽に集まることのできる場で、子育て中の保護者の交流や子育て・保育の知識や経験がある専任の職員による育児相談等を行っています。

※=町で実施している保育事業

子育ての環境に関するアンケート調査について

~「二セコ町子ども・子育て支援事業計画」策定のためのニーズ調査へのご協力をお願いします~

小学生児童のいる世帯

皆さまには、日頃より町政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本町では「子育て支援」のためのさまざまな施策を実施しておりますが、令和6年度に新しい子育てに関する計画(注1)を策定することとなりました。そこで、子育て中の町民の皆様のご意見をできるだけ反映するため、今回、「就学前のお子様のある世帯」と「小学生のお子様のある世帯」の皆様を対象にアンケート調査を実施します。

このアンケート調査では、二セコ町のお子さん達が、どのぐらいの保育ニーズがあるかなどについて把握することを目的としています。いただいた情報をもとに、ニーズ量の推計等を行い、町の子育て環境について計画・整備していきたいと考えています。

なお、ご回答いただいた内容は、回答者個人が特定されたり、個々の回答がほかにもれたり、ほかの目的に利用されることは一切ありません。皆さまの率直なご意見をお聞かせください。

ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和6年1月

二セコ町長 片山 健也

(注1) 令和7~11年度の第3期二セコ町子ども・子育て支援事業計画

【ご記入にあたってのお願い】

- この調査は無記名です。(アンケートにお名前を書いたいただく必要はありません。)
- 本アンケートは、就学前のお子さん及び小学生のお子さんがいっしょやる、「お子さんの保護者の方」がご回答ください。
- アンケートへの回答は、QRコードまたはURLからアクセスいただき、IDをご入力いただくからご回答ください。
※IDは重複回答を避けるためのもので、回答者を特定するものではありません。

QRコード		URL	https://forms.gle/jiXR3DCQMjxZ1QNr8
ID	●●●●●●●●		

4. アンケートへの回答は、選択肢に✓をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合があります。また、「その他」の場合は「」内に具体的な内容をご記入ください。

5. 数字で時間を記入する場合は、24時間制(例:午後6時→18時)でご記入ください。

6. 設問によっては回答していただく方が限られる場合がありますので、「ことわり書き」や「矢印」に従ってご回答ください。特に「ことわり書き」などがない場合は次の設問にお進みください。

7. 回答は回答期限までをお願いします。

回答期限: 2月9日(金)まで

◎本調査への質問または不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

二セコ町教育委員会 ことも未来課 ことも未来係

電話: 0136-44-2101 (代表)

A. お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの小学校区を選んで、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|------------|-----------|
| 1. ニセコ小学校区 | 2. 近藤小学校区 |
|------------|-----------|

B. お子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 おさんの学年について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。お子さんが2人以上いる場合、一番若いお子さんの学年をご記入ください。

- | |
|-------------------------|
| おさん 小学 [1・2・3・4・5・6] 年生 |
|-------------------------|

問3 小学生のおさん全員の人数について、あてはまる数字 1 つに○をつけてください。

- | |
|-------------------------------|
| 小学生のおさん 全部で [1・2・3・4・5・6・7] 人 |
|-------------------------------|

問4 この調査票にお答えいただく方はどなたですか。おさんからみられた関係でお答えください。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | |
|-------|-------|-----------|
| 1. 父親 | 2. 母親 | 3. その他() |
|-------|-------|-----------|

問5 この調査票にお答えいただく方は何歳代ですか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|--------|--------|--------|----------|
| 1. 10代 | 3. 30代 | 5. 50代 | 7. 70代以上 |
| 2. 20代 | 4. 40代 | 6. 60代 | |

問6 現在、一緒にお住まいの方はあなたを含めて何人ですか。あてはまる数字 1 つに○をつけてください。また、おさんは、年齢にかかわらず何人いますか(妊娠中も含みます)。おさんのみの人数もあてはまる数字 1 つに○をつけてください。

- | |
|-----------------------------|
| 同居の家族全員 [2・3・4・5・6・7・8・9] 人 |
| おさんのみの人数 [1・2・3・4・5・6・7] 人 |

問7 おさんと一緒に住んでいる同居家族の構成員について、あてはまるものすべてに○をつけてください。続柄はおさんからみられた関係でお答えください。

- | | | |
|------|----------|-----------|
| 1. 父 | 3. 兄弟・姉妹 | 5. 祖母 |
| 2. 母 | 4. 祖父 | 6. その他() |

問8 おさんの祖父母との近居(交通手段を問わず、おおむね30分以内程度に行き来できる範囲)の状況について、あてはまるものすべてに○をつけてください。続柄はおさんからみられた関係です。祖父または祖母と同居している場合は、「3. 近居の祖父母はいない」を選択してください。

- | | | |
|---------|---------|---------------|
| 1. 祖父近居 | 2. 祖母近居 | 3. 近居の祖父母はいない |
|---------|---------|---------------|

問9 この調査票にお答えいただいている方の配偶関係についてお答えください。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

問10 おさんの子育て(教育を含む)をおもに行っているのはどなたですか。おさんからみられた関係であてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | |
|----------|-----------|-----------|
| 1. 父母両方 | 3. おもに母親 | 5. その他() |
| 2. おもに父親 | 4. おもに祖父母 | |

C. 保護者の就業状況等についてうかがいます。

※問11と問11-1は、父親・母親それぞれについてお答えください。ひとり親の方は、ご自身に関する設問のみお答えください。

問11 おさんの保護者の就業状況(自営業の方とその家族従事者を含む)についてうかがいます。

1. 父親(あてはまる番号 1 つに○)	2. 母親(あてはまる番号 1 つに○)
1. フルタイム(週5日程度・1日8時間程度)で就労しており、育児・介護休業中ではない	1. フルタイム(週5日程度・1日8時間程度)で就労しており、育児・介護休業中ではない
2. フルタイム(週5日程度・1日8時間程度)で就労していたが、育児・介護休業中である	2. フルタイム(週5日程度・1日8時間程度)で就労していたが、育児・介護休業中である
3. フルタイム以外の短時間(週5日未満・1日8時間未満)で就労しており、育児・介護休業中ではない	3. フルタイム以外の短時間(週5日未満・1日8時間未満)で就労しており、育児・介護休業中ではない
4. フルタイム以外の短時間(週5日未満・1日8時間未満)で就労していたが、育児・介護休業中である	4. フルタイム以外の短時間(週5日未満・1日8時間未満)で就労していたが、育児・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. 今まで就労したことがない	6. 今まで就労したことがない

問11-1 問11で「1」から「4」に○をつけた方についてうかがいます。おさんの就業形態について、年間を通じておもにあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 父親(あてはまる番号 1 つに○)	2. 母親(あてはまる番号 1 つに○)
1. 正期の職員・従業員	1. 正期の職員・従業員
2. パート・アルバイト・契約社員・嘱託職員など	2. パート・アルバイト・契約社員・嘱託職員・嘱託職員など
3. 派遣社員	3. 派遣社員
4. 自営業主 ※1	4. 自営業主 ※1
5. 家族従業者 ※2	5. 家族従業者 ※2
6. 1~5の選択肢にあてはまらない形態()	6. 1~5の選択肢にあてはまらない形態()

※1 自営業主とは、個人で事業を経営している人(農家などを含む)や自営業の人をいいます。

※2 家族従業者とは、自営業主の家族で、その事業に直接従事している人。個人の小売店や飲食店、個人経営の民営やベンジヨン、農家などで家業を手伝って直接仕事をしている人のことをいいます。

D. 病気やケガの際の対応についてうかがいます。

問12 この1年間に、おさんが病気やケガで小学校へ行けなかったことはありますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. あった ⇒ 問12-1へ | 2. なかった ⇒ 問13へ |
|-----------------|----------------|

E. 学童保育（二セコども館）・放課後子ども教室についてうかがいます。

問 13 すべての方向にかがいます。お子さんは放課後どのように過ごしていますか。おもなもの 2 つまでに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|--------------------------------|
| 1. スポーツ少年団等に参加 | 6. 学童保育（二セコども館）で過ごす |
| 2. 習いごとをしている | 7. ニセコ町学習交流センター「あそぶつく」などで遊んでいる |
| 3. 友人と遊んでいる | 8. その他 |
| 4. 家で家族（父・母・祖父母等）と過ごす | |
| 5. 家でひとり（もしくは兄弟のみ）で過ごす | |
- ※：学童保育・・・保護者が就労等により居間家庭にいない場合に、支援員の指導の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

問 14 現在、学童保育(二セコども館)を利用していますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 利用している ⇒ 問 14-1 △ 2. 利用していない ⇒ 問 14-2 △

問 14-1 問 14 で「1. 利用している」に○をつけた方向にかがいます。

(1) 学童保育（二セコども館）の利用日数と利用時間をお答えください。それぞれ、あてはまる数字 1 つに○、もしくは [] 内に数字でご記入ください。時間は、必ず(例)14 時～22 時のように 24 時間制でご記入ください。

週 [1・2・3・4・5・6] 日 [日] 月～金 下校時から [1 5・1 6・1 7・1 8] 時まで
土曜日 [] 時から [] 時まで

(2) 学童保育（二セコども館）を利用しているおおもな理由は何ですか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- お子さんの身の回りの世話をおもにしている方が
1. 現在就労している 4. 病氣や障がいを持っている
2. 就労予定がある/求職中である 5. 学生である
3. 家族・親族などを介護しなければならぬ 6. その他 ()

(3) 学童保育（二セコども館）の平日の利用について、今後、何年生まで利用したいとお考えですか。あてはまる数字 1 つに○をつけてください。

[1・2・3・4・5・6] 年生まで利用したい

(4) 学童保育（二セコども館）を①土曜日・②日曜日・③祝日・④夏休み・冬休み・春休みなど長期の休暇中に利用したいとお考えですか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

また、希望がある場合は、何年生まで利用したいかあてはまる数字 1 つに○をつけ、利用したいおおよその時間帯も、(例) 9 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

- ①土曜日
1. 利用したい ⇒ 利用したい時間帯
[1・2・3・4・5・6] 年生まで利用したい [] 時から [] 時まで
2. 利用する必要はない

問 12-1 問 12 で「1. あった」に○をつけた方向にかがいます。

お子さんが病氣やケガで小学校へ行けなかった場合に、この 1 年間に行なった対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も [] 内に数字でご記入ください。(半日程度の対応の場合も 1 日セカウントしてください)。

	1 年間の対処方法		日数(年間)
	年間 [] 日	年間 [] 日	
1. (お子さんからみた関係) 父親が休んだ	年間 [] 日	年間 [] 日	[] 日
2. (お子さんからみた関係) 母親が休んだ	年間 [] 日	年間 [] 日	[] 日
3. 親族・知人(同居者を含む)に子どもをみてもらった	年間 [] 日	年間 [] 日	[] 日
4. 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	年間 [] 日	年間 [] 日	[] 日
5. 病氣やケガの子どものための病児・病後児保育を利用した	年間 [] 日	年間 [] 日	[] 日
6. ベビーシッターを利用した	年間 [] 日	年間 [] 日	[] 日
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	年間 [] 日	年間 [] 日	[] 日
8. 仕方なく子どもだけで留守番させた	年間 [] 日	年間 [] 日	[] 日
9. その他 ()	年間 [] 日	年間 [] 日	[] 日

問 12-2 問 12-1 で「1」または「2」に○をつけた方向にかがいます。

1 病氣やケガの子どものための病児・病後児保育を利用したいと思われましたか。あてはまる番号 1 つに○をつけ、日数について(おおよそ) [] 内に数字でご記入ください。なお、病氣やケガの子どものための保育事業等の利用には、一定の利用料がかかります。お子さんの健康状態を把握しておくため、事前の登録等が必要となります。

1. 病氣やケガの子どものための病児・病後児保育を利用したい ⇒ 年 [] 日 ⇒ 問 12-3 △
2. 利用したいとは思わない ⇒ 問 12-4 △

問 12-3 問 12-2 で「1. 病氣やケガの子どものための病児・病後児保育を利用したい」に○をつけた方向にかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 小児科等の医療機関に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 幼稚園・保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育てで家庭の自宅などで保育する事業 (例:ファミリー・サポート・センター)
4. その他 ()

問 12-4 問 12-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方向にかがいます。そう思われる理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病氣やケガの子どもを他人にみてもらうのは不安 4. 親が仕事を休んで対応できる
2. 病児・病後児保育事業の内容に不安がある () 5. その他
3. 利用料がかかる・高い ()

②日曜日・祝日

⇒利用したい時間帯
 1. 利用したい [1・2・3・4・5・6] 年生まで利用したい [] 時台から [] 時台まで
 2. 利用する必要はない

③夏休み・冬休み・春休みなど長期の休暇中

⇒利用したい時間帯
 1. 利用したい [1・2・3・4・5・6] 年生まで利用したい [] 時台から [] 時台まで
 2. 利用する必要はない

問 14-2 問 14 で 2. 利用していないに○をつけた方にかがいます。学童保育（二七こども館）を利用していない理由は何ですか。理由としてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 利用する必要がない（子どもの教育や発達に配慮するため、母親が父親が就労していないなどの理由）
 2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
 3. 近所の人や保護者の友人・知人がみている
 4. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
 5. 利用したいが、夜間等の利用時間帯の条件が合わない
 6. 利用したいが、事業の内容や場所などに不安がある
 7. 利用したいが、日曜日・祝日などの利用ができないから
 8. その他（ ）

問 15 幼い方のお子さんか小学校 3 年生の方にかがいます。4 年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 学童保育（二七こども館）を利用したい ⇒ 小学 [4・5・6] 年生まで利用したい
 2. 放課後子ども教室[※]を利用したい
 3. クラブ活動や塾など習い事をさせたい
 4. 利用を希望する事業は特になし
 5. その他（ ）

※放課後子ども教室は、地域の方々のふれあいを通じた地域の教育力の向上や子どもたちの安全・安心な居場所を確保することを目的に、勉強やスポーツ・文化芸術活動等の事業を実施する取組です。

問 16 すべての方にかがいます。放課後子ども教室について、将来、利用したいと思いませんか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。また、利用したいと思う方は、おおよその日数を [] 内に数字で記入ください。

1. 利用したい ⇒ 週 [] 日くらい
 2. 利用する予定はない

問 17 学童保育（二七こども館）の月額利用料金（おやつ代も含む）はどの程度までなら適切だと思いますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 3,000 円以内ならよい
 2. 5,000 円以内ならよい
 3. 7,000 円以内ならよい
 4. 10,000 円以内ならよい
 5. 有料なら利用しない
 6. その他（ ）
 7. わからない

F. ご家庭での子育てと子育て環境、子育て支援全般についてうかがいます。

※以降の設問は、すべての方におうかがいます。

問 18 あなたの住まいる地区は、子育てのしやすい環境だと感じますか。その感じ方にあてはまる番号 1 から 5 に○をつけてください。

子育てしやすい ← 1 2 3 4 5 → 子育てしやすいと感じる

問 18-1 問 18 で「1」または「2」に○をつけた方にかがいます。

お父さんとの外出の際、困ることや困ったことは何ですか。あてはまる番号 3 つまでに○をつけてください。

1. 歩道がない通りが多く、交通安全に心配があること
 2. 歩道の段差などがベビーカーや自転車等の通行の妨げになっていること
 3. 公共交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていないこと
 4. トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと
 5. 授乳する場所や必要な設備が少ないこと
 6. 小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと
 7. 買物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと
 8. 広い歩道が少ないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわなにか心配なこと
 9. 見通しのきかないところが多く、子ども運れを迷惑そうにみることに
 10. 周囲の人が子どもに手をとられて困っているときに手を貸してくれる人が少ないこと
 11. 荷物や子どもにも手をとられて困っているときに手を貸してくれる人が少ないこと
 12. 特に困ること・困ったことはない
 13. その他（ ）

問 19 最後に、子育てに関しての不安や悩み、子育てするうえで近所や地域に望むこと、本町の子育て支援に関する要望など、本町の子育ての環境や支援に関してご意見等ございましたら、ご自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

回答期限：2月9日(金)まで